

現 況 整 理

【目次】

1. 香芝市の概要

- (1) 位置・地勢・地形・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2. 人口・世帯数

- (1) 人口及び・世帯数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 年齢3区分別人口推移・人口割合・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (3) 年齢3区分別人口割合の他市町村との比較・・・・・・・・・・ 6
- (4) 世帯構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (5) 区域区分別人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (6) 区域区分別人口密度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (7) 地区別人口・世帯数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (8) 純移動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (9) 香芝市による5年前の常住地の転入・転出状況・・・・・・・・ 11
- (10) 人口分布(総人口及び年齢3区分別)・・・・・・・・・・・・ 12

3. 産業

- (1) 地場産業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- (2) 15歳以上の労働力状態の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (3) 市内就業率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (4) 女性就業率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (5) 産業分類別就業者数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (6) 農業の動向(農家数)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- (7) 奈良県12市の製造品出荷額の比較・・・・・・・・・・・・・・ 24
- (8) 製造業の動向(事務所数・従業者数・製造品出荷額等)・・・・ 25
- (9) 製造品小売業の動向(事務所数・従業者数・年間商品販売額)・・ 26

4. 土地利用

- (1) 土地利用現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- (2) 地域地区等の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- (3) 用途地域別面積割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- (4) 空き家の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- (5) 戸建て新築着工件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

5. 災害

(1) 過去の災害履歴	31
(2) 洪水浸水（浸水想定区域・浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食））	32
(3) 土砂災害（土砂災害警戒区域）	36
(4) 避難所	37
(5) 大規模盛土造成地	38
(6) ゆれやすさマップ	39
(7) 液状化マップ	40

6. 交通

(1) 交通手段構成比	41
(2) 鉄道の利用状況	42
(3) バスの利用状況	44
(4) 公共交通のカバー率（鉄道及びコミュニティバス）	45
(5) デマンド交通利用状況	46

7. 都市施設状況

(1) 市街地開発事業の実施状況（区画整理・大規模開発等）	47
(2) 都市計画道路の整備状況	48
(3) 都市公園の整備状況	49
(4) 上下水道の整備状況	50

8. 都市機能立地状況

(1) 商業機能（スーパーマーケット・コンビニ）	51
(2) 高齢者福祉機能（社会福祉施設）	53
(3) 子育て支援機能（保育所・認定こども園・小規模保育事業・幼稚園・病児保育施設・企業内保育所）	55
(4) 教育機能（学校）	57
(5) 医療機能（内科）	60
(6) 金融機能（郵便局・銀行）	62
(7) 文化機能・スポーツ機能	64

9. 財政

(1) 歳入・歳出決算額の推移・・67

10. 地価動向

(1) 国土交通省地価公示 68

11. 都市構造分析

1. 都市構造分析 69

1. 香芝市の概要

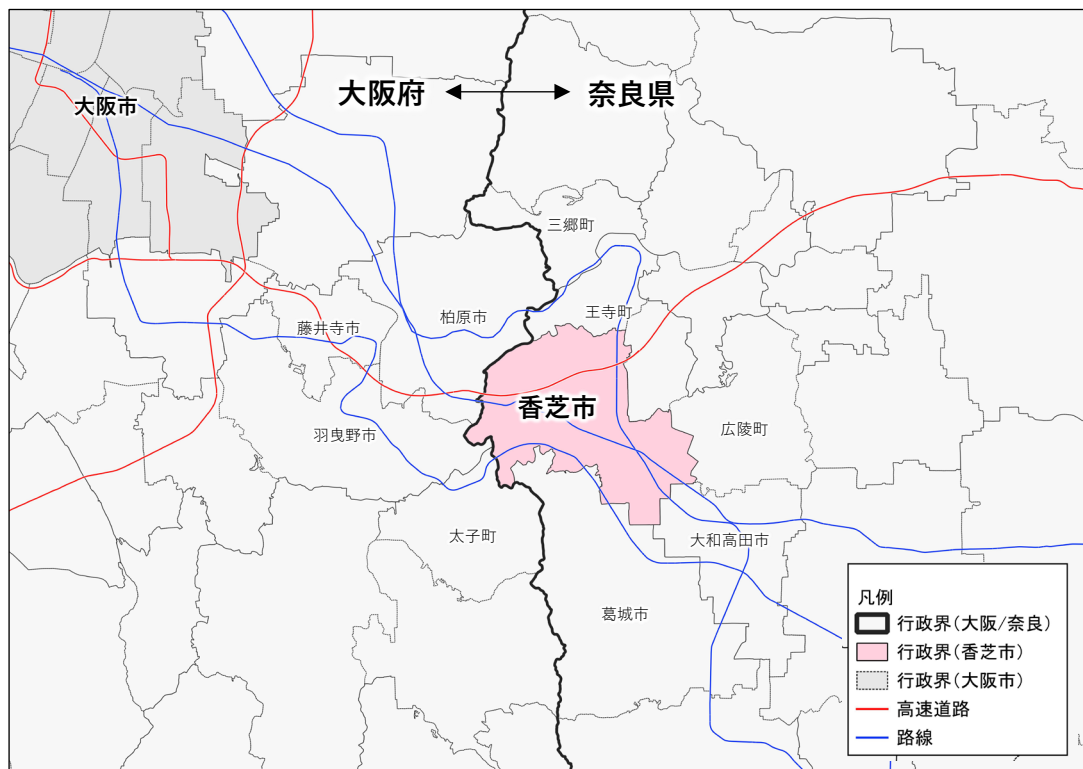
(1) 位置・地勢・地形

本市は、奈良県の北西部に位置し、金剛生駒紀泉国定公園を挟んで大阪府に隣接しています。

道路網は、大阪府大阪市から三重県津市を結ぶ国道 165 号、和歌山県新宮市から大阪府枚方市を結ぶ国道 168 号、および大阪府松原市から名古屋方面にリンクする西名阪自動車道香芝インターチェンジを有しています。鉄道網では JR 和歌山線、近鉄大阪線及び近鉄南大阪線が市の中心部を縦横に走り、8つの駅を有し、大阪市内へは最短 22 分という利便性の高い場所に位置しています。

また、西部を中心に山林等の豊かな自然が広がっており、東部の平野部に市街地が形成されています。

【香芝市の位置】



(2) 沿革

本市は、昭和 31 年(1956 年)、奈良県北葛城郡五位堂村・下田村・二上村及び志都美村の 4 村が合併し、その区域をもって「香芝町」が誕生しました。

香芝市の由来は、昭和 24 年(1949 年)に開校した 4 村及び富麻町加守村(当時)の組合立「香芝中学校」の「香芝」を採用したものとなっています。

昭和 51 年(1976 年)までには、町役場の新庁舎建設をはじめ、小学校・中学校の新增改築や上水道、町道敷設などの公共事業を行いました。また、それに続き、文化施設の建設、都市計画道路の敷設、河川・水路の改修事業など計画的なまちづくりが進められました。

昭和 63 年(1988 年)度には人口が 50,000 人を超え、平成 3 年には県下 10 番目、全国 660 番目の市として市制施行、「香芝市」が誕生しました。

【香芝町誕生を祝福して香芝中学校庭に描かれた人文字(昭和 31 年 4 月 1 日)】



出典：奈良県 香芝市 HP「香芝市の沿革」より抜粋

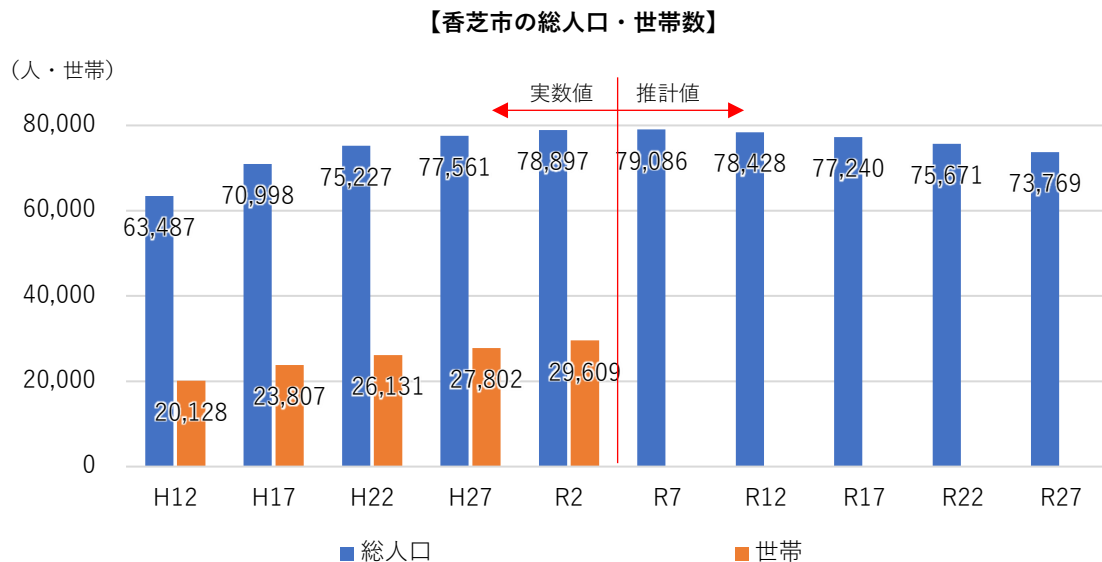
2. 人口・世帯数

(1) 人口及び・世帯数の推移

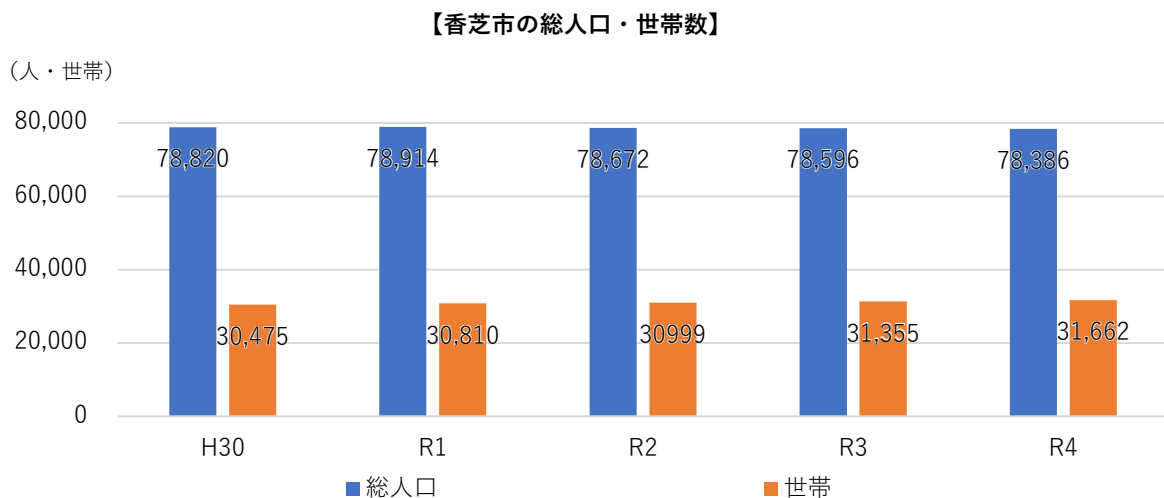
令和2年の国勢調査では、本市の総人口は78,897人、世帯数は29,609世帯となっており、国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の人口推計によると、令和7年(2025年)以降人口減少することが予測されています。

しかしながら住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数では、令和2年(2020年)から人口は減少傾向に転じています。

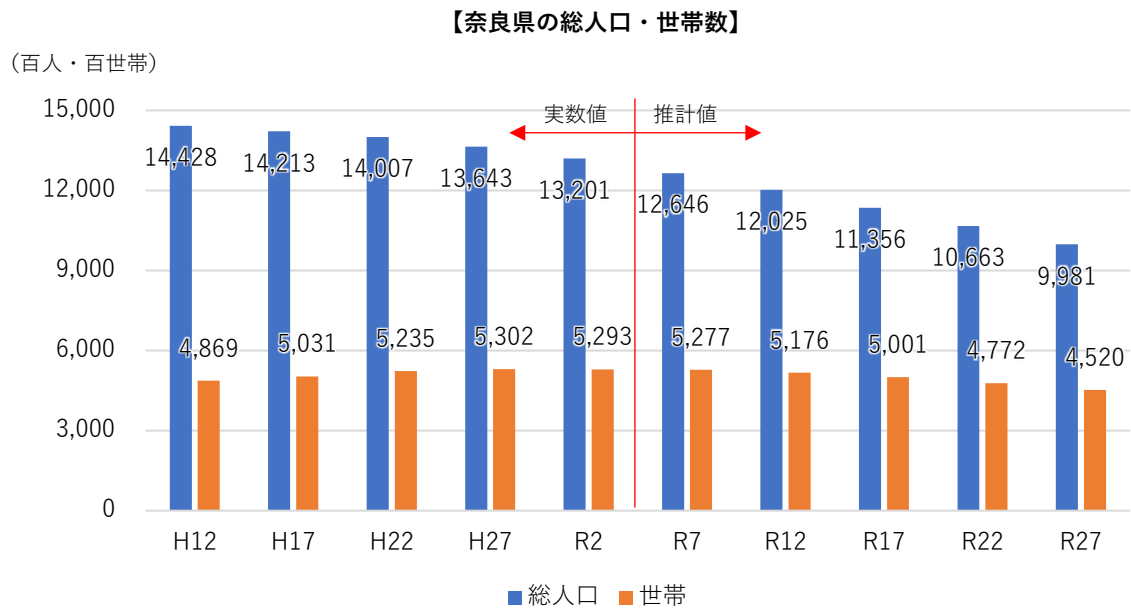
また、奈良県全体の人口・世帯数は平成12年(2000年)以降、人口は減少傾向が続いており、世帯数は平成27年(2015年)以降減少に転じており、今後も減少が予測されます。



出典：平成12年～令和2年国勢調査、令和7年～令和27年国立社会保障・人口問題研究所



出典：平成30年～令和4年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

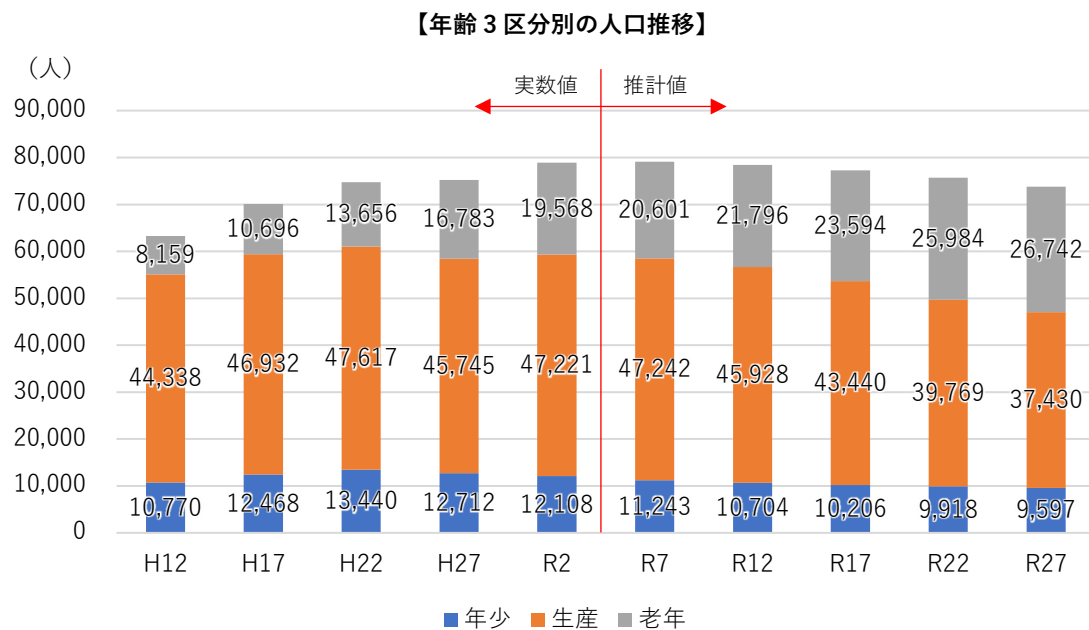


出典：平成 12～令和 2 年国勢調査、令和 7 年～令和 27 年国立社会保障・人口問題研究所

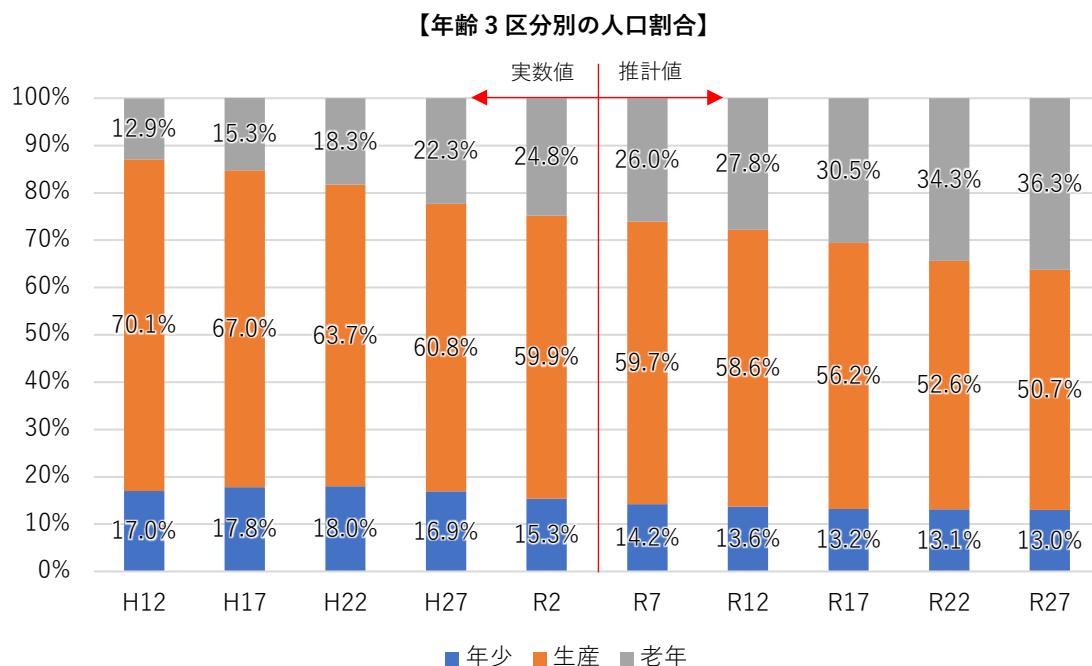
(2) 年齢3区分別人口推移・人口割合

年齢3区分別の人口推移では、年少人口(15歳未満)の人口は平成22年(2010年)以降、減少に転じており、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)の人口においても令和7年(2025年)以降減少に転じると予測されます。また老年人口は、平成12年(2000年)以降、増加傾向にあり、今後も増加することが予測されています。

人口割合は、年少人口と生産年齢人口割合が減少傾向にあり、老年人口割合が増加傾向にあることから少子高齢化の進行が予測されています。



出典：平成12年～令和2年国勢調査、令和7年～令和27年国立社会保障・人口問題研究所



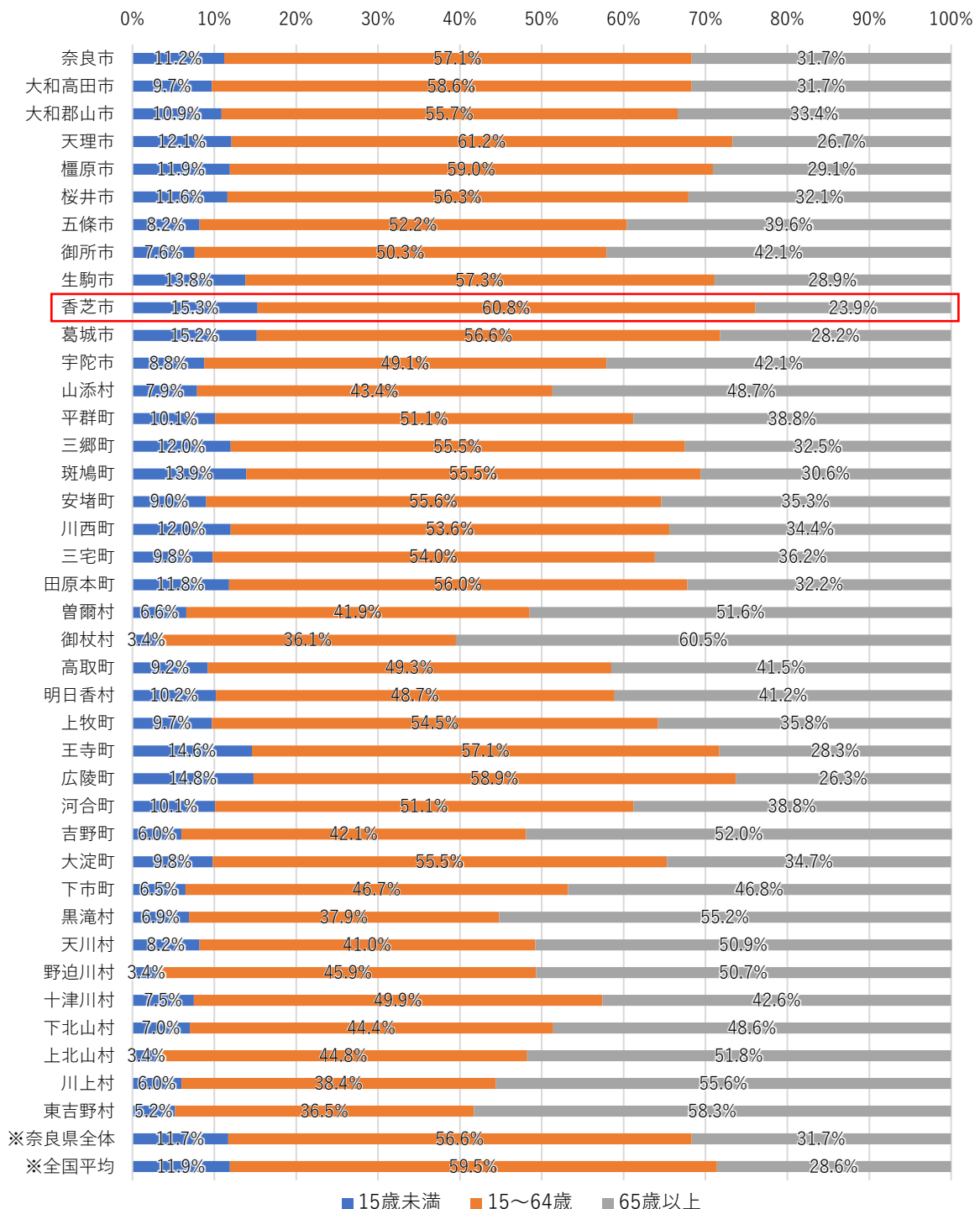
出典：平成12年～令和2年国勢調査、令和7年～令和27年国立社会保障・人口問題研究所

(3) 年齢3区分別人口割合の他市町村との比較

香芝市の15歳未満人口割合は、奈良県の市町村の中で15.3%と最も高く、高齢化率(老年人口65歳以上人口の割合)においては23.9%と最も低くなっています。

また生産年齢人口割合は、60.8%と天理市に次ぎ、県内で2番目に高くなっています。

【奈良県市町村の年齢3区分別人口割合(令和2年)】

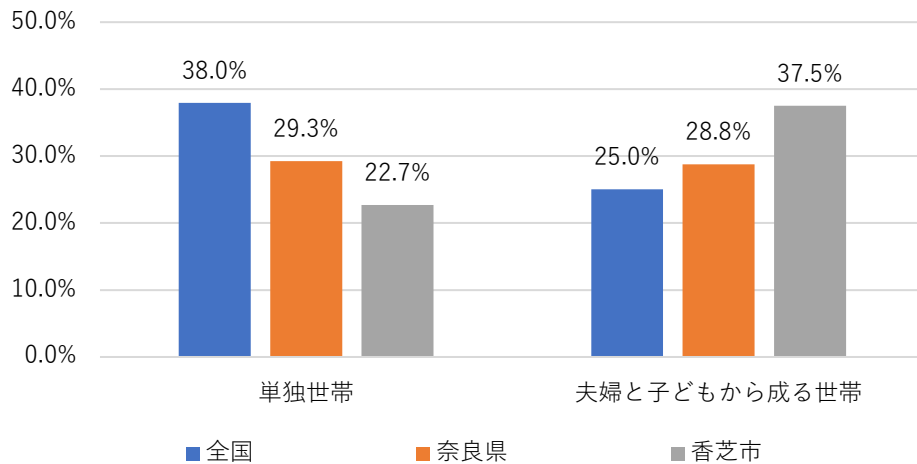


出典：令和2年国勢調査人口等基本集計結果(奈良県総務部知事公務室統計分析課)

(4) 世帯構成

令和 2 年(2020 年)の世帯構成は単独世帯が 22.7%、夫婦と子どもから成る世帯が 37.5%となっており、全国や奈良県と比較し、単独世帯が少なく、夫婦と子どもから成る世帯が多い結果となっています。

【世帯構成(令和 2 年)】

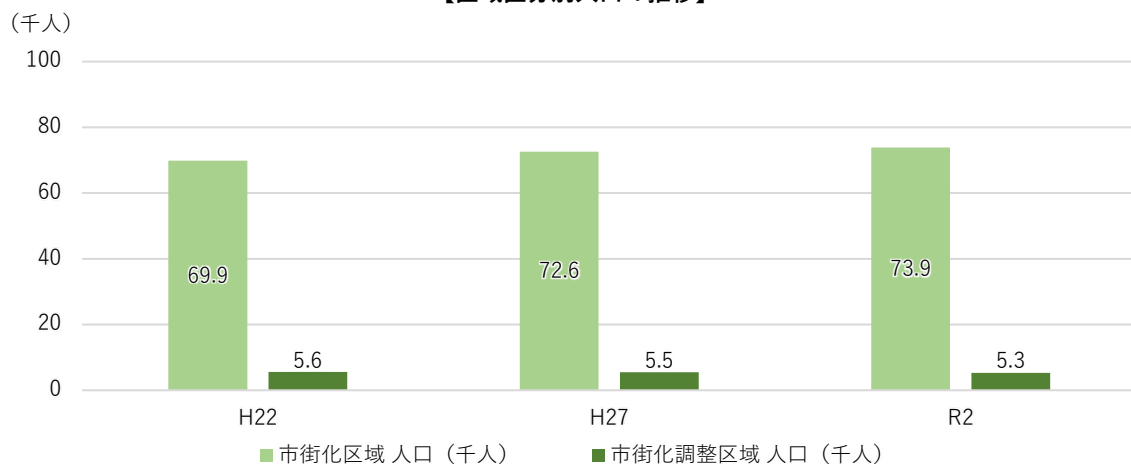


出典：令和 2 年国勢調査

(5) 区域区分別人口

令和 2 年(2020 年)の市街化区域人口は約 73,900 人、市街化調整区域人口は約 5,300 人となっています。また平成 22 年(2010 年)から令和 2 年(2020 年)にかけて、市街化区域人口は約 4,000 人増加している一方で、市街化調整区域人口は約 300 人減少しています。

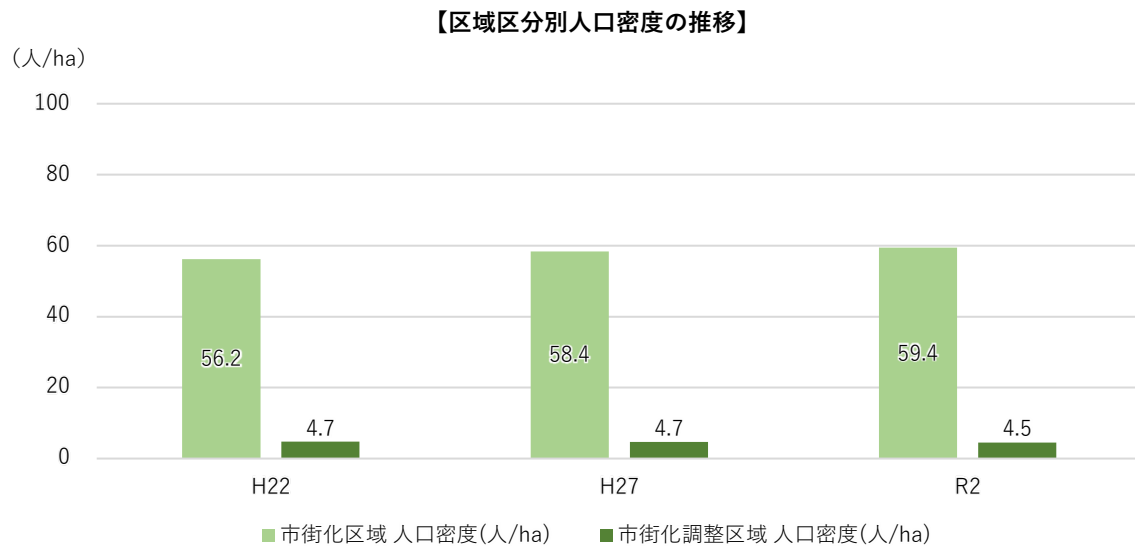
【区域区分別人口の推移】



出典：平成 22 年～令和 2 年都市計画現況調査（国土交通省）

(6) 区域区分別人口密度

令和 2 年(2020 年)の人口密度は、市街化区域が 59.4 人/ha、市街化調整区域が 4.5 人/ha となっています。また平成 22 年(2010 年)から令和 2 年(2020 年)にかけて、市街化区域の人口密度は 3.2 人/ha 増加し、市街化調整区域の人口密度は 0.2 人/ha 減少しています。



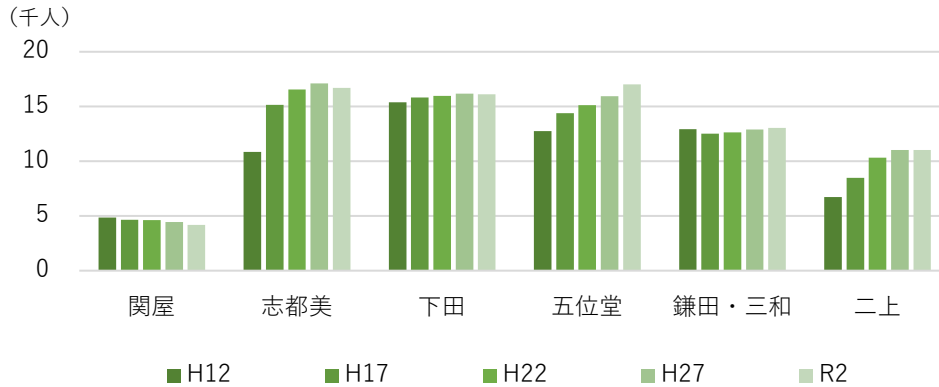
出典：平成 22 年～令和 2 年都市計画現況調査(国土交通省)

(7) 地区別人口・世帯数

令和2年(2020年)地区別人口が最も少ない地区は約4,200人の関屋地区であり、最も多い地区は約17,000人の五位堂地区になります。

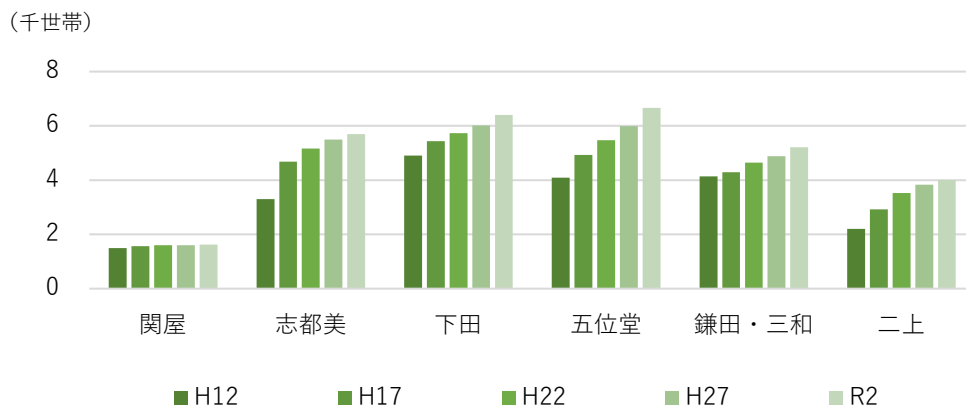
関屋地区は人口がやや減少傾向にあるものの、志都美地区、下田地区、五位堂地区、鎌田・三和地区、二上地区は人口・世帯数ともに増加傾向にあります。

【地区別人口の推移】

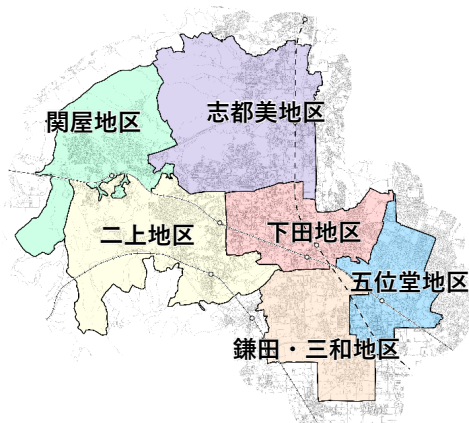


出典：平成12年～令和2年国勢調査

【地区別世帯数の推移】



出典：平成12年～令和2年国勢調査

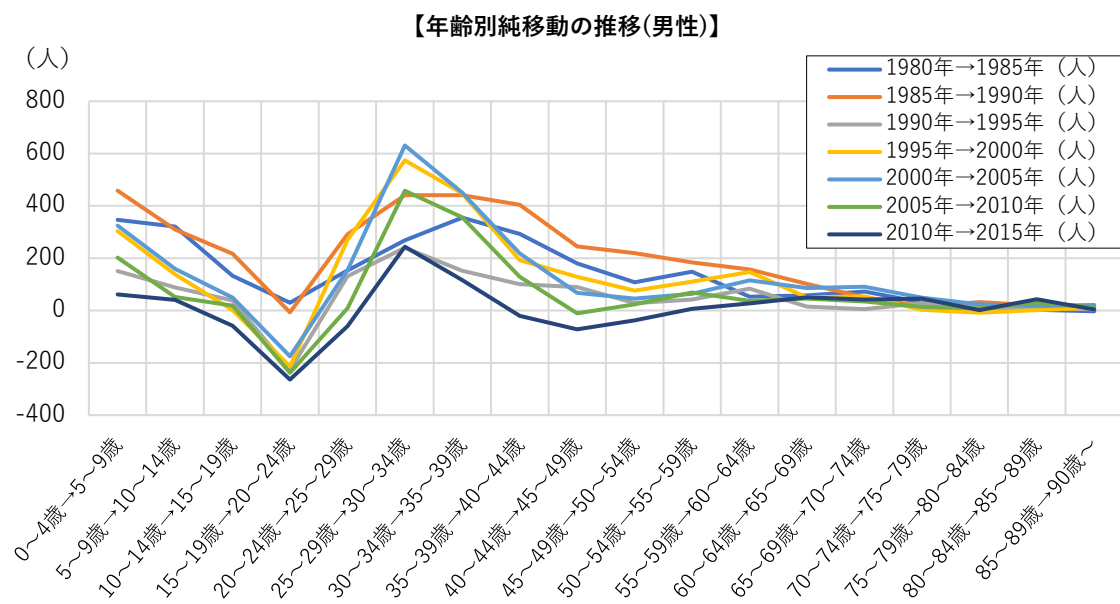


- 関屋地区：関屋、関屋北、田尻
- 志都美地区：平野、尼寺、白鳳台、高、上中、今泉、旭ヶ丘
- 下田地区：下田、下田東、下田西、藤山、逢坂、北今市、五ヶ所、本町、西真美
- 五位堂地区：五位堂、別所、瓦口、真美ヶ丘、すみれ野
- 鎌田・三和地区：狐井、磯壁、鎌田、良福寺
- 二上地区：畑、穴虫、高山台

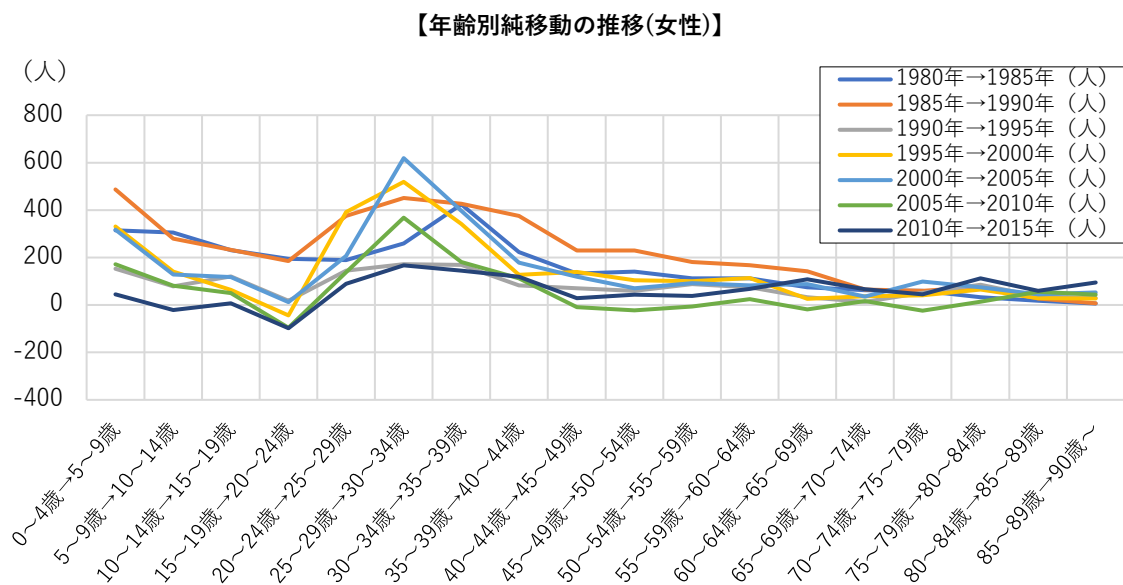
(8) 純移動

純移動(転入－転出)を年代別にみると、男性、女性共に 10 歳代から 20 歳代前半にかけて転出超過となっており、一方で 20 歳代後半から 30 歳代前半にかけては転入超過となっています。

また、10 歳代から 20 歳代前半にかけての転出は年々増加し、20 代後半から 30 代前半の転入数は年々減少傾向にあります。



出典：昭和 60 年～平成 27 年国勢調査



出典：昭和 60 年～平成 27 年国勢調査

(9) 香芝市による5年前の常住地の転入・転出状況

令和2年(2020年)の香芝市による5年前の常住地の転入・転出状況をみると、転出が転入を上回っています。

県内では大和高田市、橿原市等から転入超過となっていますが、王寺町や葛城市、広陵町等へは転出超過となっています。

また県外では、東京都や愛知県等へ転出超過となっていますが、大阪府から大幅な転入超過となっています。

【香芝市による5年前の常住地の転入・転出状況(令和2年)】

		転入	転出	転入－転出
県内	奈良市	241	274	-33
	大和高田市	534	343	191
	大和郡山市	94	76	18
	天理市	66	60	6
	橿原市	470	289	181
	桜井市	150	103	47
	五條市	67	12	55
	御所市	72	47	25
	生駒市	84	86	-2
	葛城市	250	339	-89
	宇陀市	69	22	47
	山添村	3	3	0
	平群町	32	34	-2
	三郷町	69	106	-37
	斑鳩町	52	82	-30
	安堵町	16	10	6
	川西町	10	27	-17
	三宅町	13	5	8
	田原本町	89	101	-12
	曽爾村	2	1	1
	御杖村	0	1	-1
	高取町	14	10	4
	明日香村	3	11	-8
	上牧町	182	264	-82
	王寺町	109	210	-101
	広陵町	361	446	-85
	河合町	83	77	6
	吉野町	11	8	3
	大淀町	41	9	32
	下市町	8	0	8
	黒滝村	1	2	-1
	天川村	1	1	0
	野迫川村	1	0	1
	十津川村	8	7	1
	下北山村	3	1	2
	上北山村	1	1	0
	川上村	2	0	2
	東吉野村	1	1	0
	小計	3,213	3,069	144
県外	東京都	136	276	-140
	大阪府	2,141	1,656	485
	愛知県	111	190	-79
	三重県	135	128	7
	滋賀県	46	119	-73
	京都府	160	233	-73
	兵庫県	252	273	-21
	その他	688	1,150	-462
	小計	3,669	4,025	-356
合計		6,882	7,094	-212

【転入】

5年前香芝市外に居住しており、
令和2年時点で香芝市内に住んでいる人の数

【転出】

5年前香芝市内に居住しており、
令和2年時点で香芝市外に居住している人の数

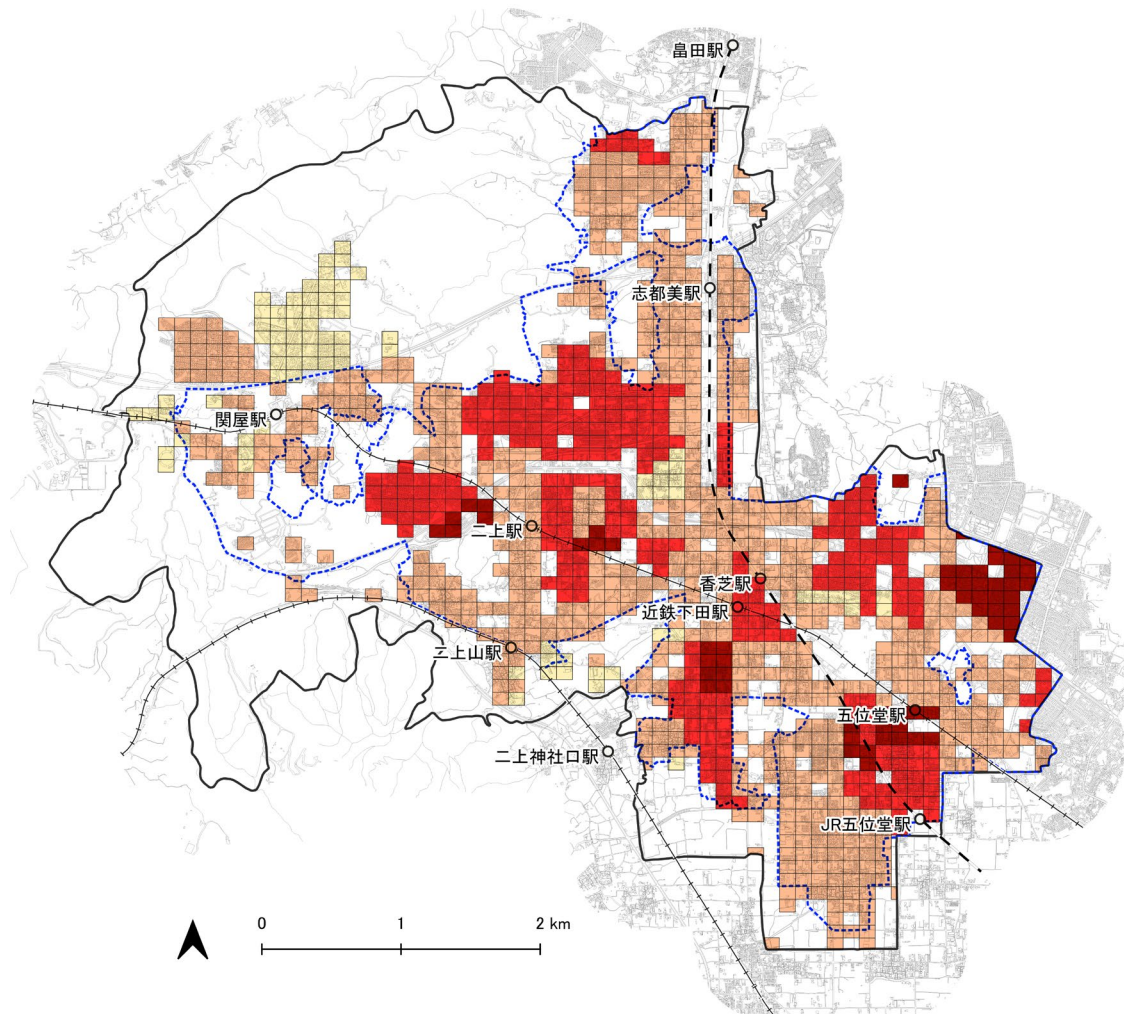
出典：令和2年国勢調査

(10) 人口分布(総人口及び年齢 3 区分別)

①総人口(平成 27 年)

平成 27 年(2015 年)の総人口 100mメッシュでは、市内の大部分のエリアで 40 人/ha 以上の人口密度となっています。特に五位堂駅周辺や五位堂駅北東部、近鉄下田駅周辺、志都美駅南西部、二上駅西部等で人口密度が高くなっています。

【人口 100mメッシュ(平成 27 年)】



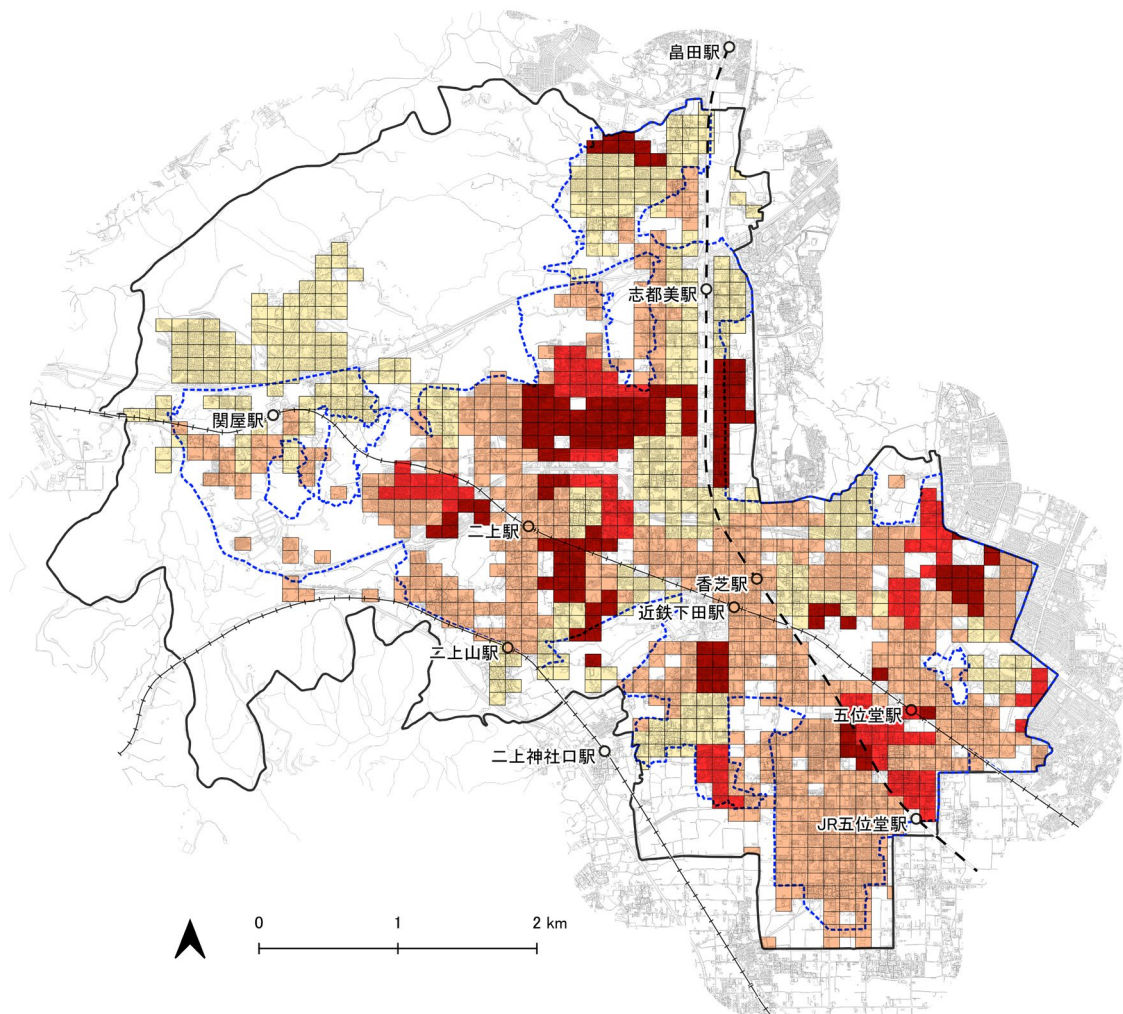
凡 例					
区域	市域		人口 密度	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V2 (国土技術総合政策研究所)

②総人口(令和 27 年)

令和 27 年(2045 年)の総人口 100mメッシュでは、平成 27 年(2015 年)と比較して、市内全域で人口密度が下がることが予想されています。志都美駅南西部等の一部地域では人口密度が上昇することが予想されていますが、現在、新規住宅の立地等が確認できないため、下記のような人口密度の上昇はしないことが想定されます。

【総人口 100mメッシュ(令和 27 年)】



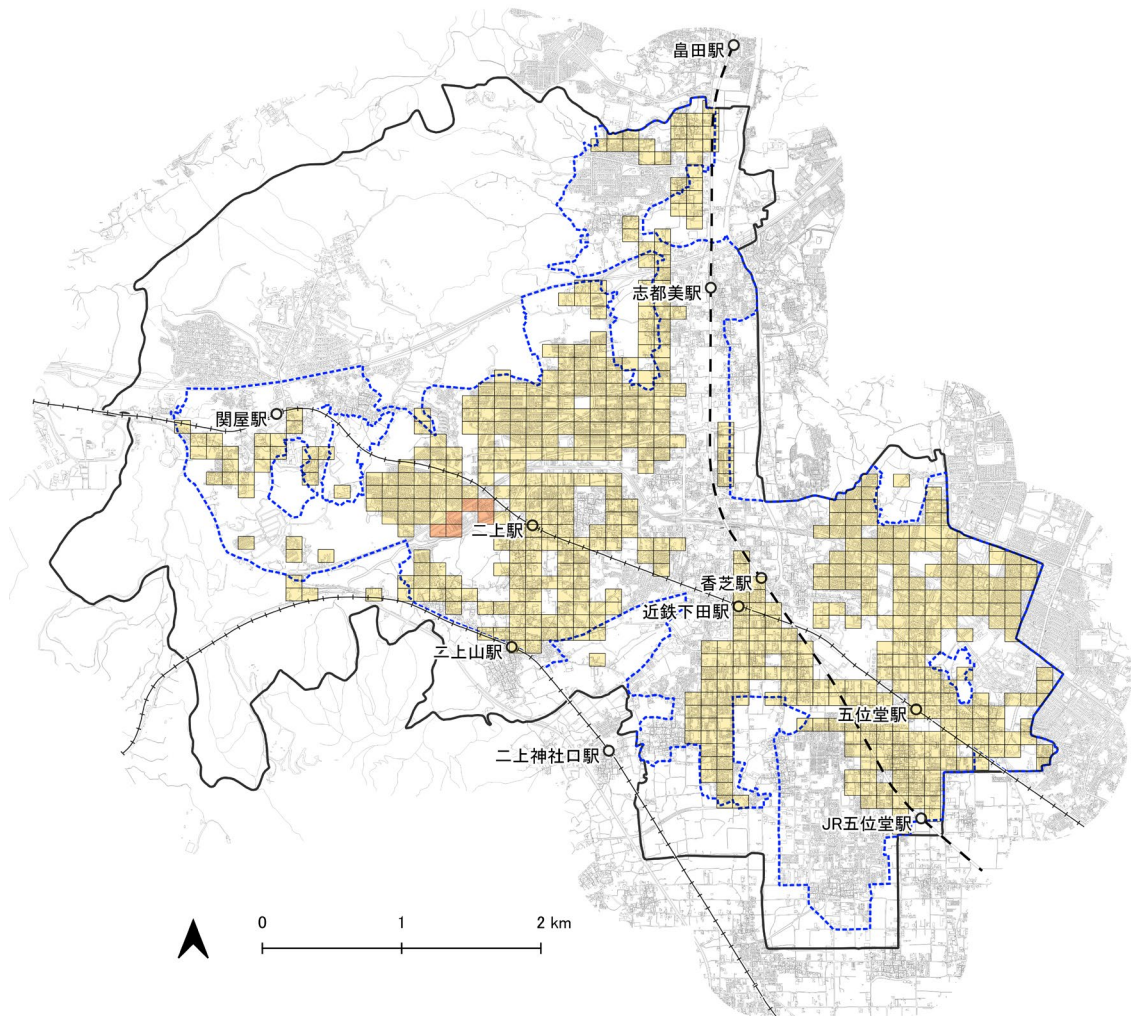
凡 例					
区域	市域		人口 密度	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V 2 (国土技術総合政策研究所)

③年少人口(平成 27 年)

平成 27 年(2015 年)の年少人口 100mメッシュでは、市内の大部分のエリアで 40 人/ha 未満の人口密度となっていますが、二上駅西部では、一部人口密度が 40 人/ha を超えているエリアがあります。

【年少人口 100mメッシュ(平成 27 年)】



凡 例					
区域	市域		人口 密度	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

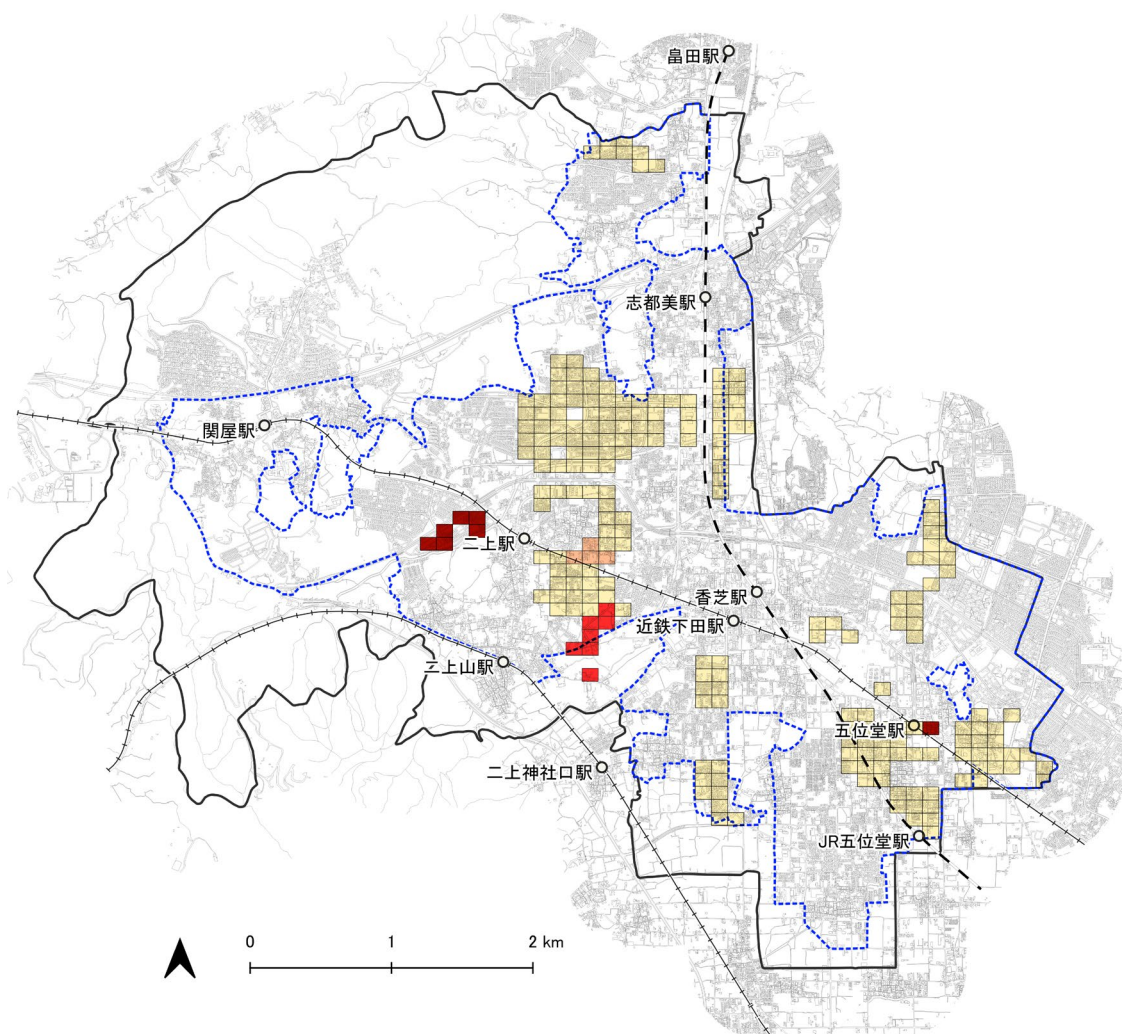
出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V 2(国土技術総合政策研究所)

④年少人口(令和 27 年)

令和 27 年(2045 年)の年少人口 100mメッシュでは、平成 27 年(2015 年)と比較して、多くのエリアで 10 人/ha となり、減少することが予測されています。

また、二上駅周辺等で人口密度が増加することが予想されている地域があります
が、過去に土地区画整理事業等によって新規住宅が整備され、人口が増加したことが
影響しており、現在、大幅な人口増加傾向がみられないため、下記のような人口密度
の上昇はしないことが想定されます。

【年少人口 100mメッシュ(令和 27 年)】



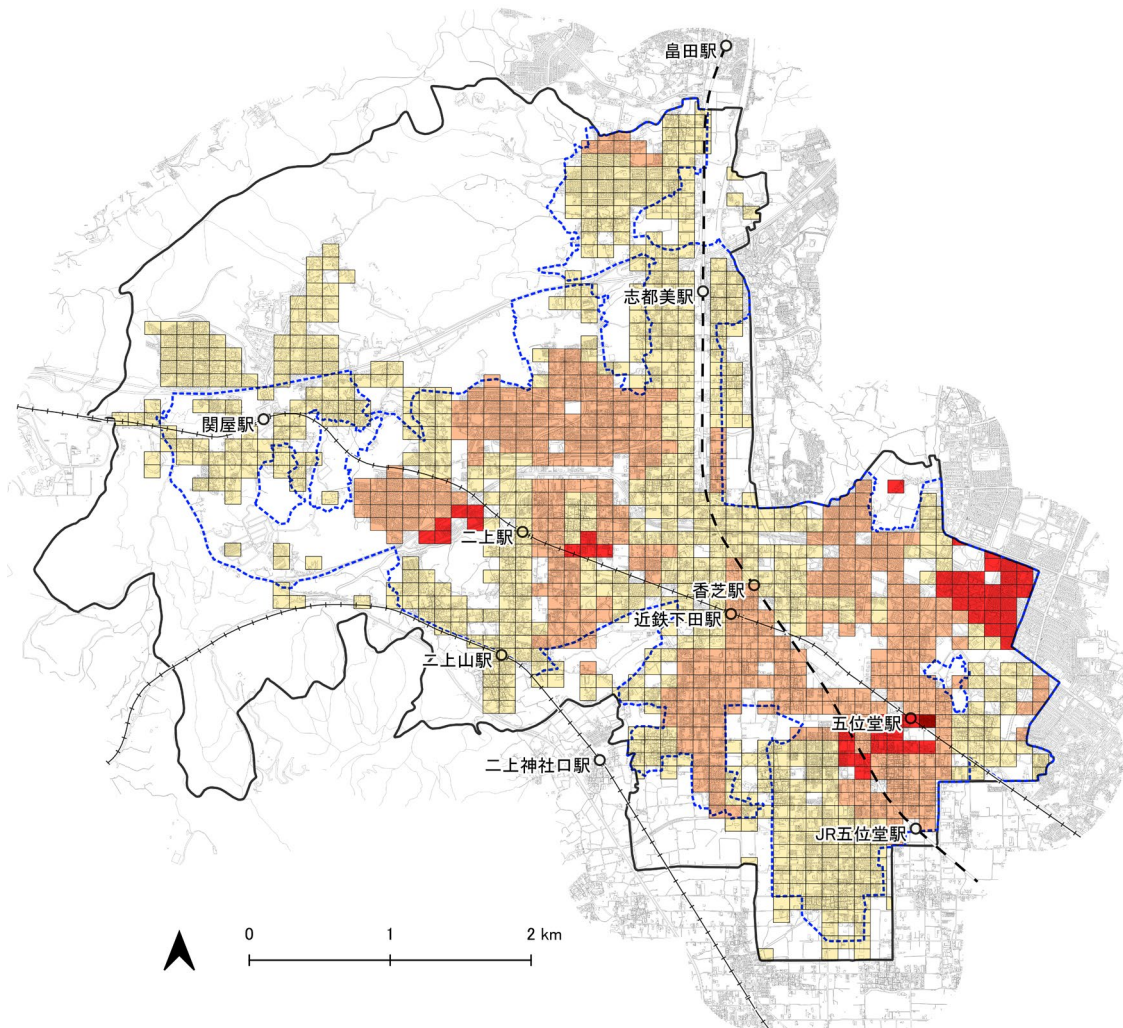
凡 例					
区域	市域		人口 密度	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V 2 (国土技術総合政策研究所)

⑤生産年齢人口(平成 27 年)

平成 27 年(2015 年)の生産年齢人口 100mメッシュでは、土地区画整理事業が実施された真美ヶ丘地区や五位堂駅周辺地区、高山台地区等で人口密度が高い地域がみられます。

【生産年齢人口 100mメッシュ(平成 27 年)】



凡 例					
区域	市域		人口	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

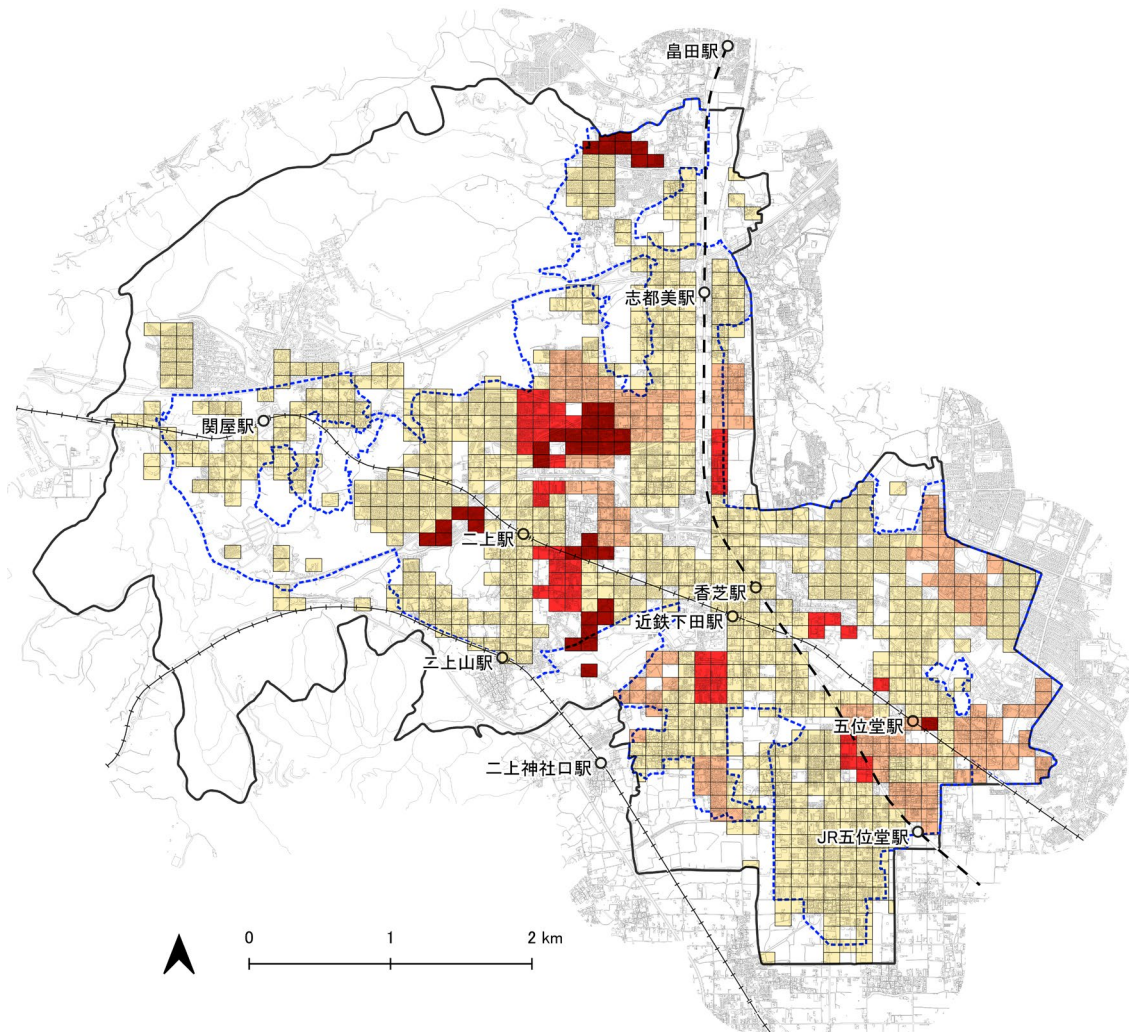
出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V 2 (国土技術総合政策研究所)

⑥生産年齢人口(令和 27 年)

令和 27 年(2045 年)の生産人口 100mメッシュでは、平成 27 年(2015 年)と比較して、多くのエリアで人口密度が維持されることが予測されています。

また、白鳳台地区や旭ヶ丘地区、二上駅周辺等で人口密度が増加することが予測されていますが、それは過去に土地区画整理事業等によって、新規住宅が整備され、人口が増加したことが影響しており、現在、大幅な人口増加傾向がみられないため、下記のような人口密度の上昇はしないことが想定されます。

【生産年齢人口 100mメッシュ(令和 27 年)】



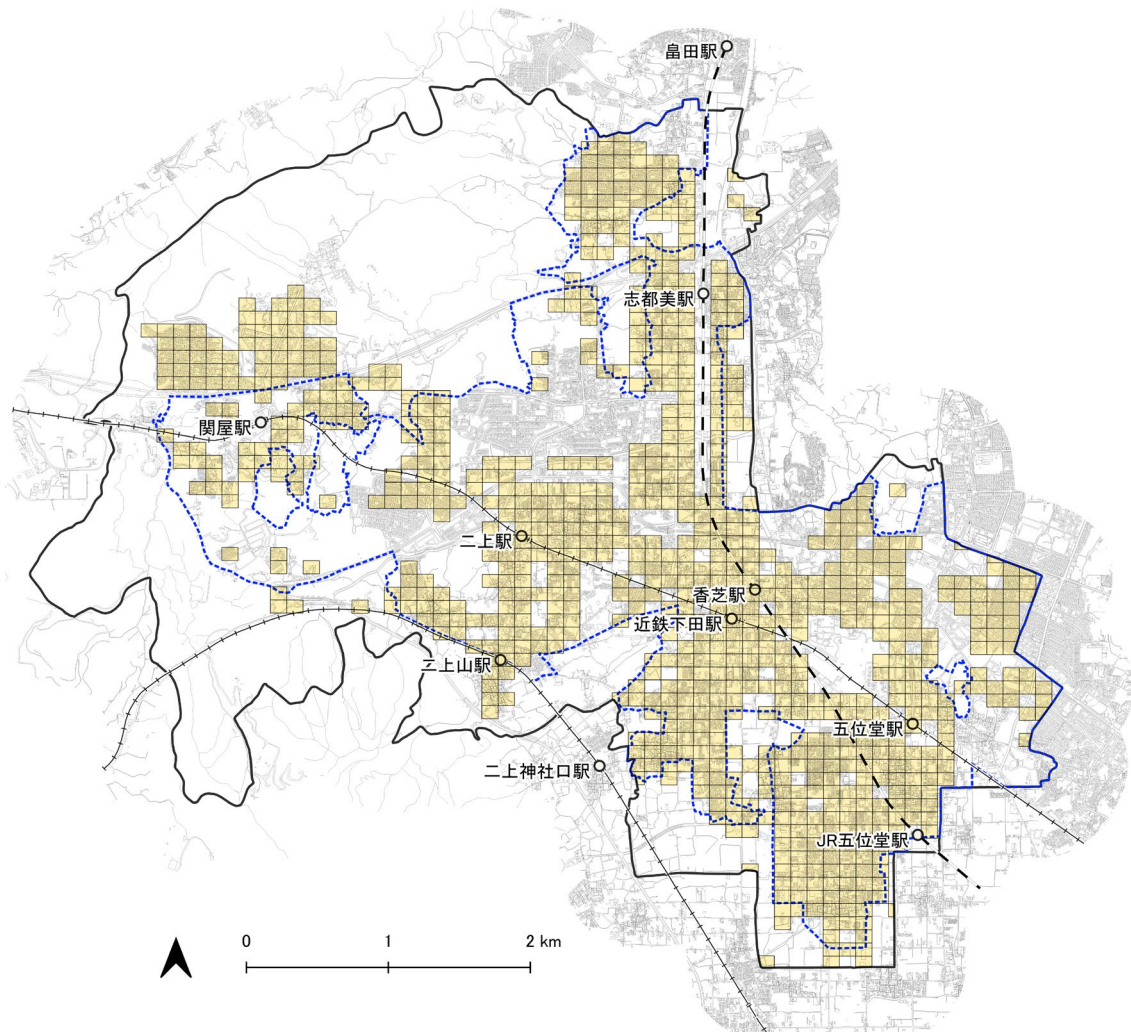
凡 例					
区域	市域		人口	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V 2 (国土技術総合政策研究所)

⑦老年人口(平成 27 年)

平成 27 年(2015 年)の老年人口 100mメッシュでは、市域全体で 10-40 人/ha の人口密度となっています。

【老年人口 100mメッシュ(平成 27 年)】



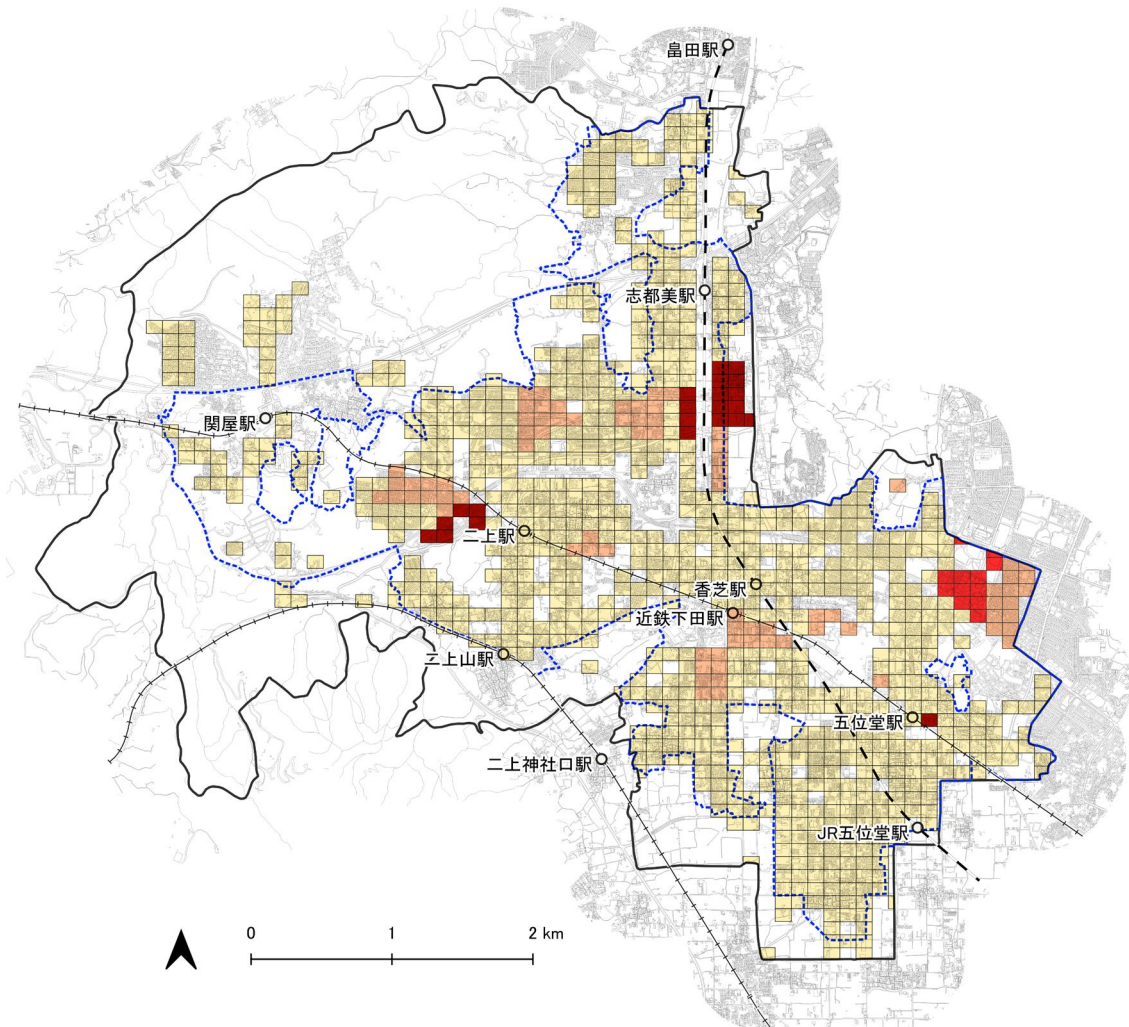
凡 例					
区域	市域		人口	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V 2 (国土技術総合政策研究所)

⑦老年人口(令和 27 年)

令和 27 年(2045 年)の老年人口 100mメッシュでは、平成 27 年(2015 年)と比較して、高山台地区や旭ヶ丘地区、真美ヶ丘地区等で人口が増加することが予測されています。

【老年人口 100mメッシュ(令和 27 年)】



凡 例					
区域	市域		人口	10 人/ha 未満	
	市街化区域			10-40 人/ha	
鉄道	近畿日本鉄道			40-80 人/ha	
	JR 西日本			80-120 人/ha	
	駅			120 人/ha 以上	

出典：平成 27 年将来人口・世帯予測ツール V 2 (国土技術総合政策研究所)

3. 産業

(1) 地場産業

香芝市では、靴下、金剛砂研磨布紙、鋳物、プラスチックが地場産業として、有名です。

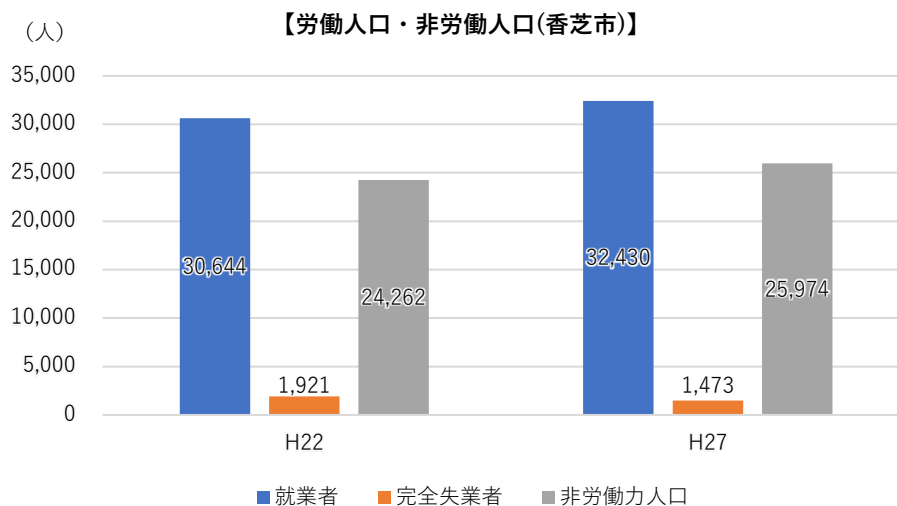
【香芝市の地場産業の詳細】

靴下	香芝市では、明治末期、農家の副業として靴下の生産が始まりました。戦後、ウーリーナイロンの開発が成功するや靴下産業は飛躍的な発展を遂げました。香芝市をはじめとする葛城地域は靴下の総合生産地としてソックス・タイツ・ストッキングのいずれも高い生産力と全国一のシェアを誇っています。
金剛砂 研磨布紙	二上山ではガーネットの名で知られる金剛砂(ざくろ石)が古くから産出されていました。天平の頃にはこの金剛砂を用いて勾玉を磨いたという記録もあります。明治初期には金剛砂から研磨布紙が作られました。現在では需要に応じて様々な形態の研磨紙が作られ、海外にも需要が広がっています。また、金剛砂の輝きを生かした「ふたかみ窯」という焼物も開発されています。
鋳物	奈良時代に中国から渡来した鋳物師達は、日本に仏像・釣鐘等の製造技術をもたらしました。奈良の大仏をはじめ、武器・祭器等を鋳造したのが奈良の鋳物業の始まりです。その後、鍋・釜・くわなどが主に生産され、現在では産業機械や工作機械の部材等の生産が精力的に続けられています。
プラスチック	昭和 20 年代後半、プラスチックの出現で、文房具や歯ブラシ等の製造業者が業種転換していったことに始まり、昭和 40 年代以降、家電用部品や自動車部品、日用雑貨の生産によって飛躍的に発展しました。プラスチックは今や日常生活に不可欠な素材となり、香芝市の製造業者は日用品のほか、レトルト食品や保存容器などの幅広い分野にその技術と製品を供給しています。

出典：奈良県 香芝市商工会 HP「地場産業」より抜粋

(2) 15 歳以上の労働力状態の変化

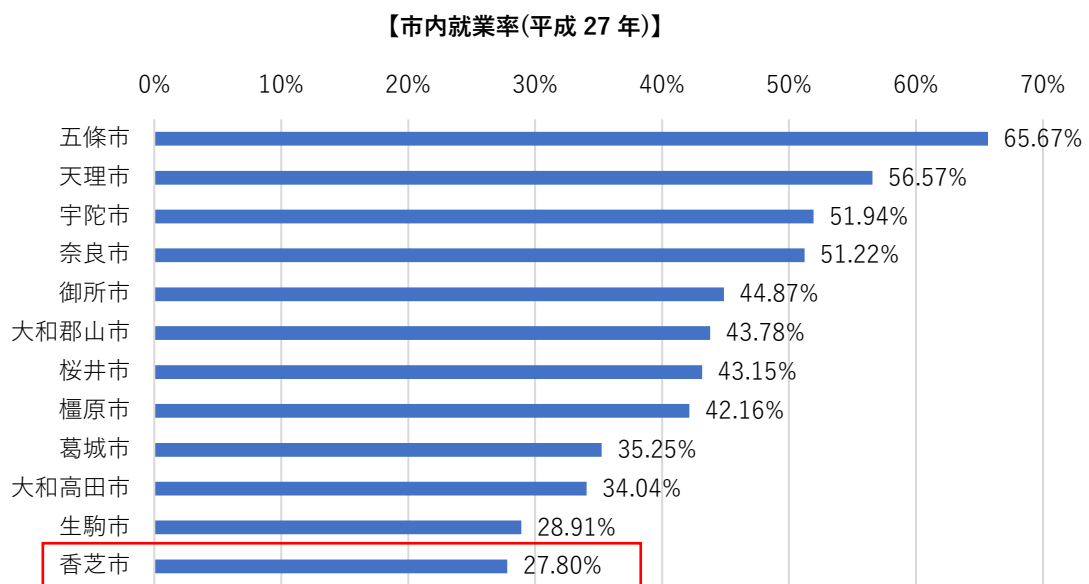
本市における 15 歳以上の就業者数は、平成 22 年(2010 年)に 30,644 人、平成 27 年(2015 年)に 32,430 人と増加しています。完全失業者数は平成 22 年(2010 年)に 1,921 人、平成 27 年(2015 年)に 1,473 人と減少しています。



出典：平成 27 年国勢調査

(3) 市内就業率

香芝市の市内就業率は、27.80%となっており、奈良県 12 市の中で、最下位となっています。

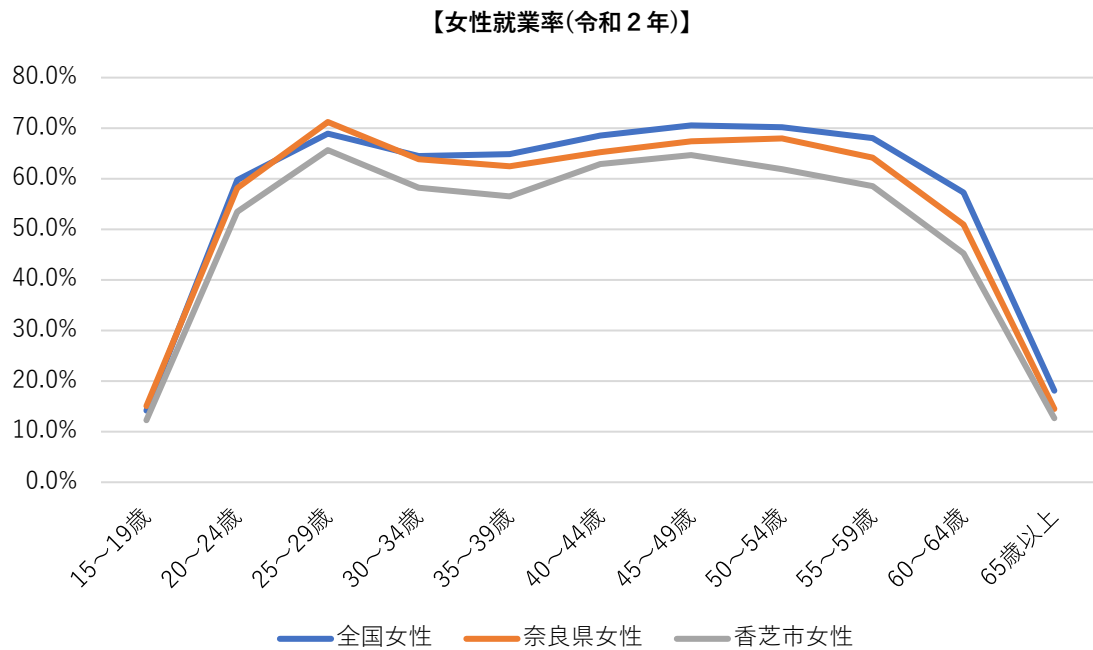


市内就業率 = (自宅に従業する就業者数 + 自宅外の自市で従業する就業者数) ÷ 常住地による就業者数 にて算出

出典：平成 27 年国勢調査

(4) 女性就業率

香芝市の女性就業率(15歳以上)は、全国平均や奈良県全体と比較し、ほぼすべての年齢で下回っています。



割合	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
全国	14.2%	59.7%	68.9%	64.5%	64.9%	68.5%	70.6%	70.2%	68.0%	57.3%	18.1%
奈良県	15.1%	58.1%	71.2%	63.9%	62.5%	65.3%	67.4%	68.0%	64.1%	51.0%	14.5%
香芝市	12.3%	53.5%	65.7%	58.2%	56.5%	62.9%	64.7%	61.9%	58.5%	45.3%	12.7%

出典：令和2年国勢調査

(5) 産業大分類別就業者数の推移

産業を3部門に分類し、平成22年(2010年)と令和2年(2020年)を比較すると、第2次産業は減少しているものの、第1次産業は微増、第3次産業は増加しています。

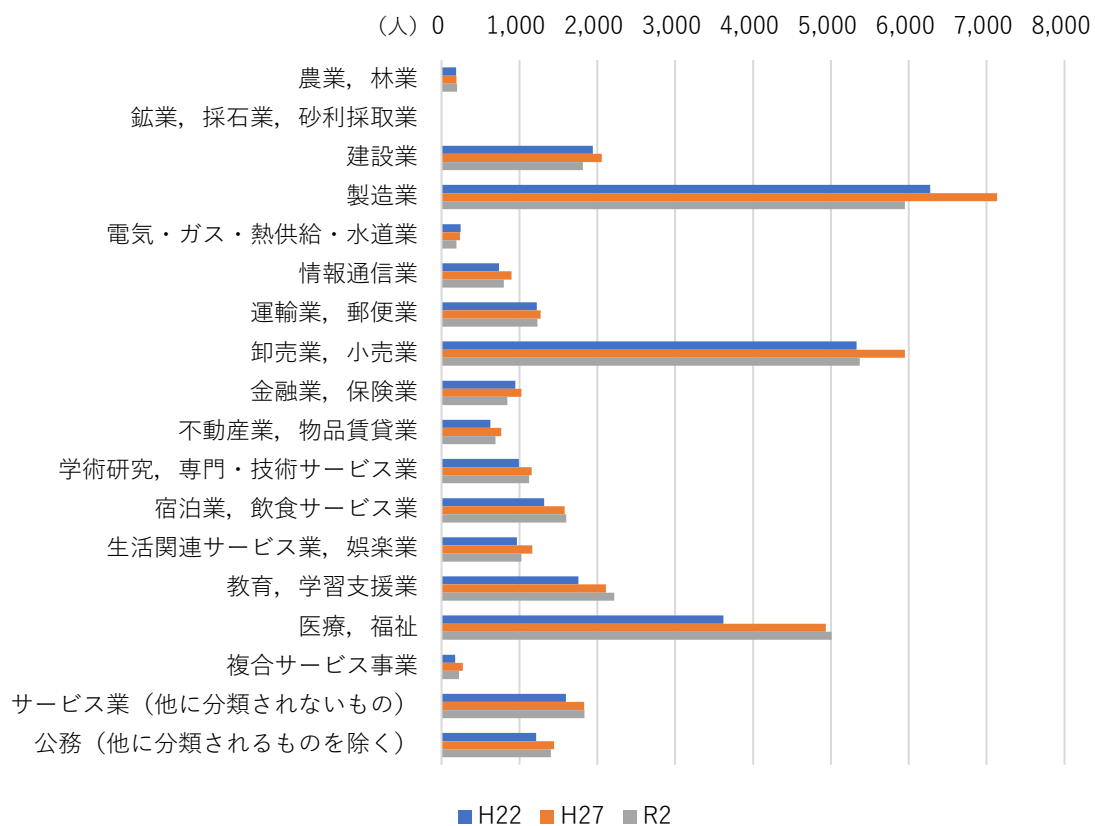
また、産業分類別就業者数は「製造業」、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」が他の分類に比べて多く、平成22年(2010年)と令和2年(2020年)を比較すると「医療、福祉」の分類が大きく増加しています。

【産業大分類別就業者数の推移】

	H22	H27	R2	H22～R2 増減
第1次産業	189	193	199	+10
第2次産業	8,221	9,197	7,766	-455
第3次産業	20,757	24,651	23,571	+2,814

出典：平成22年～令和2年国勢調査

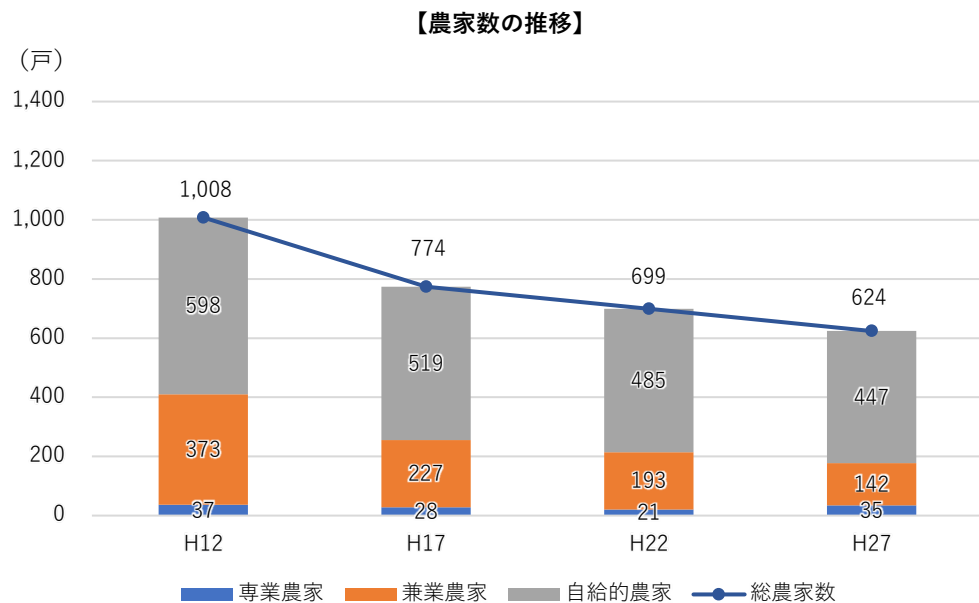
【産業大分類別の就業者数】



出典：平成22年～令和2年国勢調査

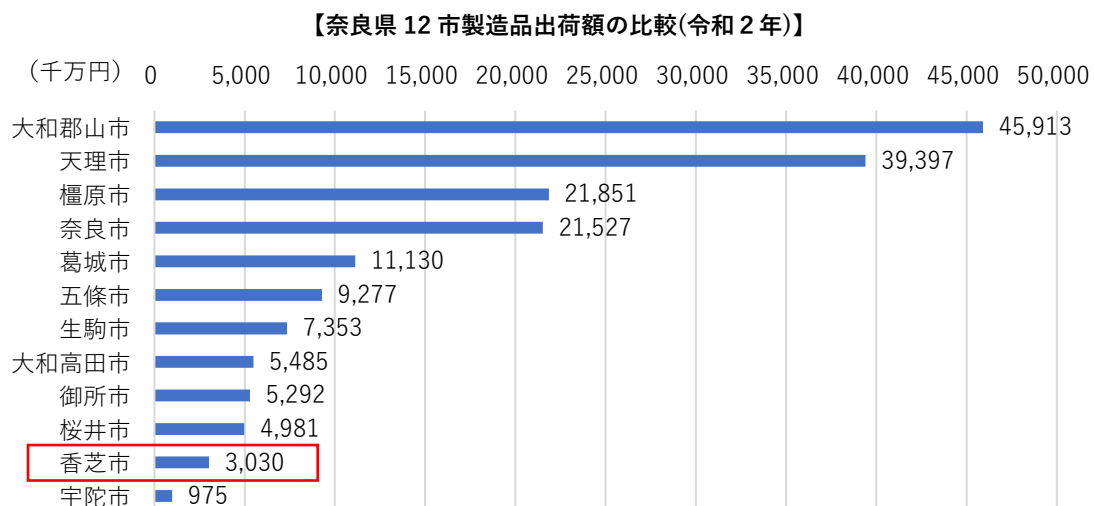
(6) 農業の動向(農家数)

平成 12 年(2000 年)から平成 27 年(2015 年)にかけて、総農家数は 1,008 戸から 624 戸へと減少しています。兼業農家数は 373 戸から 142 戸に減少、自給的農家数は 598 戸から 447 戸に減少しています。専業農家数は平成 12 年から平成 22 年にかけて減少していますが、平成 22 年(2010 年)から平成 27 年(2015 年)にかけては増加しています。



(7) 奈良県 12 市の製造品出荷額の比較

奈良県内の 12 市の製造品出荷額を比較すると、香芝市は約 3,030 千万円であり、11 番目となっています。



(8) 製造業の動向(事務所数・従業者数・製造品出荷額等)

令和2年(2019年)の製造業は、繊維工業やプラスチック製品、金属製品の従業者数や製造品出荷額が他の製造業に比べて高い結果となっています。

【製造業の事務所数・従業者数・製造品(令和2年)】

産業中分類	事務所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
合計	97	2,069	3,029,976
食料品製造業	2	47	-
飲料・たばこ・飼料製造業	1	4	-
繊維工業	19	601	597,035
家具・装備品製造業	3	104	125,826
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	19	-
印刷・同関連業	4	37	24,299
化学工業	3	69	91,916
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	16	289	544,536
窯業・土石製品製造業	9	175	330,241
鉄鋼業	1	21	-
非鉄金属製造業	3	62	91,466
金属製品製造業	10	214	409,081
はん用機械器具製造業	7	81	97,293
生産用機械器具製造業	11	200	330,163
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	31	-
電気機械器具製造業	2	39	-
輸送用機械器具製造業	2	24	-
その他の製造業	2	52	-

出典：令和2年工業統計調査

(9) 卸売業小売業の動向(事務所数・従業者数・年間商品販売額)

平成 31 年(2019 年)の卸売業小売業の年間商品販売額は、飲食料品や機械器具の小売業が他の卸売業小売業に比べて高い結果となっています。

【製造業の事務所数・従業者数・製造品(平成 31 年)】

分類	事務所数	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
卸売業小売業合計	283	2,949	54,116
各種商品小売業	2	84	-
百貨店、総合スーパー	1	82	-
その他の各種商品小売業 (従業者が常時 50 人未満のもの)	1	2	-
織物・衣服・身の回り品小売業	37	199	3,153
呉服・服地・寝具小売業	4	9	-
男子服小売業	6	37	625
婦人・子供服小売業	16	94	1,966
靴・履物小売業	2	6	-
その他の織物・衣服・身の回り品小売業	9	53	-
飲食料品小売業	78	1,233	19,458
各種食料品小売業	10	473	9,950
野菜・果実小売業	5	15	231
食肉小売業	3	14	84
鮮魚小売業	3	15	189
酒小売業	7	20	180
菓子・パン小売業	19	163	658
その他の飲食料品小売業	31	533	8,167
機械器具小売業	50	430	14,248
自動車小売業	30	266	9,874
自転車小売業	2	12	-
機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	18	152	-
その他の小売業	108	966	-
家具・建具・畳小売業	8	16	263
じゅう器小売業	3	5	-
医薬品・化粧品小売業	30	217	4,739
農耕用品小売業	4	12	118
燃料小売業	11	94	4,595
書籍・文房具小売業	9	146	1,247
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	8	91	1,137
写真機・時計・眼鏡小売業	3	13	-
他に分類されない小売業	32	372	3,912
無店舗小売業	8	37	677
通信販売・訪問販売小売業	8	37	677

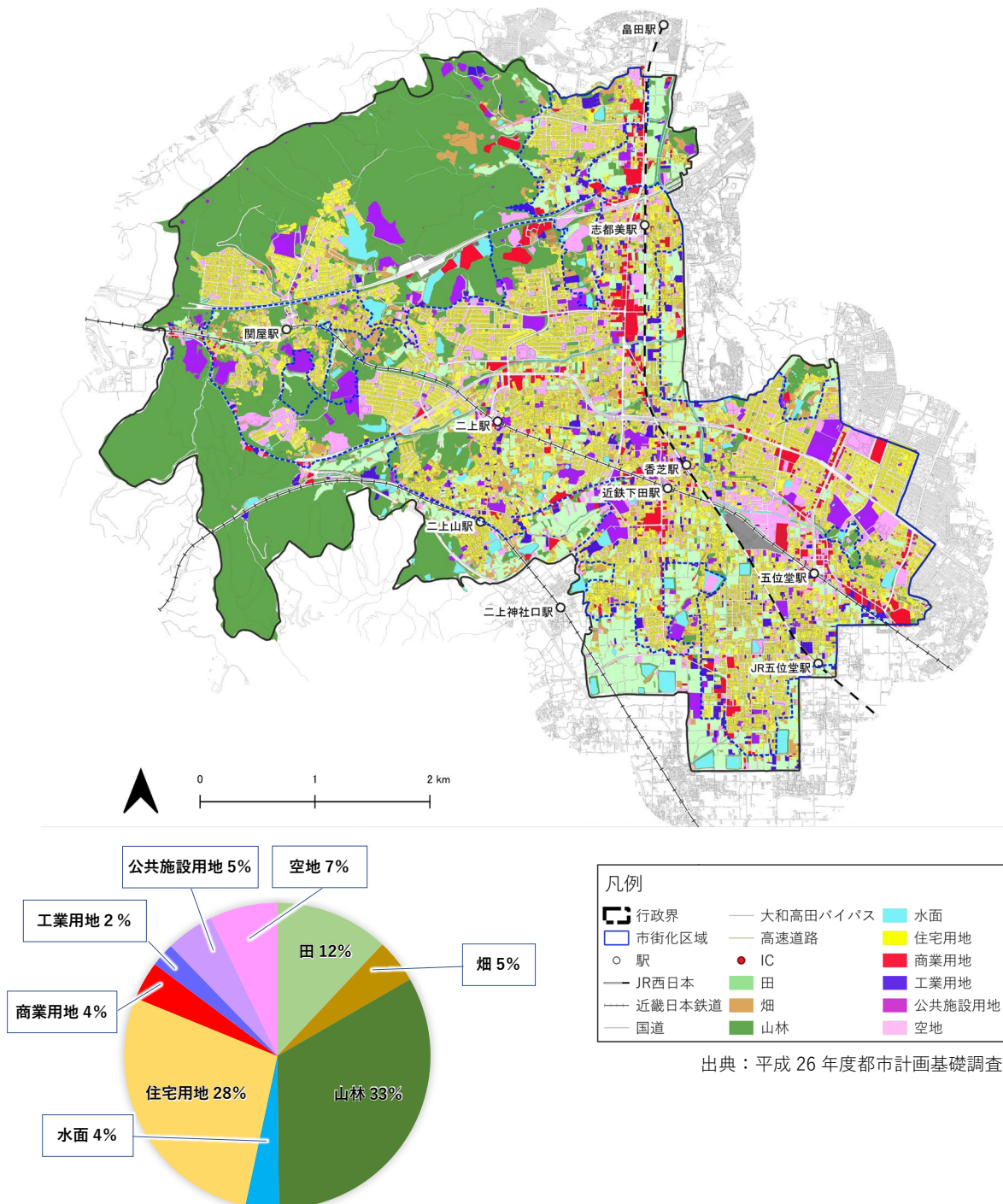
出典：平成 28 年経済センサス

4. 土地利用

(1) 土地利用現況

本市の土地利用は、北西部と南西部に山林が広がり、JR 西日本や近畿日本鉄道沿いに住宅・商業・工業用地が分布しています。土地利用の面積別割合は、山林が最も多く約 33%、次いで住宅用地が約 28%、田が約 12%となっています。

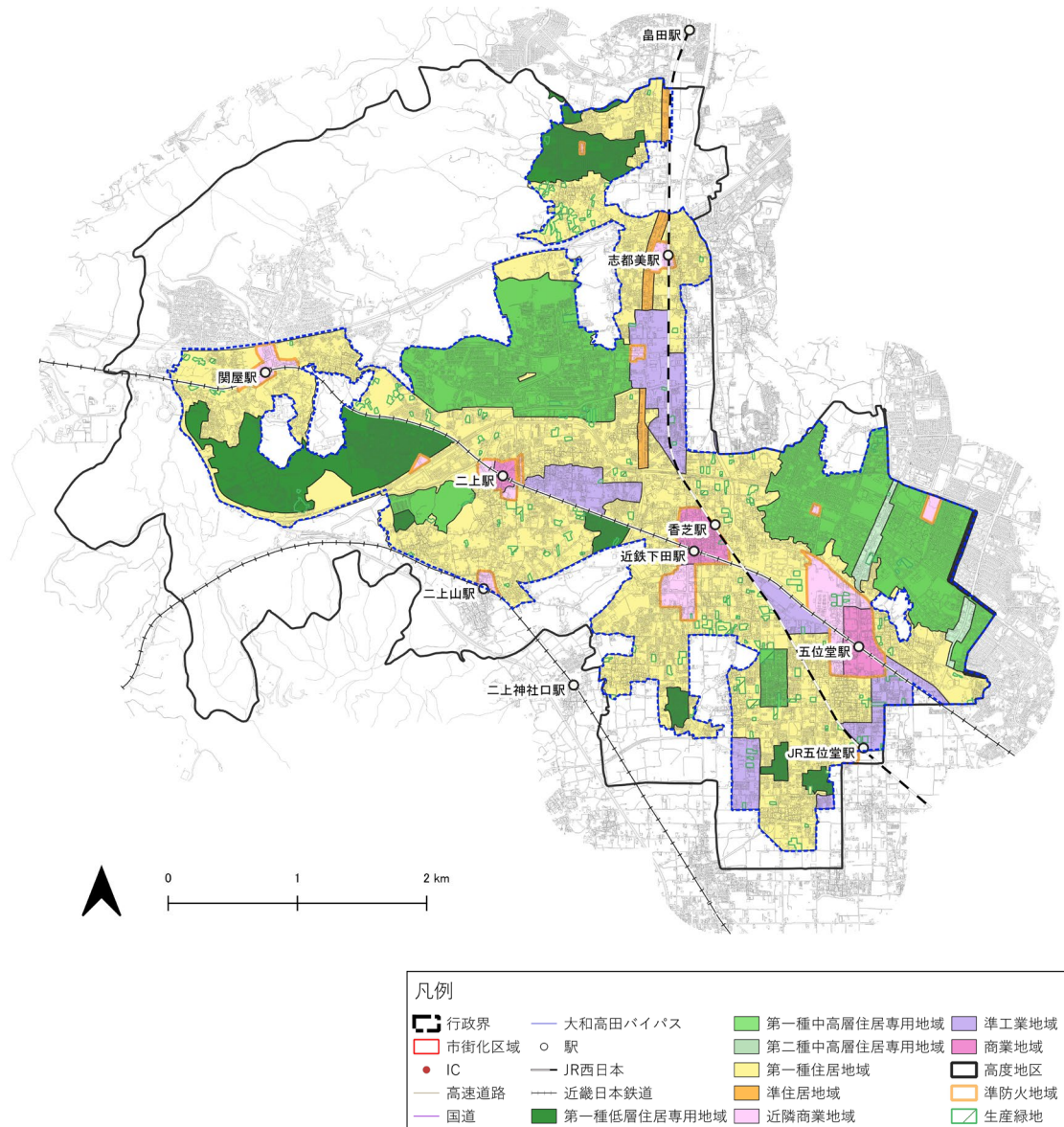
【土地利用現況(平成 26 年度)】



(2) 地域地区等の現況

地域地区等の指定状況は、第一種住居地域・第一種中高層住居専用地域・第一種低層住居専用地域が広域的に指定されています。商業地域・準工業地域は南東部に分布しています。

【地域地区等の現況(平成 26 年度)】



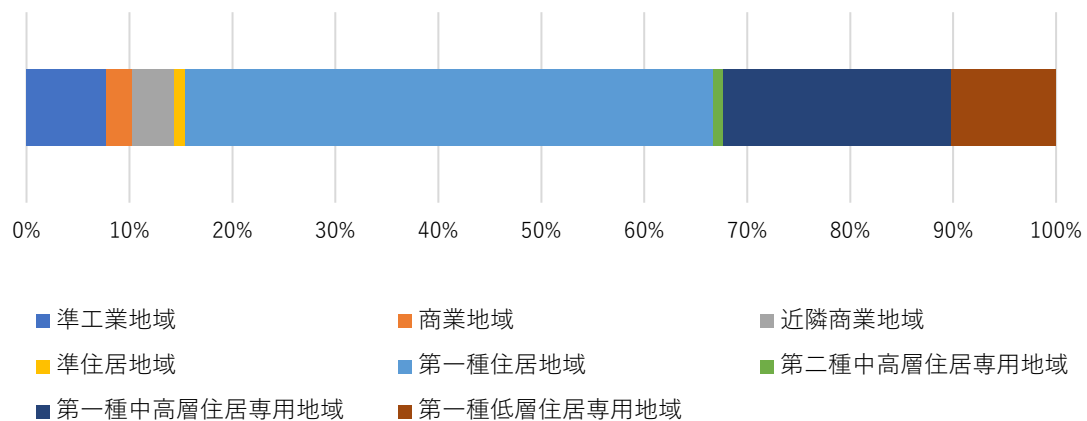
出典：平成 26 年度都市計画基礎調査

(3) 用途地域別面積割合

用途地域別面積割合は、第一種住居地域が最も高く、51.3%となっています。また住居系の土地利用(準住居地域・第一種住居地域・第二種中高層住居専用地域・第一種中高層住居専用地域・第一種低層住居専用地域)の割合の和は 85.8%となっています。

【用途地域面積別割合(平成 26 年度)】

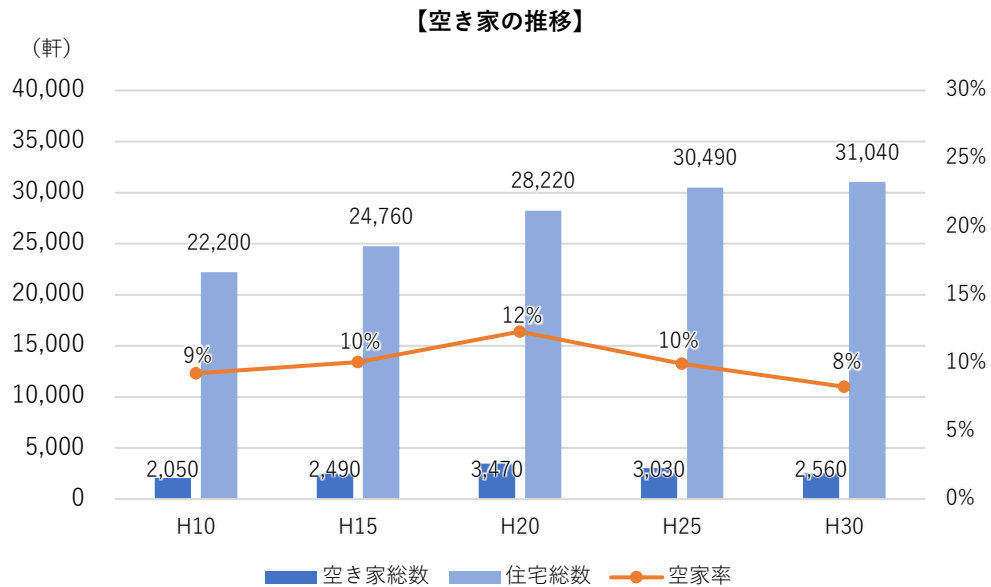
	面積(ha)	割合
準工業地域	96.5	7.8%
商業地域	31.7	2.5%
近隣商業地域	49.9	4.0%
準住居地域	13.3	1.1%
第一種住居地域	637.6	51.3%
第二種中高層住居専用地域	12.1	1.0%
第一種中高層住居専用地域	276.4	22.2%
第一種低層住居専用地域	126.4	10.2%
合計	1243.9	100.0%



出典：平成 26 年度都市計画基礎調査調書

(4) 空き家の推移

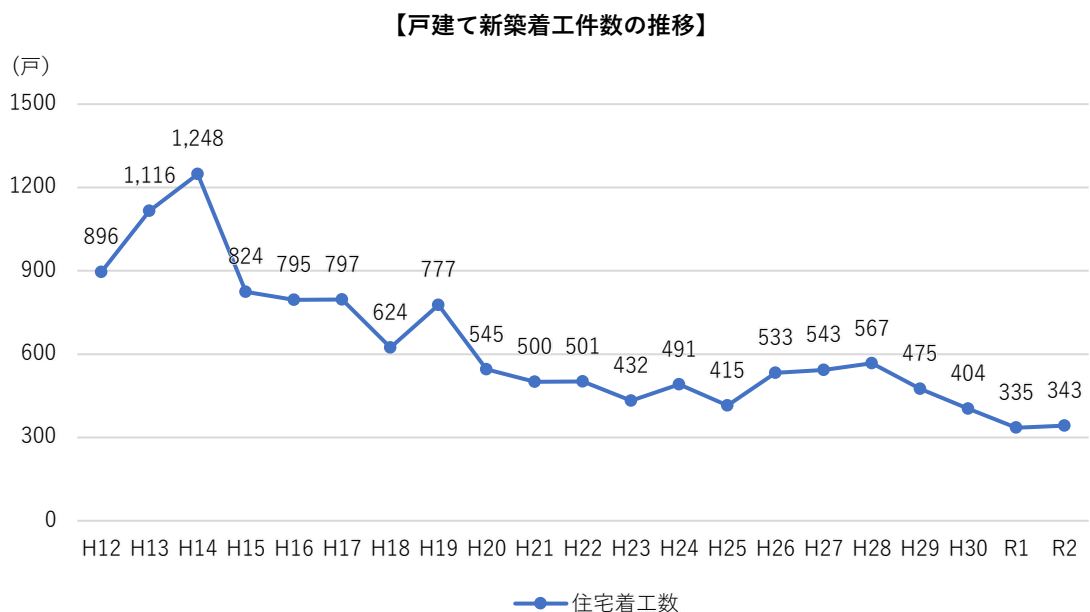
住宅総数は増加傾向にあります。空き家総数は平成 20 年(2008 年)から減少傾向に転じ、平成 30 年(2018 年)時点では 2,560 戸まで減少しています。空き家率は平成 20 年(2008 年)から減少傾向に転じ、平成 30 年(2018 年)時点では 8%まで減少しています。



出典：平成 10 年～平成 30 年住宅・土地統計調査

(5) 戸建て新築着工件数の推移

本市の住宅着工数は平成 14 年(2002 年)の 1,248 件をピークに減少傾向にあり、令和 2 年(2020 年)は 343 件にまで減少しています。



出典：平成 12 年～令和 2 年住宅着工統計調査(築着工統計調査)

5. 災害

(1) 過去の災害履歴

本市に関する近年の風水害・地震災害は、以下のとおりになります。

市内では、水防法(昭和 24 年法律 193 号)・県水防計画に規定する警戒すべき河川として葛下川、原川が指定されています。

本市は、平成 10 年(1998 年)の台風 7 号により市内の屋根や塀等が破損したほか、電線等のライフラインにも大きな被害が生じ、数日間にわたり生活に支障をきたしました。平成 19 年(2007 年)の集中豪雨では葛下川等の堤防崩れや一部道路の崩落、さらに浸水被害が 116 棟に達しました。

【風水害】

発生年月日	被害状況等
H 9.7.13	13 日の未明より降り出した雨は、8 時から 9 時の 1 時間に 29 mm を記録した。そのため、葛下川が増水し床上浸水 80 棟、土砂崩れ 1 箇所、道路・田畑の冠水数箇所等の被害が生じた。
H10.9.22	22 日高知県室戸岬の東から紀伊水道を通り、13 時過ぎ和歌山県御坊市付近に上陸、本市には 15 時頃に最も接近し最大瞬間風速 56.8m を記録し、市内に大きな被害をもたらした。人的被害は軽傷者 5 名、家屋被害としては、全壊 3 棟、半壊 3 棟、一部損壊 1,594 棟、床下浸水 2 棟の被害が生じた。また、暴風により電柱が倒れ、市内の 90% の家庭で停電が起こり完全復旧までに 2 日間を要した。
H19.7.16 ～17	集中豪雨により、下田栄橋付近で 10 数件が停電したほか、床上浸水 3 棟、床下浸水 113 棟、下田栄橋付近の国道 165 号を挟んだ南北道路が崩落、信号や電柱が倒壊、小屋流出が発生した。

出典：平成 26 年度修正香芝市地域防災計画

【地震災害】

発生年月日	地震名称 (震央)	マグニ チュード	被害状況等
H 7.01.17	兵庫県 南部地震 (淡路島付 近)	7.3	近代都市を襲った直下型地震。1949 年制定以来初めて、神戸市を中心とした阪神地域および淡路島北部に震度 7 の激震地が指定された。全体で死者 6,425 人、行方不明者 2 人、全半壊 25 万棟以上に及ぶ。奈良は震度 4。奈良県内の被害は傷者 12 人、建物の一部損壊 15 件など比較的軽微。
H12.10.31	(三重県中部)	5.7	三重県で住家一部破損や水道管破断が発生、負傷者は 6 人。奈良県は南部で一部落石、崩土が発生。奈良県は震度 4。
H16.9.5	(紀伊半島沖)	6.9	下北山村及び和歌山県新宮市で震度 5 弱。奈良県等で震度 4。奈良県では一部で道路の落石及び小規模崩土が発生。下記地震の余震。
H16.9.5	(東海道沖)	7.4	下北山村並びに三重県及び和歌山県の一部で震度 5 弱。奈良県等で震度 4。奈良県では負傷者 6 人が発生。

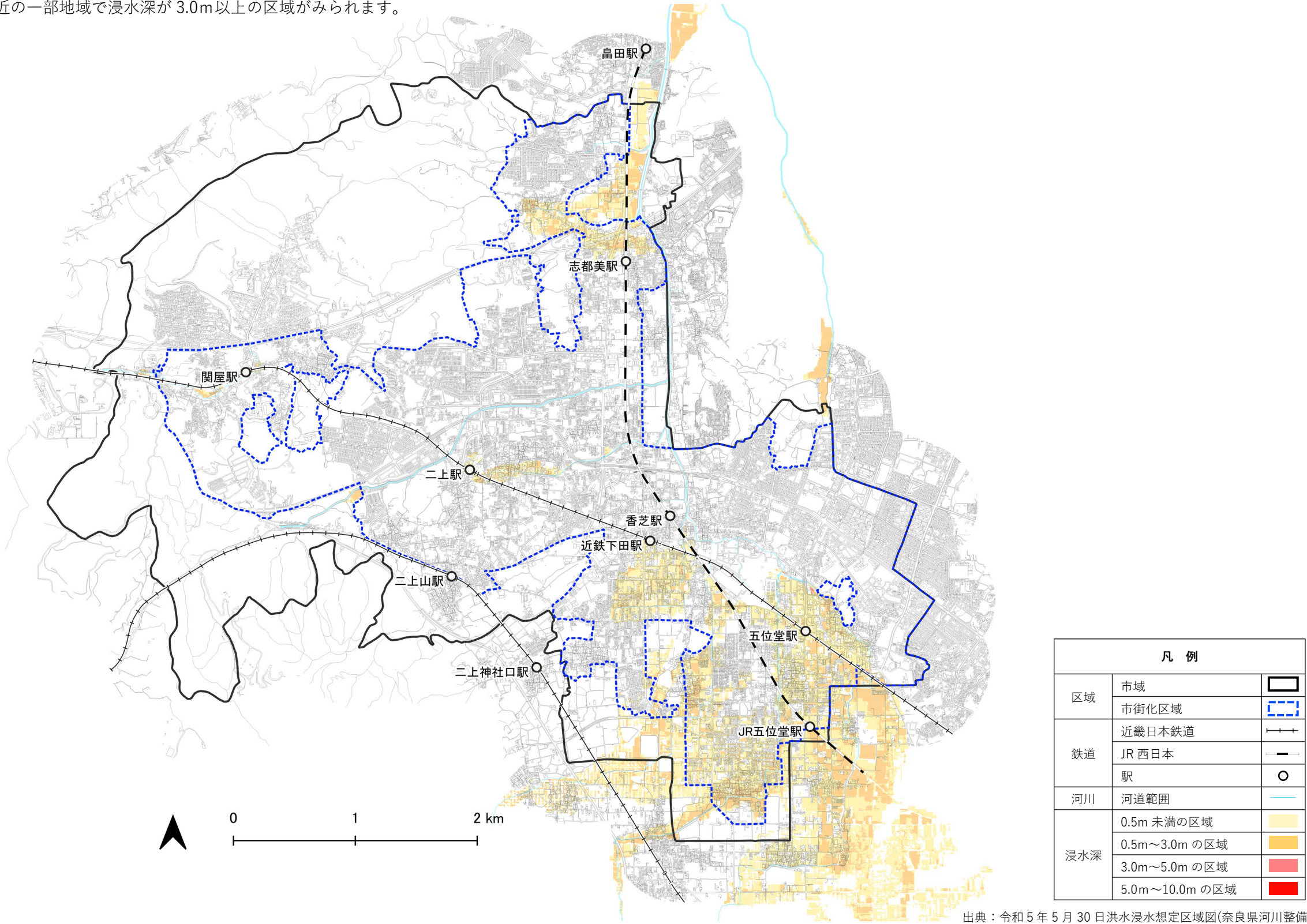
出典：平成 26 年度修正香芝市地域防災計画

(2) 洪水浸水(浸水想定区域・浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))

①浸水想定区域(計画規模)

市内には、11 の河川(葛下川、原川、滝川、尼寺川、平野川、竹田川、すがる川、鳥居川、初田川、熊谷川、岩谷川)で浸水想定区域が想定されており、計画規模降雨によって、志都美駅北部や五位堂駅南部等を中心に浸水想定がされています。

また、河川流域付近の一部地域で浸水深が 3.0m 以上の区域がみられます。

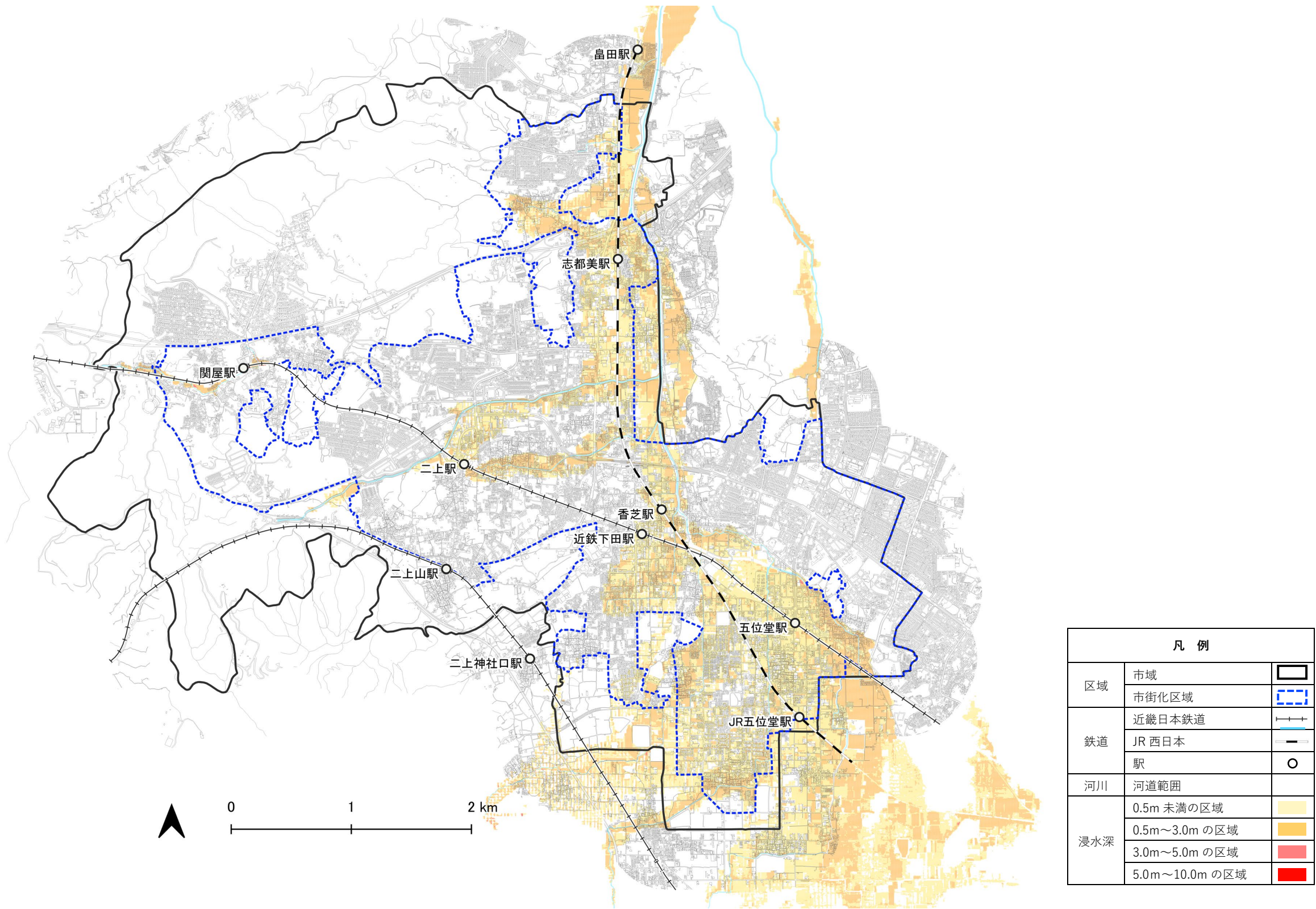


出典：令和 5 年 5 月 30 日洪水浸水想定区域図(奈良県河川整備課)

②浸水想定区域(想定最大)

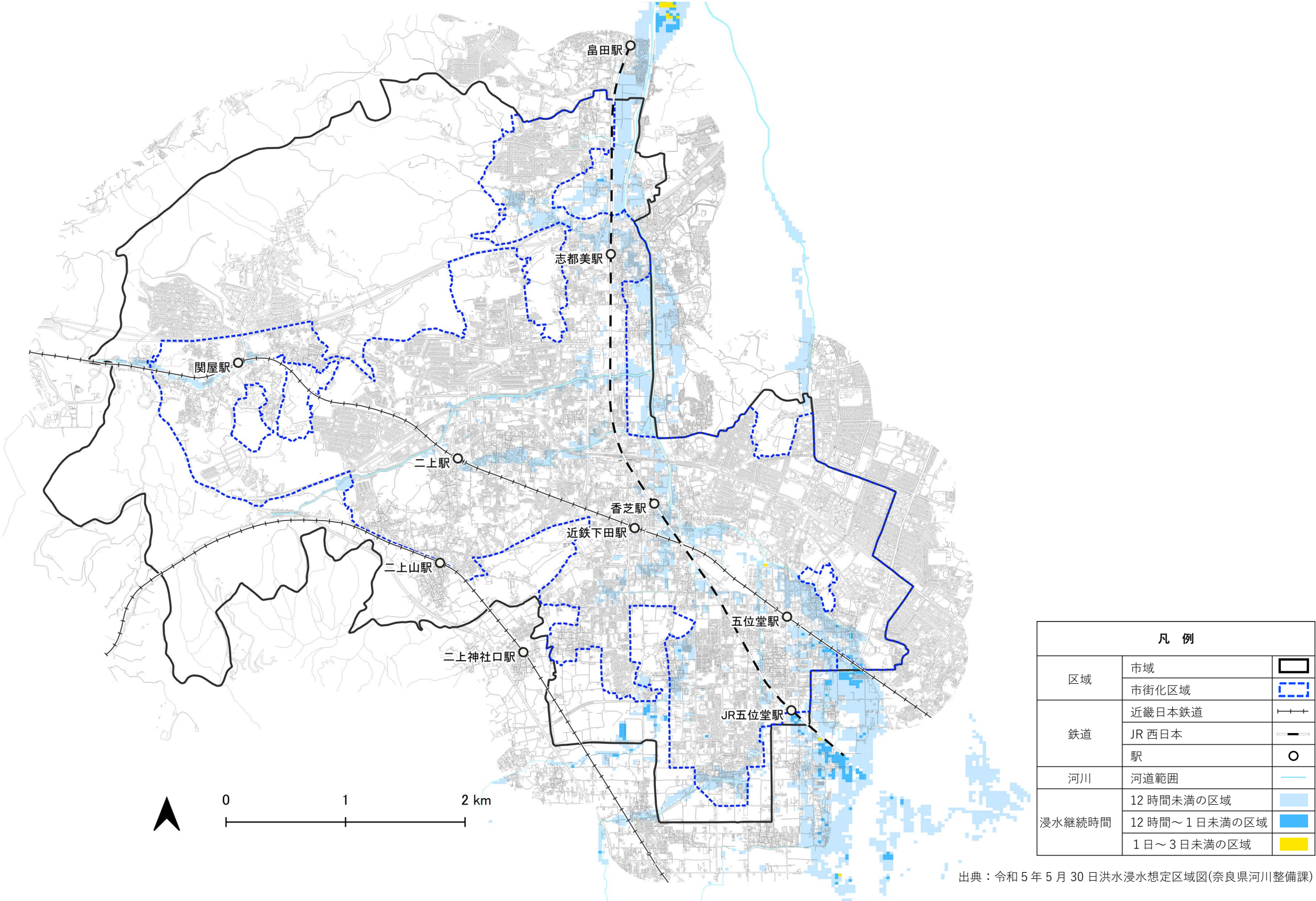
想定最大規模降雨時には、計画規模降雨時の予測と比較し、志都美駅と香芝駅の間で浸水区域が拡大することが予測されています。

また、河川流域付近の一部地域で浸水深が 3.0m～5.0m の区域、5.0m～10.0m の区域がみられます。



③浸水継続時間

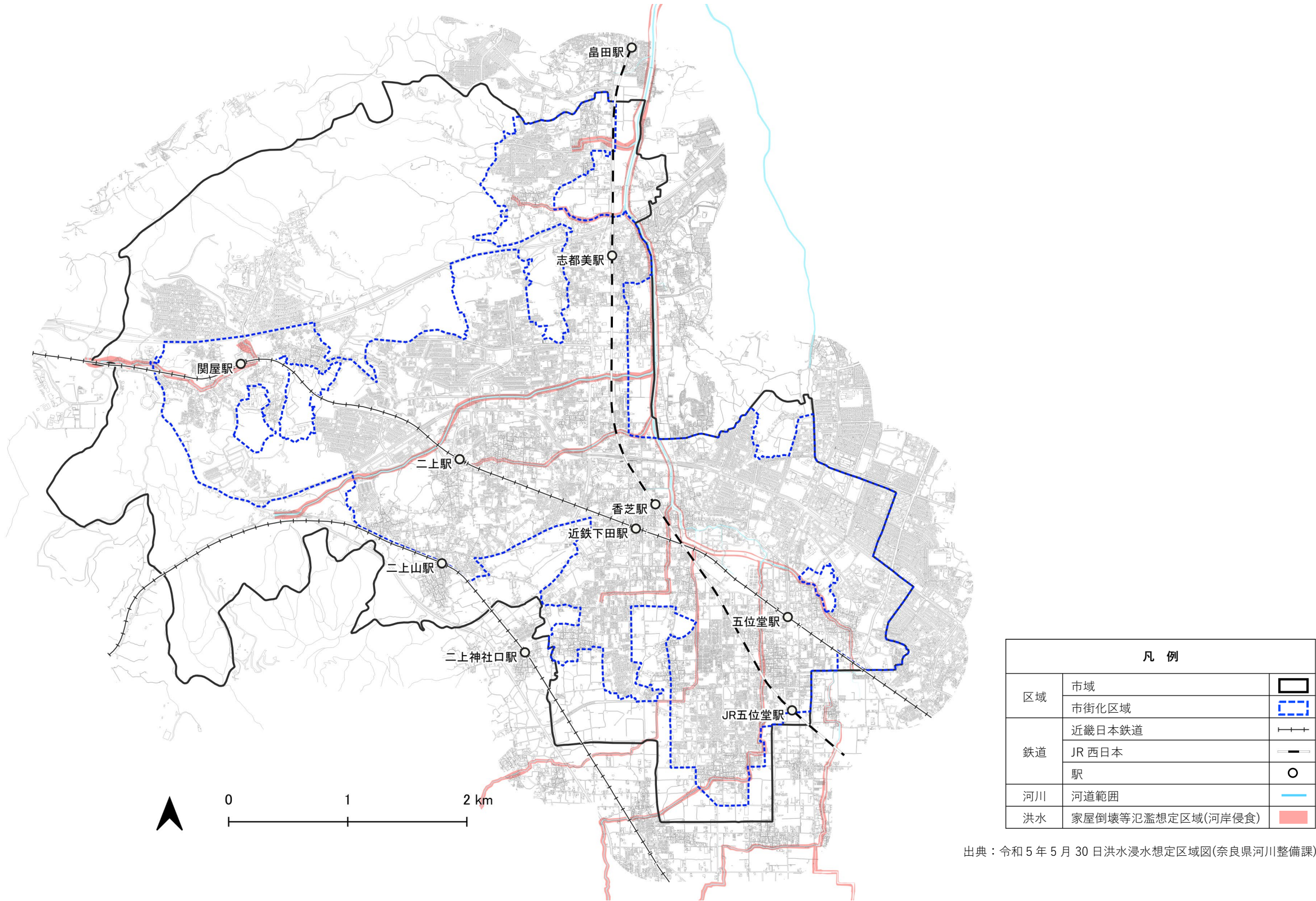
浸水継続時間は、市内大部分の地域で12時間未満となることが予測されていますが、五位堂地区周
辺で12時間～1日未満の地域や1日～3日未満の地域がみられます。



④家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

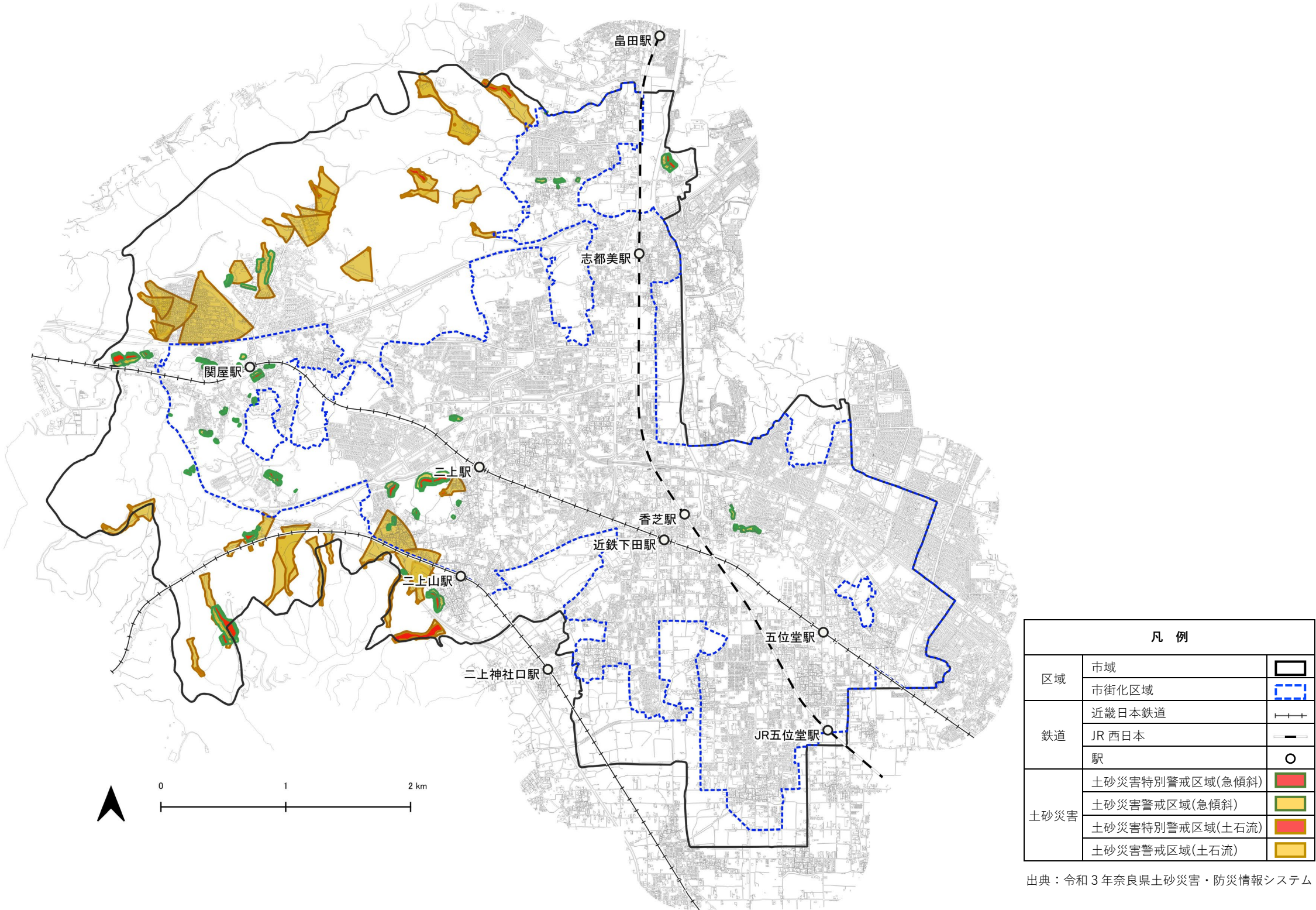
洪水時の河岸侵食による家屋が流出・倒壊の恐れがある家屋倒壊等氾濫想定区域は、河川流域付近沿いの広い範囲で見られます。

また、本市において、氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域は指定されていません。



(3) 土砂災害(土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域)

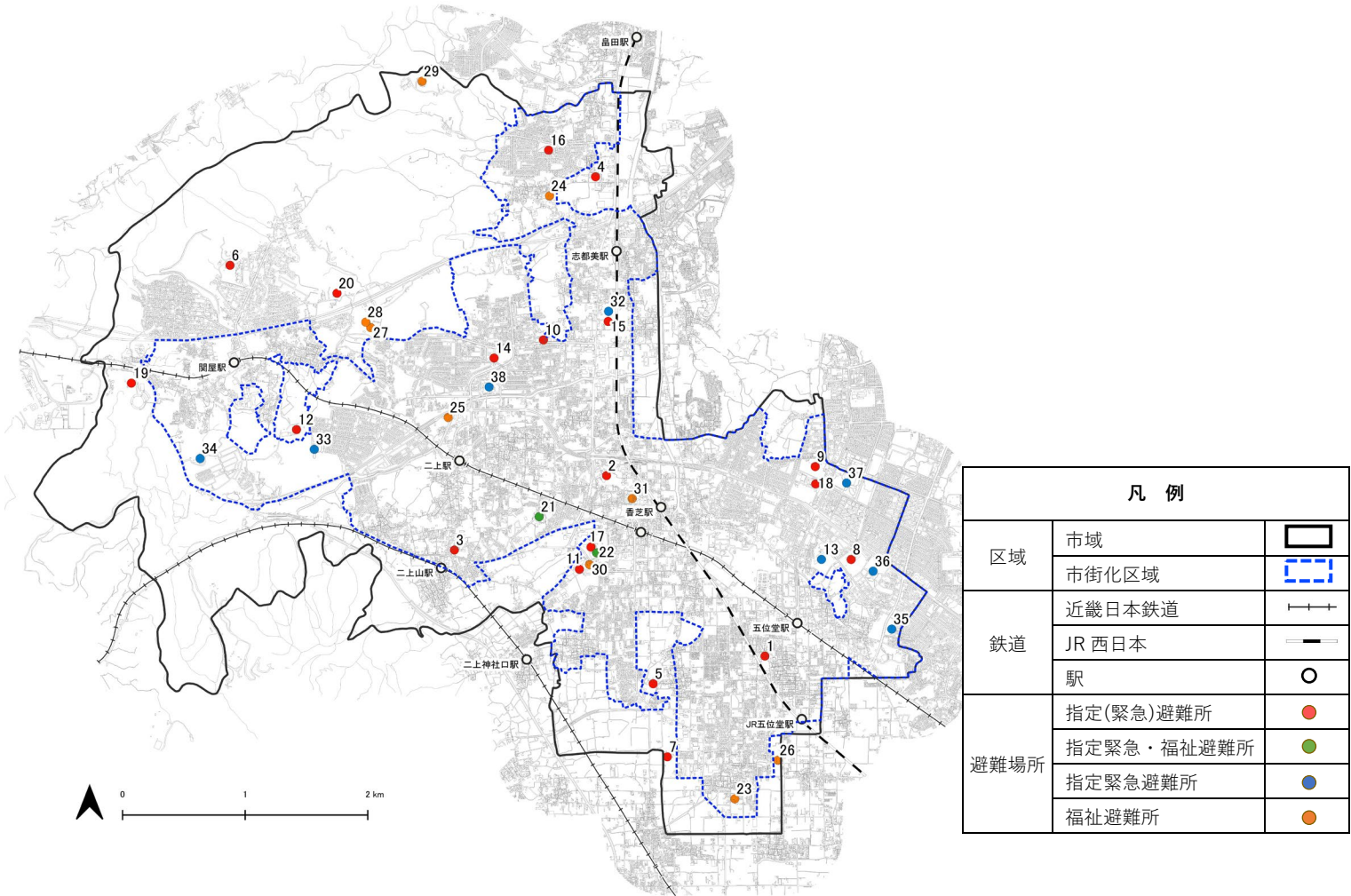
香芝市北西部及び南西部で土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域に指定されている箇所が点在しており、関屋駅や二上駅、二上山駅周辺においても土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域がみられます。



(4) 避難所

本市の避難施設は、指定緊急避難所が 29 箇所、指定避難所は 31 箇所(福祉避難所は 11 箇所)指定されています。

【避難施設の分布図】



【指定緊急避難所】

災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、速やかにその危険から逃れ自らの生命を守るために、一時的に緊急避難する場所として、災害の種別ごとに市が指定する施設等。

【指定避難所】

災害時、避難した方が災害の危険性がなくなるまでの間に滞在、または災害による被害で家に居れなくなった方が一定期間その生活のために滞在する、市が指定する施設。

【福祉避難所】

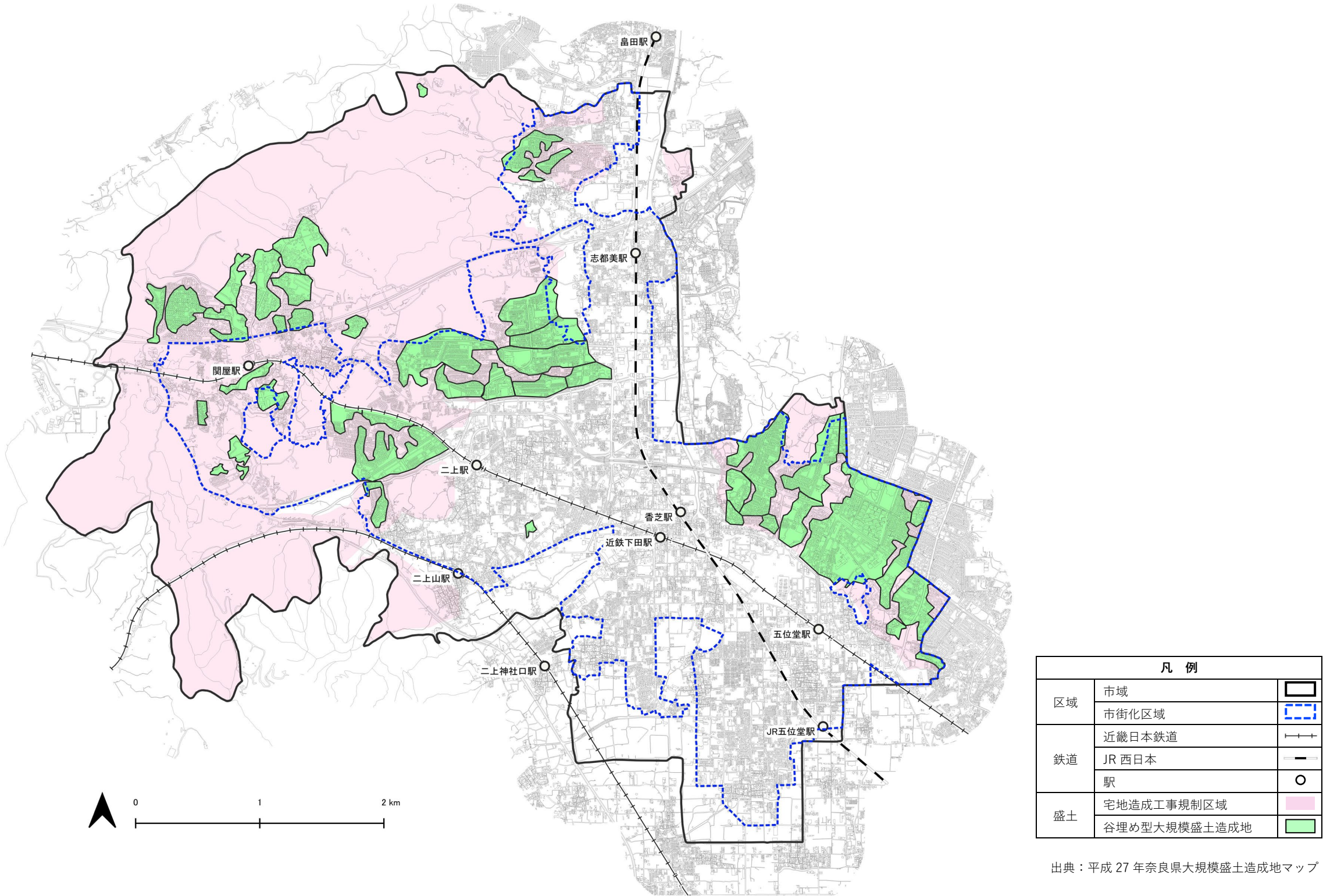
高齢者や身体障害者等の要配慮者で、避難生活に特別の配慮を要する人のための指定避難所。

No	施設・場所名	指定緊急避難場所					指定避難所	
		洪水	崖崩れ 土石流地滑り	地震	大規模な 火事	内水 氾濫	福祉避難所	
1	香芝市立五位堂小学校	○	○	○	○	○	○	
2	香芝市立下田小学校	○	○	○	○	○	○	
3	香芝市立二上小学校	○	○	○	○	○	○	
4	香芝市立志都美小学校	○	○	○	○	○	○	
5	香芝市立三和小学校	○	○	○	○	○	○	
6	香芝市立関屋小学校	○		○	○	○	○	
7	香芝市立鎌田小学校	○	○	○	○	○	○	
8	香芝市立真美ヶ丘東小学校	○	○	○	○	○	○	
9	香芝市立真美ヶ丘西小学校	○	○	○	○	○	○	
10	香芝市立旭ヶ丘小学校	○	○	○	○	○	○	
11	香芝市立香芝中学校	○	○	○	○	○	○	
12	香芝市立香芝西中学校	○	○	○	○	○	○	
13	香芝市立香芝東中学校	○	○	○	○	○	○	
14	香芝市立香芝北中学校	○	○	○	○	○	○	
15	香芝市北部地域体育館	○	○	○	○	○	○	
16	香芝市地域交流センター	○	○	○	○	○	○	
17	香芝市総合体育館	○	○	○	○	○	○	
18	奈良県立香芝高等学校	○	○	○	○	○	○	
19	智辯学園奈良カレッジ	○	○	○	○	○	○	
20	関西福祉大学金光藤蔭高等学校香芝キャンパス	○	○	○	○	○	○	
21	香芝市総合福祉センター	○	○	○	○	○		○
22	香芝市中央公民館	○	○	○	○	○		○
23	特別養護老人ホーム すばる							○
24	介護老人保健施設 てんとう虫							○
25	介護老人保健施設 オークピア鹿芝							○
26	和里（にこり）香芝							○
27	身体障がい者療護施設 どんぐり							○
28	どんぐり学園							○
29	障がい者支援施設 ゆらくの里							○
30	ボノボ							○
31	特別養護老人ホーム ぬくもり香芝							○
32	香芝健民運動場			○	○			
33	郡ヶ池近隣公園			○	○			
34	香芝総合公園			○	○			
35	城山児童公園			○	○			
36	観正山近隣公園			○	○			
37	高塚地区公園			○	○			
38	旭ヶ丘近隣公園			○	○			

出典：令和元年度改定版香芝市総合防災マップ

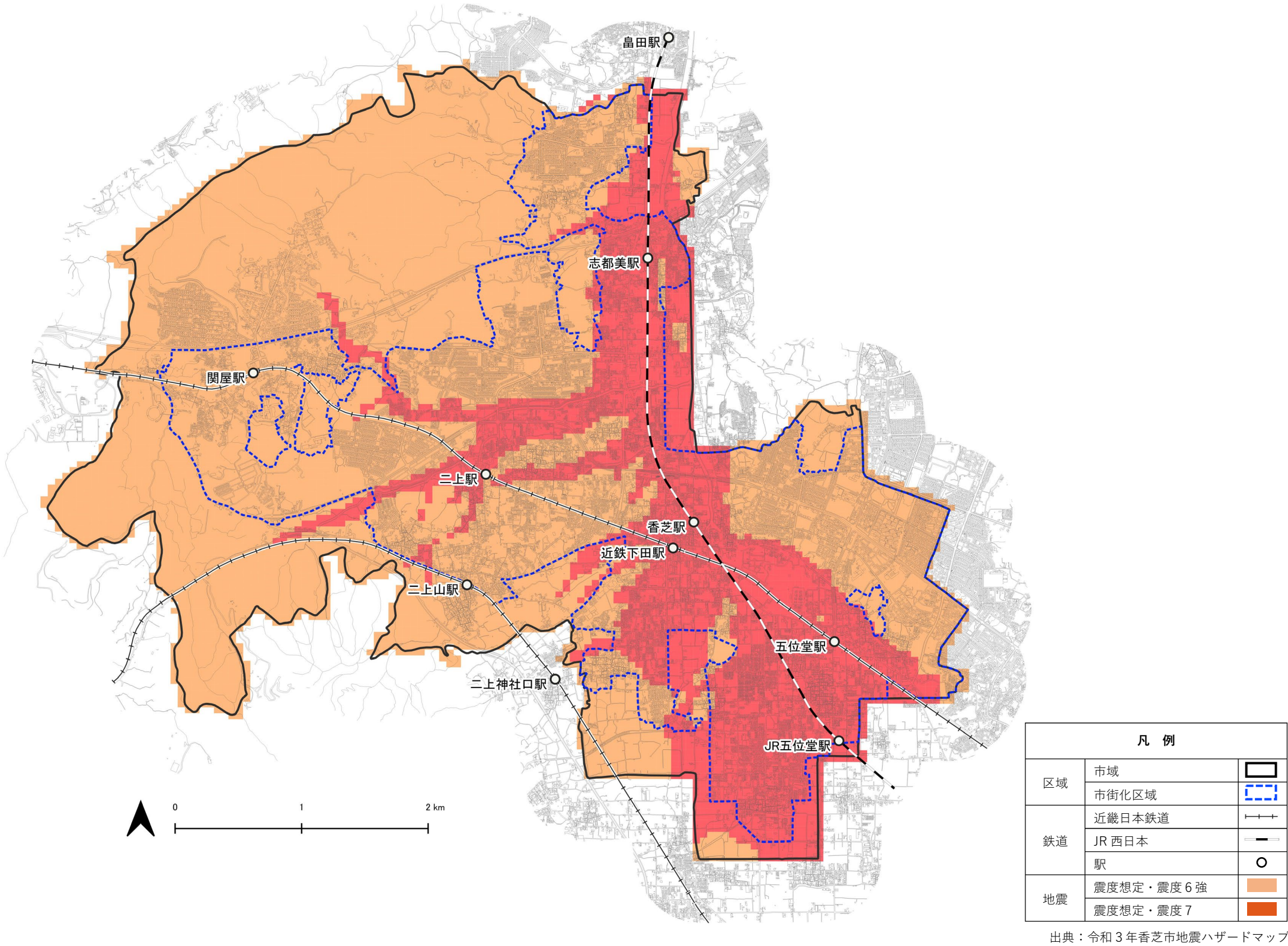
(5) 大規模盛土造成地

本市では、西側の大部分が宅地造成工事規制区域に指定されており、関屋地区や真美ヶ丘地区、西真美ヶ丘地区、旭ヶ丘地区は谷埋め型大規模盛土造成地に指定されています。



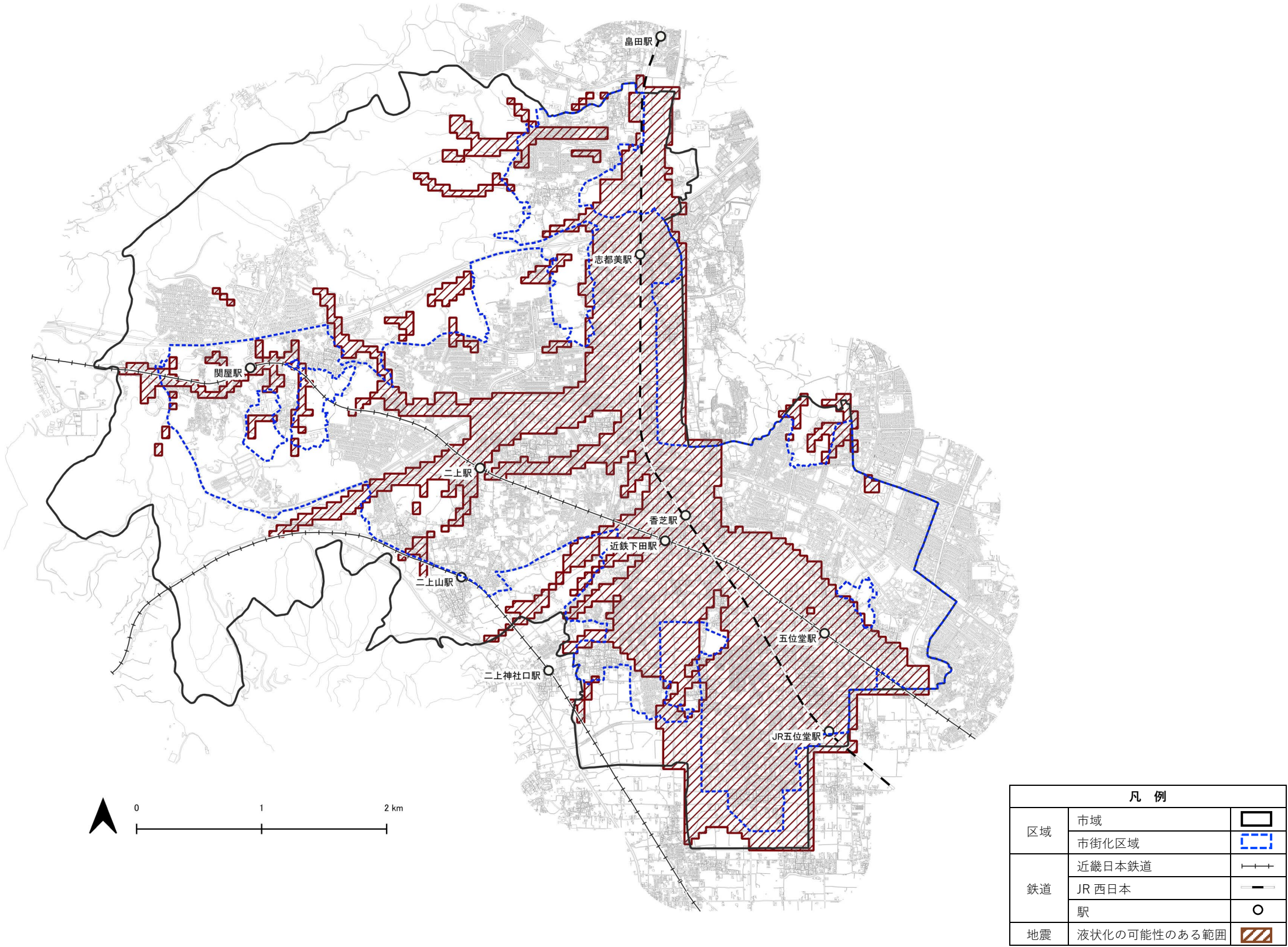
(6) ゆれやすさマップ

本市で最も大きい被害をもたらす可能性がある地震として、中央構造線断層帯地震があり、特に平野部では、震度7と非常に大きいゆれが想定されています。



(7) 液状化マップ

中央構造線断層帯地震が発生した際、震度7の地域で液状化の発生可能性があります。



出典：平成 22 年香芝市地震ハザードマップ

6. 交通

(1) 交通手段構成比

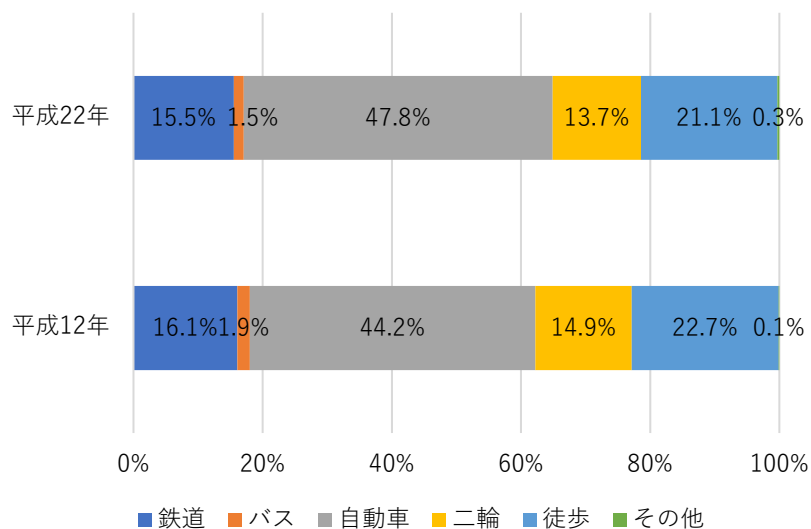
本市の最も多い交通手段は、平成 12 年(2000 年)・平成 22 年(2010 年)ともに「自動車」となっています。

交通手段の構成比の増減率は、「自動車」が 3.6%増加しているのに対し、「鉄道」では 0.6%、「バス」では 0.4%、「二輪（自動二輪・原付・自転車）」では 1.2%の減少がみられました。

【市全体の代表交通手段構成比（平日、発生集中合計）】

	鉄道	バス	自動車	二輪	徒歩	その他
平成 12 年	16.1%	1.9%	44.2%	14.9%	22.7%	0.1%
平成 22 年	15.5%	1.5%	47.8%	13.7%	21.1%	0.3%

※小数点第二位を四捨五入した数値のため、合計値が 100%にならない場合があります。



出典：平成 12 年・平成 22 年近畿圏(京阪神都市圏)パーソントリップ調査

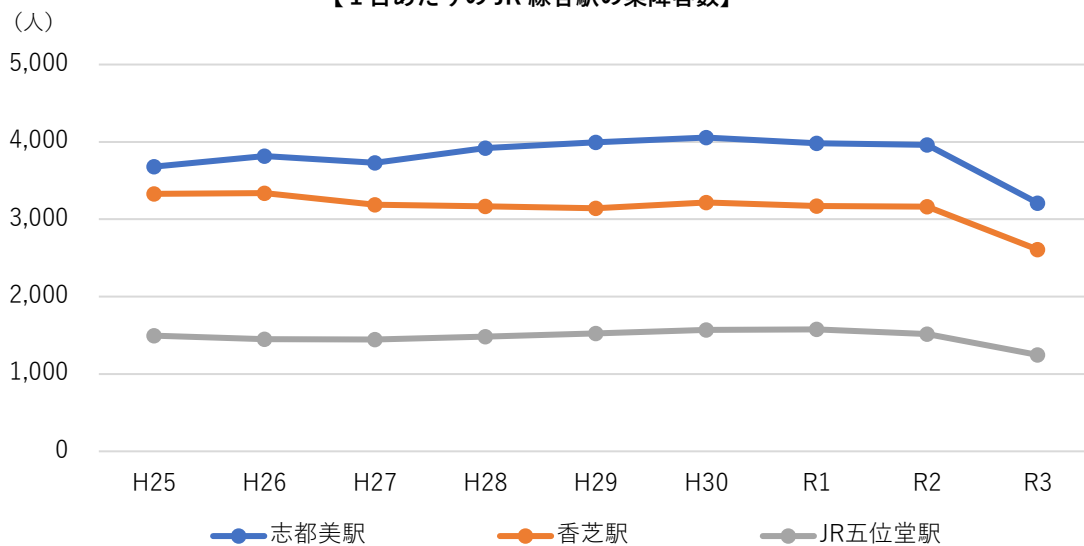
(2) 鉄道駅の利用状況

市内には8つの駅が立地しており、最も乗降客数が多い駅は、快速が停車する近鉄線の五位堂駅であり、1日あたり約1万人の方が利用します。

駅ごとの乗降客数の推移は令和2年(2020年)までの期間、五位堂駅や二上駅は増加傾向、関屋駅は減少傾向、その他の駅については概ね横ばいでした。

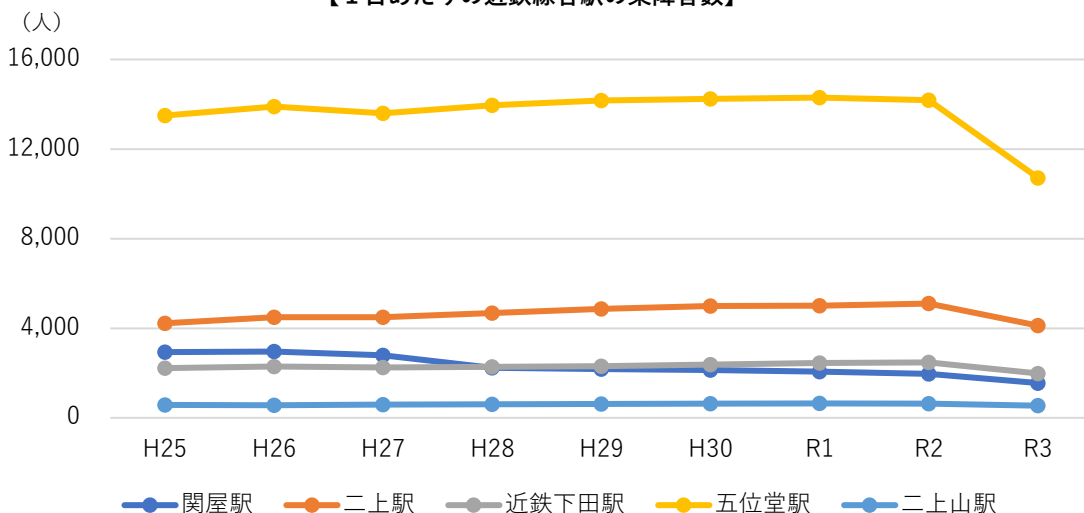
令和3年(2021年)に全ての駅で乗降客数は減少していますが、新型コロナウイルスの感染拡大による外出機会の減少が原因であると考えられます。

【1日あたりの JR 線各駅の乗降客数】



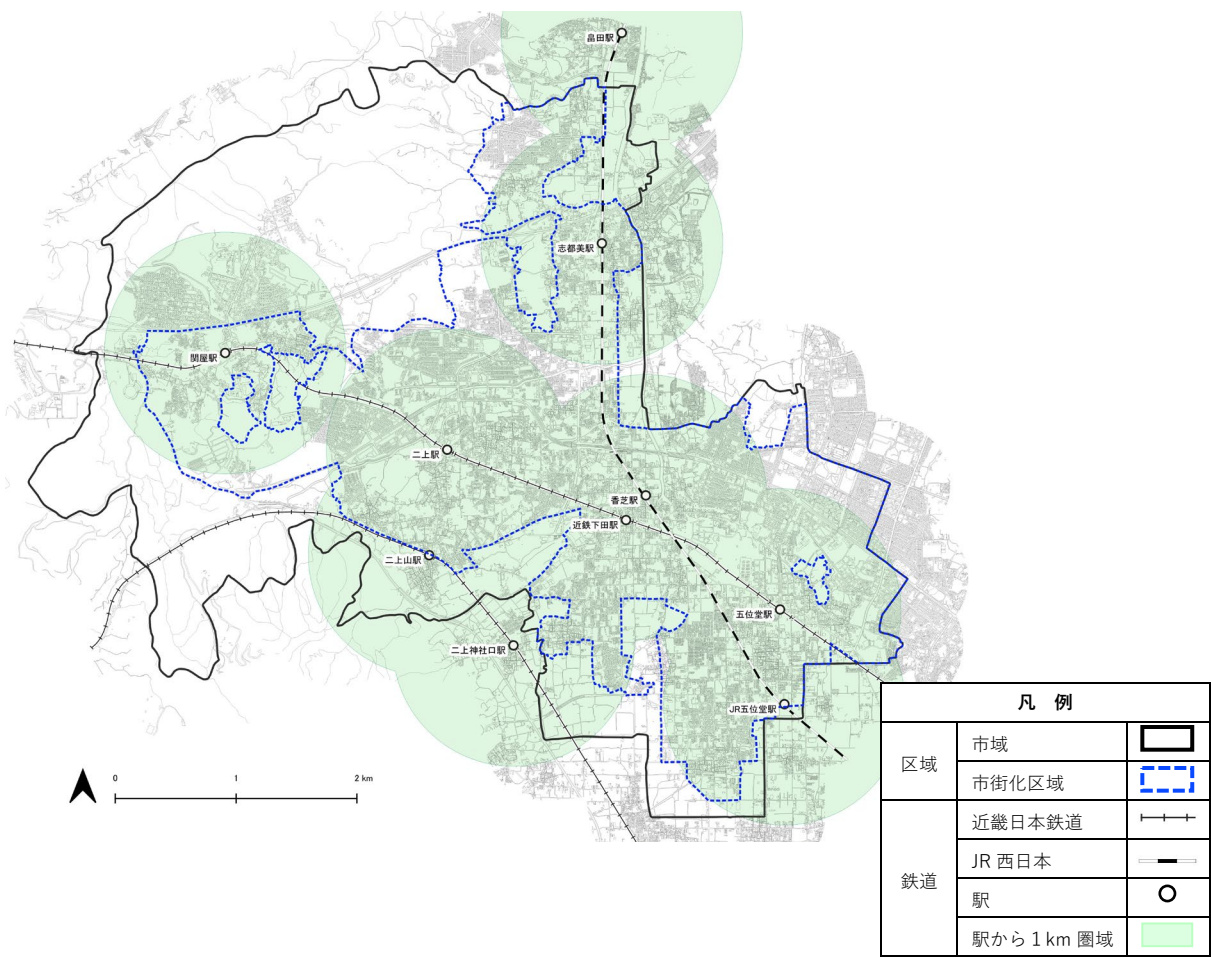
出典：平成25年～令和3年奈良県統計年鑑(西日本旅客鉄道株式会社)

【1日あたりの近鉄線各駅の乗降客数】



出典：平成25年～令和3年奈良県統計年鑑(近畿日本鉄道株式会社)

【鉄道の利用状況】



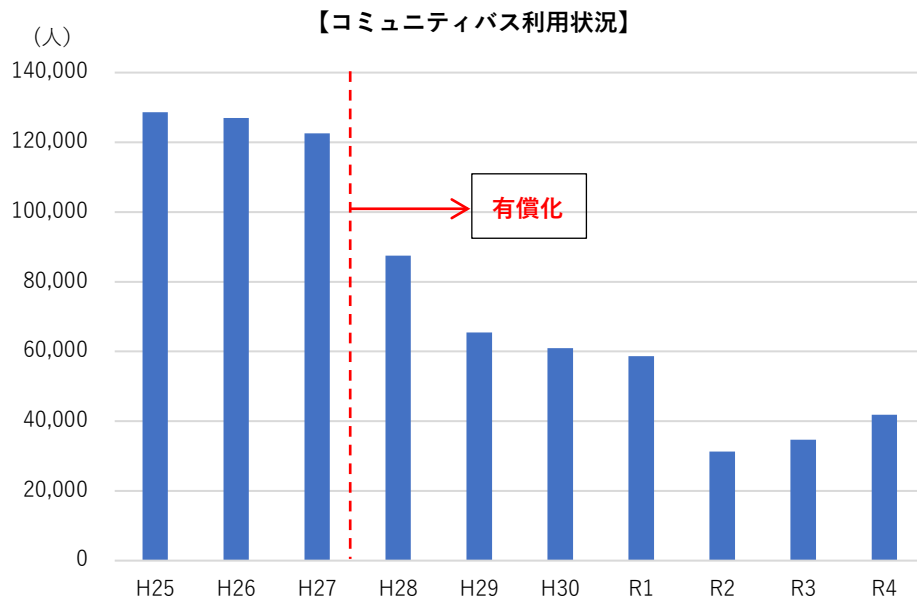
【各駅の鉄道駅の発車本数】

駅	方面	合計
志都美駅	和歌山線 王寺・天王寺・JR 難波方面	43
志都美駅	和歌山線 高田・桜井・五条方面	44
香芝駅	和歌山線 王寺・天王寺・JR 難波方面	43
香芝駅	和歌山線 高田・桜井・五条方面	44
JR 五位堂駅	和歌山線 高田・桜井・五条方面	44
JR 五位堂駅	和歌山線 王寺・天王寺・JR 難波方面	43
関屋駅	大阪上本町方面	78
関屋駅	名張方面	78
二上駅	大阪上本町方面	78
二上駅	名張方面	78
近鉄下田駅	大阪上本町方面	78
近鉄下田駅	名張方面	78
五位堂駅	大阪上本町方面	137
五位堂駅	名張方面	78
二上山駅	大阪上本町方面	65
二上山駅	名張方面	65

出典： JR 西日本 HP、近畿日本鉄道 HP「時刻表」より作成

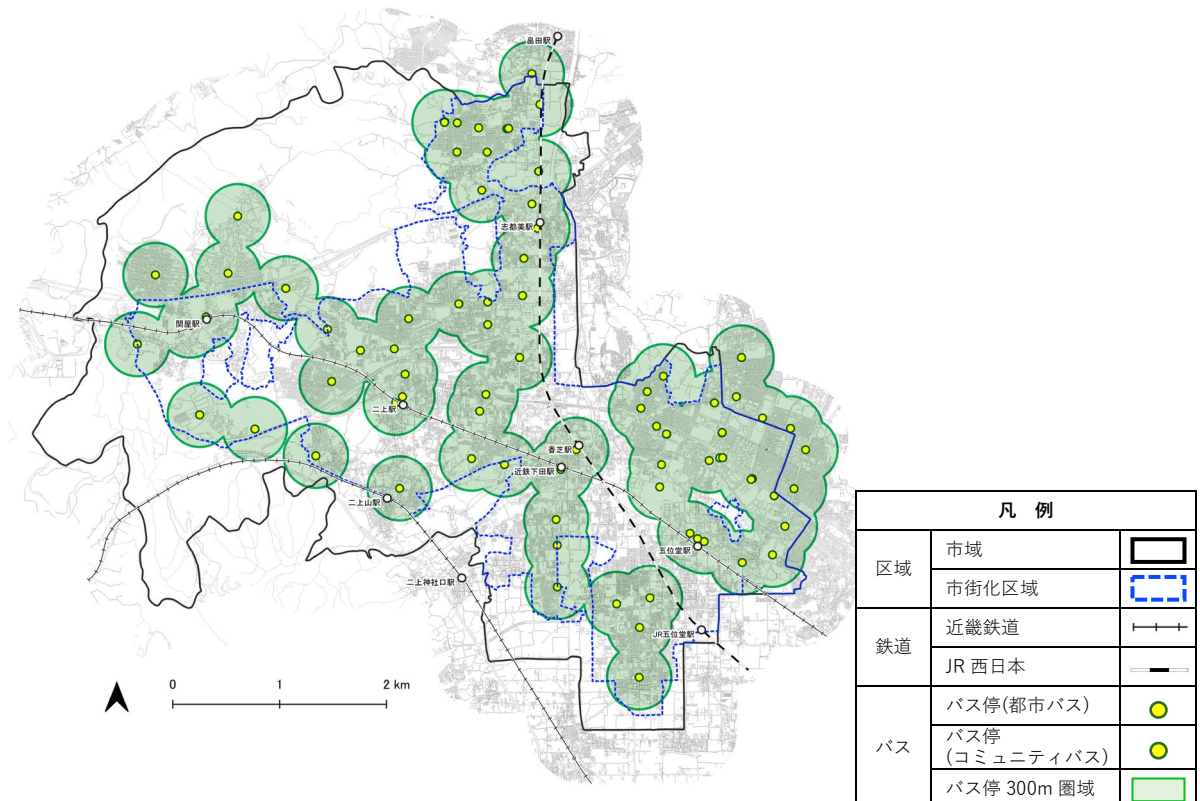
(3) バスの利用状況

コミュニティバスの利用者数は、平成 28 年(2016 年)コミュニティバスの有償化以降、減少しています。(平成 27 年 122,602 人→平成 28 年 87,472 人)令和 2 年(2020 年)新型コロナウイルスの感染拡大以降、利用者はさらに減少しています。(令和 1 年(2019 年)58,660 人→令和 2 年(2020 年)31,262 人)しかし、令和 3 年(2021 年)以降、利用者は増加傾向にあります。



出典：令和 3 年香芝市地域公共交通計画

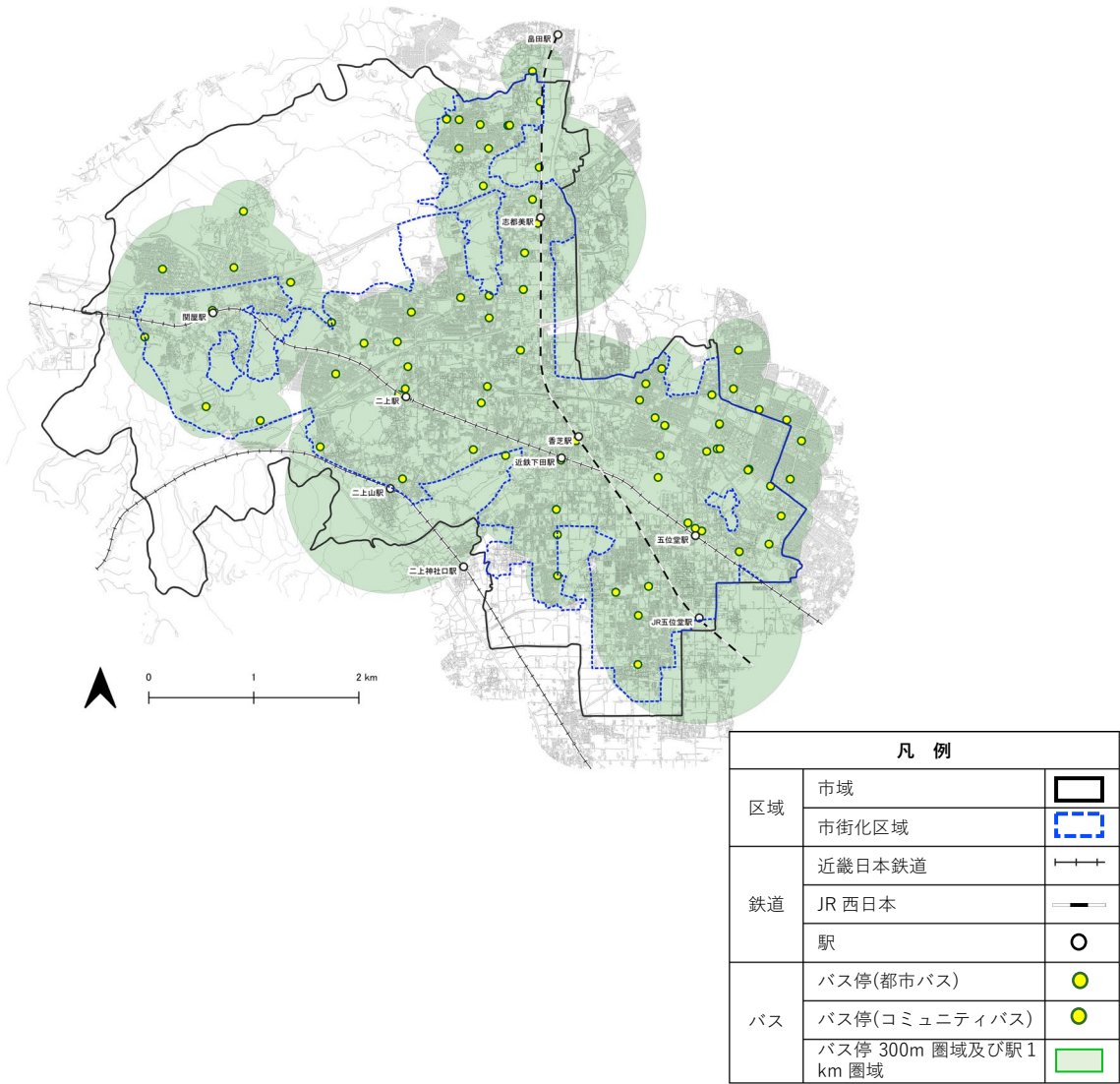
【バスのカバー状況】



(4) 公共交通のカバー率(鉄道及びコミュニティバス)

鉄道駅から半径 1 km もしくは路線バスとコミュニティバスの停留所から半径 300m のエリア内のいずれかに含まれ、地域公共交通サービスのエリアに含まれる人口の割合は約 97%となっています。

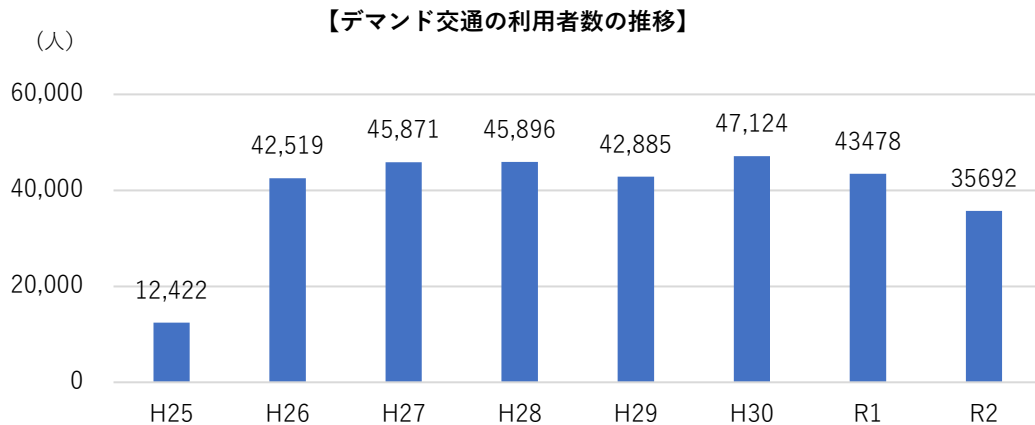
【バス停 300m 圏域・鉄道駅 1 km 圏域のカバー状況】



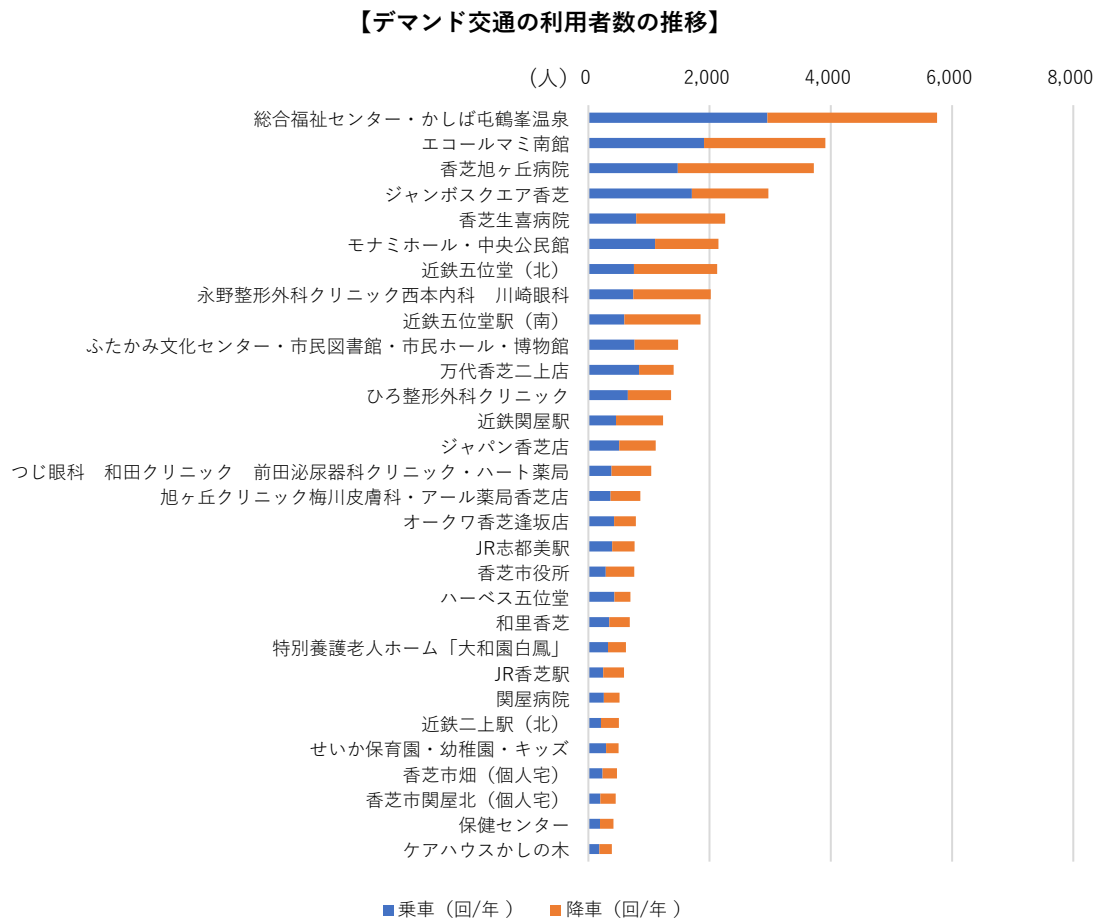
(5) デマンド交通利用状況

デマンド交通は平成 25 年(2013 年)10 月から実証運行がされ、平成 27 年(2015 年)4 月からは、本格運行が開始されました。平成 30 年(2018 年)は 47,124 人と最も利用者数が多くなりましたが、令和元年(2019 年)以降は、利用者数が減少しています。

またデマンド交通の利用者は総合福祉センター・かしば屯鶴峯温泉やエコールマミ南館、香芝旭ヶ丘病院等に乗降車することが多い状況となっています。



出典：令和 3 年香芝市地域公共交通計画



出典：令和 3 年香芝市地域公共交通計画

7. 都市施設状況

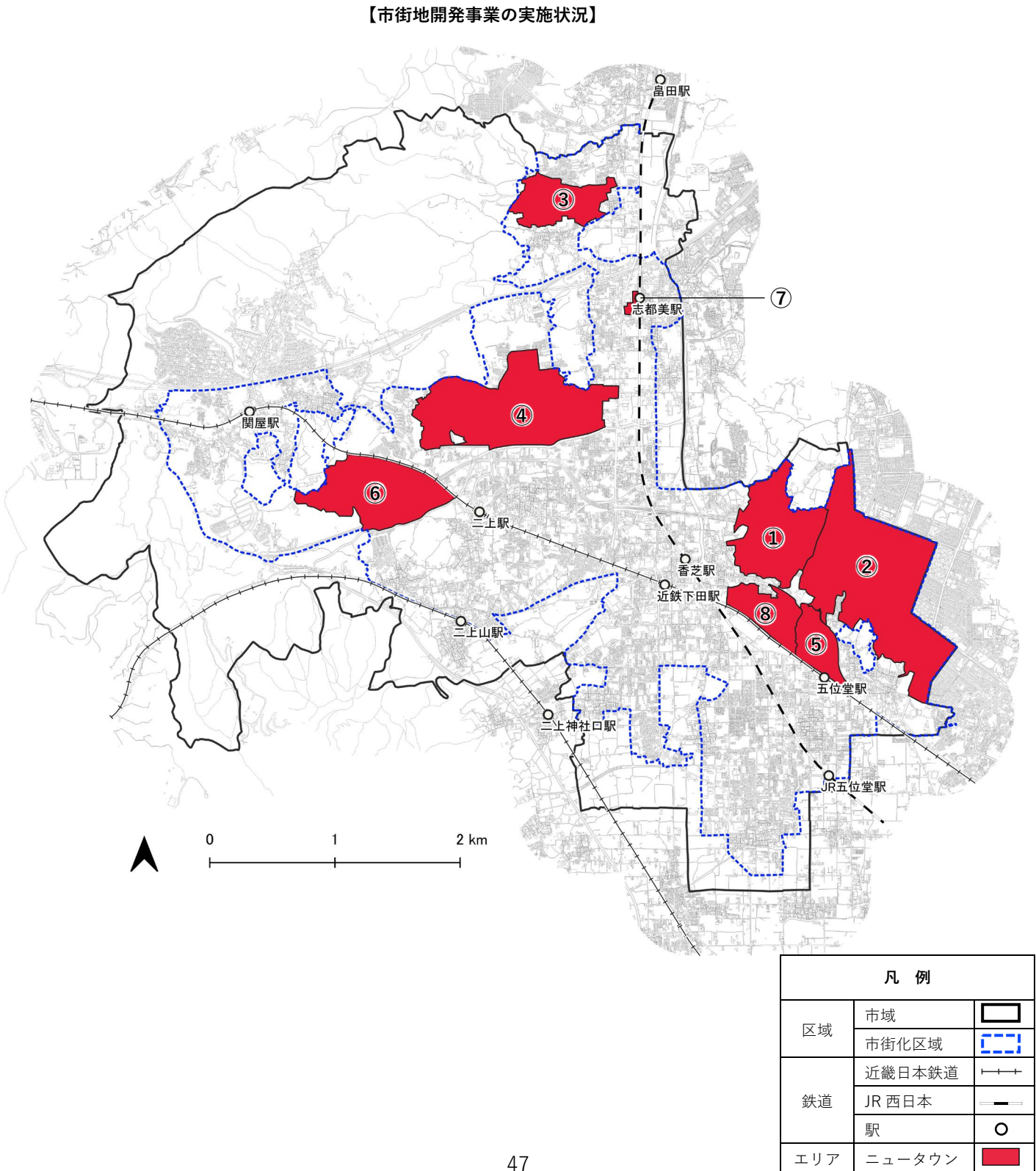
(1) 市街地開発事業の実施状況(区画整理・大規模開発等)

① 西真美ヶ丘地区	
事業の名称	西真美ヶ丘土地区画整理事業
事業施行者	西真美ヶ丘土地区画整理組合
事業認可	昭和 47 年 3 月 7 日
施行面積	42.3ha
事業期間	昭和 46 年度～昭和 54 年度
計画戸数、人口	1,100 戸、4,300 人
平均減歩率	38.90%
総事業費	38 億 7613 万円

② 真美ヶ丘地区	
事業の名称	真美ヶ丘土地区画整理事業
事業施行者	住宅都市盤整備公団
事業認可	昭和 48 年 3 月 5 日(組合設立)
施行面積	297.6ha(香芝市域 103.0ha)
事業期間	昭和 47 年度～平成 3 年度
計画戸数、人口	10,000 戸、40,000 人 (香芝市域 3,100 戸、12,300 人)
平均減歩率	42.00%
総事業費	583 億 2303 万円

③ 白鳳台地区	
事業の名称	香芝白鳳台土地区画整理事業
事業施行者	香芝白鳳台土地区画整理組合
事業認可	昭和 57 年 8 月 25 日(組合設立)
施行面積	23.4ha
事業期間	昭和 57 年度～平成元年度
計画戸数、人口	587 戸、2,348 人
平均減歩率	35.00%
総事業費	42 億 3013 万円

④ 旭ヶ丘地区	
事業の名称	旭ヶ丘特定土地区画整理事業
事業施行者	香芝市旭ヶ丘土地区画整理組合
事業認可	昭和 59 年 3 月 1 日(組合設立)
施行面積	78.7ha
事業期間	昭和 58 年度～平成 19 年度
計画戸数、人口	2,100 戸、7,900 人
平均減歩率	46.80%
総事業費	301 億 36 万円



⑤ 五位堂駅前北地区	
事業の名称	五位堂駅前北土地区画整理事業
事業施行者	香芝市
事業認可	昭和 61 年 3 月 3 日(組合設立)
施行面積	15.1ha
事業期間	昭和 60 年度～平成 10 年度
計画戸数、人口	383 戸、1,417 人
平均減歩率	28.20%
総事業費	54 億 3484 万円

⑥ 高山台地区	
事業の名称	香芝市高山台特定土地区画整理事業
施行者	香芝市高山台土地区画整理組合
事業認可	平成 5 年 9 月 7 日(組合設立)
施行面積	43.5ha
事業期間	平成 5 年度～平成 12 年度
計画戸数、人口	1,200 戸、4,800 人
平均減歩率	56.50%
総事業費	152 億 4791 万円

⑦ 志都美駅西地区	
事業の名称	志都美駅西土地区画整理事業
施行者	香芝市
都市計画決定	平成 17 年 11 月 22 日
事業計画決定	平成 18 年 4 月 7 日
施行面積	1.2ha
施行期間	平成 18 年度～平成 23 年度
計画戸数、人口	31 戸、120 人
平均減歩率	43.83%
総事業費	3 億 2579 万円

⑧ 五位堂駅前北第二地区	
事業の名称	五位堂駅前北第二土地区画整理事業
施行者	香芝市
都市計画決定	昭和 46 年 12 月 28 日
事業計画決定	平成 13 年 2 月 19 日
施行面積	17.6ha
施行期間	平成 12 年度～平成 27 年度
計画戸数、人口	550 戸、1,800 人
平均減歩率	29.05%
総事業費	48 億 9300 万円

出典：香芝市 HP「区画整理事業について」より抜粋

（２）都市計画道路の整備状況

市内には、26 箇所の都市計画道路があり、整備状況は以下の通りとなっています。

路線名	計画延長 (m)	整備済延長 (m)	換算完成延長 (m)	改良済延長 (m)		事業決定区間延長 (m)	既整済区間延長 (m)	未着手区間延長 (m)	未改良区間延長 (m)	未整備区間延長 (m)
中和幹線	7,960	6,220	78	6,298	79.12%	1,740	0	0	1,662	1,740
奈良西幹線	3,120	0	1,443	1,443	46.25%	3,120	0	0	1,677	3,120
高田バイパス線	1,730	1,550	91	1,641	94.86%	180	0	0	89	180
磯壁新在家線	820	820	0	820	100.00%	0	0	0	0	0
真美ヶ丘幹線	1,300	1,300	0	1,300	100.00%	0	0	0	0	0
当麻香芝線	1,050	0	0	0	0.00%	0	0	1,050	1,050	1,050
香芝南廻り線	4,200	990	170	1,160	27.62%	190	0	3,020	3,040	3,210
高小森線	1,870	1,520	0	1,520	81.28%	0	0	350	350	350
畑分川線	4,900	1,200	15	1,215	24.80%	370	0	3,330	3,685	3,700
穴虫田尻線	2,750	680	0	680	24.73%	0	0	2,070	2,070	2,070
尼寺関屋線	3,950	1,810	291	2,101	53.19%	480	0	1,660	1,849	2,140
五ヵ所五位堂線	2,770	590	430	1,020	36.82%	430	0	1,750	1,750	2,180
鎌田穴虫線	4,430	430	0	430	9.71%	0	0	4,000	4,000	4,000
下田東線	200	0	0	0	0.00%	0	0	200	200	200
二上駅前線	200	200	0	200	100.00%	0	0	0	0	0
五位堂駅前南線	60	0	0	0	0.00%	0	0	60	60	6
磯壁北今市線	1,200	750	0	750	62.50%	0	0	450	450	450
三角分川線	1,300	0	0	0	0.00%	0	0	1,300	1,300	1,300
分川関屋線	1,720	0	0	0	0.00%	0	0	1,720	1,720	1,720
山ノ池旗尾線	1,650	290	0	290	17.58%	0	0	1,360	1,360	1,360
真美ヶ丘西廻り線	2,150	1,780	0	1,780	82.79%	0	0	370	370	370
二上田尻線	2,820	1,230	0	1,230	43.62%	0	0	1,590	1,590	1,590
旭ヶ丘中央線	1,410	1,410	0	1,410	100.00%	0	0	0	0	0
旭ヶ丘南線	1,060	1,060	0	1,060	100.00%	0	0	0	0	0
高山台中央線	590	590	0	590	100.00%	0	0	0	0	0
志都美駅前線	70	70	0	70	100.00%	0	0	0	0	0
延長数値	55,280	24,490	2,518	27,008		6,510		24,280	28,272	30,736
計画に対する割合		44.30%	4.55%	48.86%		11.78%	0.00%	43.92%	51.14%	55.70%

出典：香芝市都市計画道路整備計画策定業務報告書(平成 28 年 3 月)

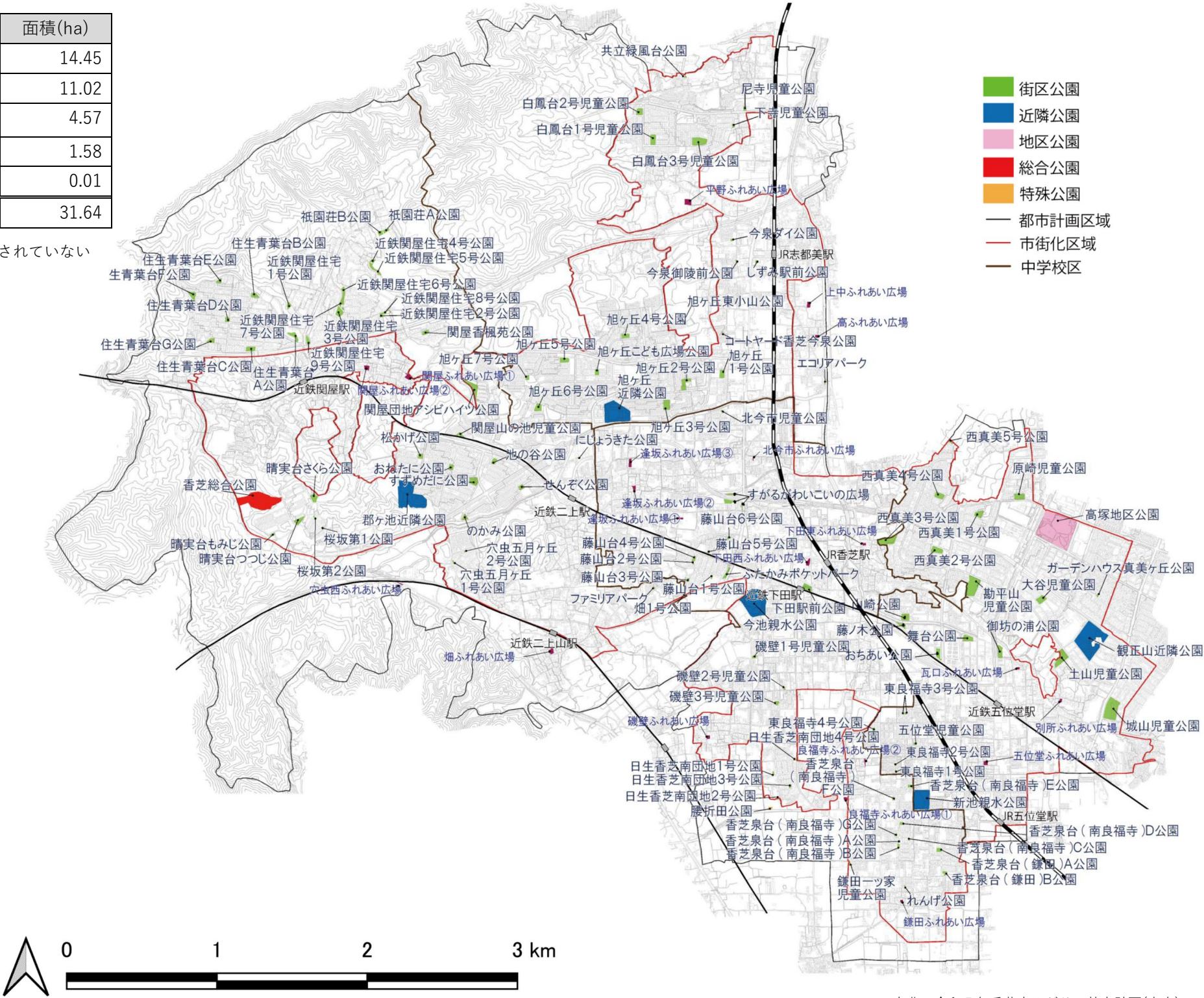
(3) 都市公園の整備状況

都市公園は 114 箇所、総面積 31.64ha 整備されています。

【都市公園分布図(令和 5 年)】

		箇所	面積(ha)
住区基幹公園	街区公園	106	14.45
	近隣公園	5(※)	11.02
	地区公園	1	4.57
都市基幹公園	総合公園	1	1.58
緩衝緑地等	特殊公園	1	0.01
都市公園合計		114	31.64

※今池親水公園と新池親水公園は都市計画決定されていない
(令和 5 年時点)



出典：令和 5 年香芝市みどりの基本計画(素案)

(4) 上下水道の整備状況

上水道の普及率は 100%となっていますが、下水道の普及率は 73.2%となっています。

上水道	現在給水人口		78,411 人
	計画 1 日最大給水量		39,000 m ³
	1 日最大給水量		25,702 m ³
	年間給水量		8,309 千 m ³
	水道普及率		100%
下水道	行政区域	面積	2,426ha
		人口	79,274 人
	処理区域	面積	795.1ha
		人口	58,065 人
	下水道普及率		73.2%

出典：令和元年奈良県統計年鑑

8. 都市機能立地状況

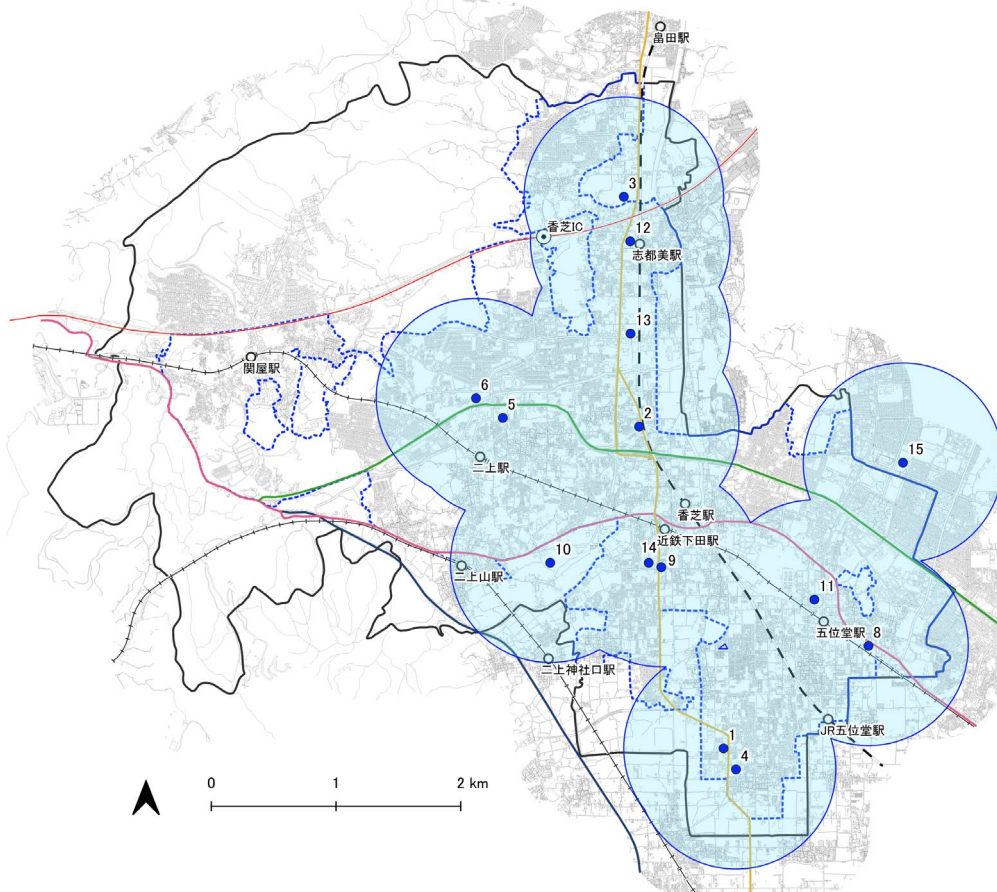
(1) 商業機能（スーパーマーケット・コンビニ）

①スーパーマーケット

スーパーマーケットは15箇所立地しており、主に国道165号や国道168号、中和幹線等の幹線道路沿いに数多く立地しています。

No	施設名	種別
1	スーパーヤオヒコ良福寺店	スーパーマーケット
2	スーパーヤオヒコ香芝店	スーパーマーケット
3	オークワ香芝インター店	スーパーマーケット
4	オークワ香芝南店	スーパーマーケット
5	オークワ香芝逢坂店	スーパーマーケット
6	万代香芝二上店	スーパーマーケット
7	万代香芝下田店	スーパーマーケット
8	サンディ五位堂店	スーパーマーケット
9	サンディ香芝店	スーパーマーケット
10	ザ・ビッグエクストラ 香芝店	スーパーマーケット
11	近商ストアハーベス五位堂店	スーパーマーケット
12	ドン・キホーテ 香芝インター店	スーパーマーケット
13	生鮮&業務スーパー ボトルワールド OK 香芝高店	業務スーパー
14	じゃんぼスクエア香芝店	ショッピングモール
15	エコールマミ	ショッピングモール

【商業機能(スーパーマーケット)立地状況】



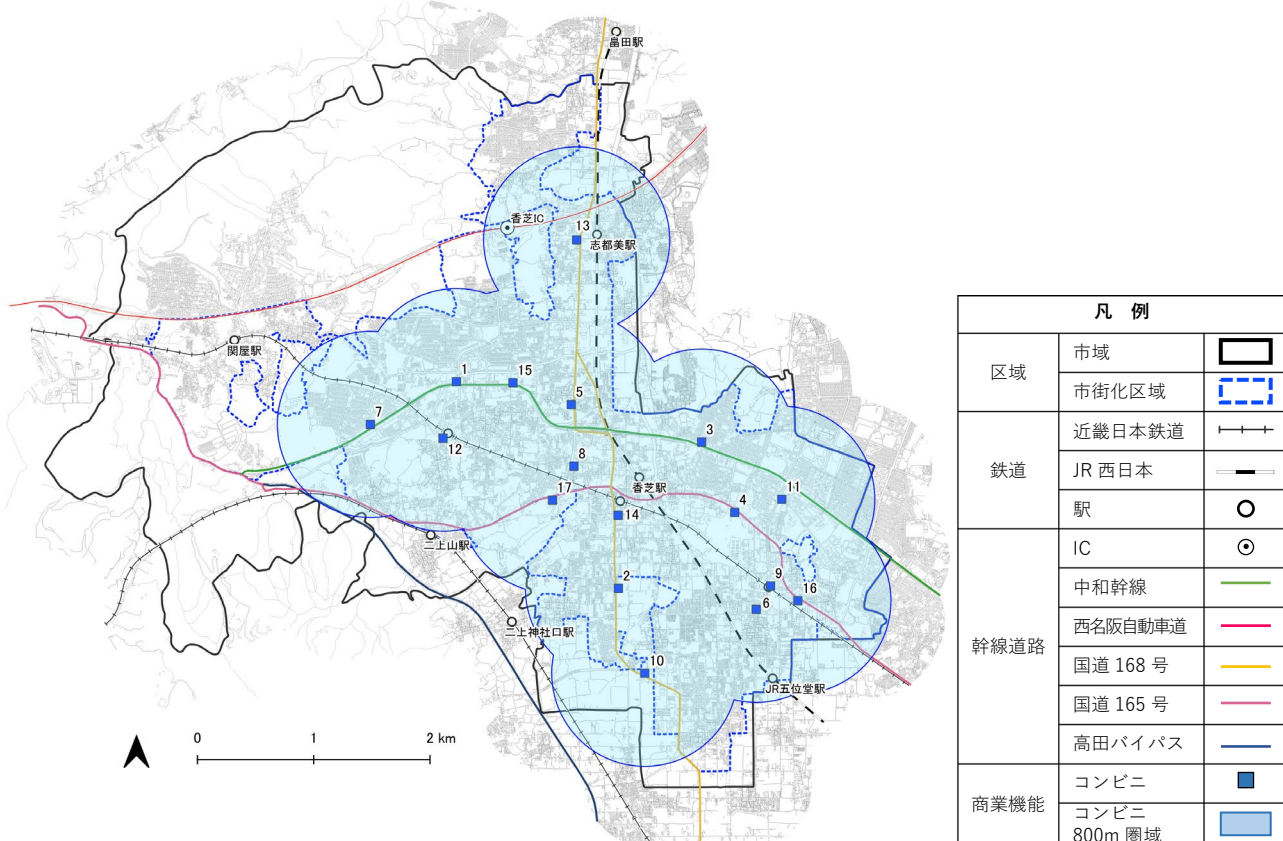
凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR 西日本	
	駅	
幹線道路	IC	
	中和幹線	
	西名阪自動車道	
	国道 168 号	
	国道 165 号	
	高田バイパス	
商業機能	スーパー	
	スーパー 800m 圏域	

②コンビニエンスストア

市内にコンビニエンスストアは17箇所立地しており、国道165号や国道168号、中和幹線等、幹線道路沿いに多く立地しています。

No	施設名
1	セブンイレブン香芝穴虫店
2	セブンイレブン香芝磯壁4丁目店
3	セブンイレブン香芝西真美店
4	セブンイレブン香芝すみれ野1丁目店
5	セブンイレブン香芝北今市店
6	セブンイレブン香芝五位堂3丁目店
7	ファミリーマート香芝高山台店
8	ファミリーマート香芝下田西店
9	ファミリーマート近鉄五位堂駅改札外橋上店
10	ファミリーマート香芝良福寺店
11	ファミリーマート香芝真美ヶ丘二丁目店
12	ファミリーマート香芝二上駅前店
13	ローソン香芝上中店
14	ローソン香芝下田西四丁目店
15	ローソン香芝逢坂店
16	ローソン香芝瓦口店
17	ローソン香芝本町店

【商業機能(コンビニエンスストア)立地状況】

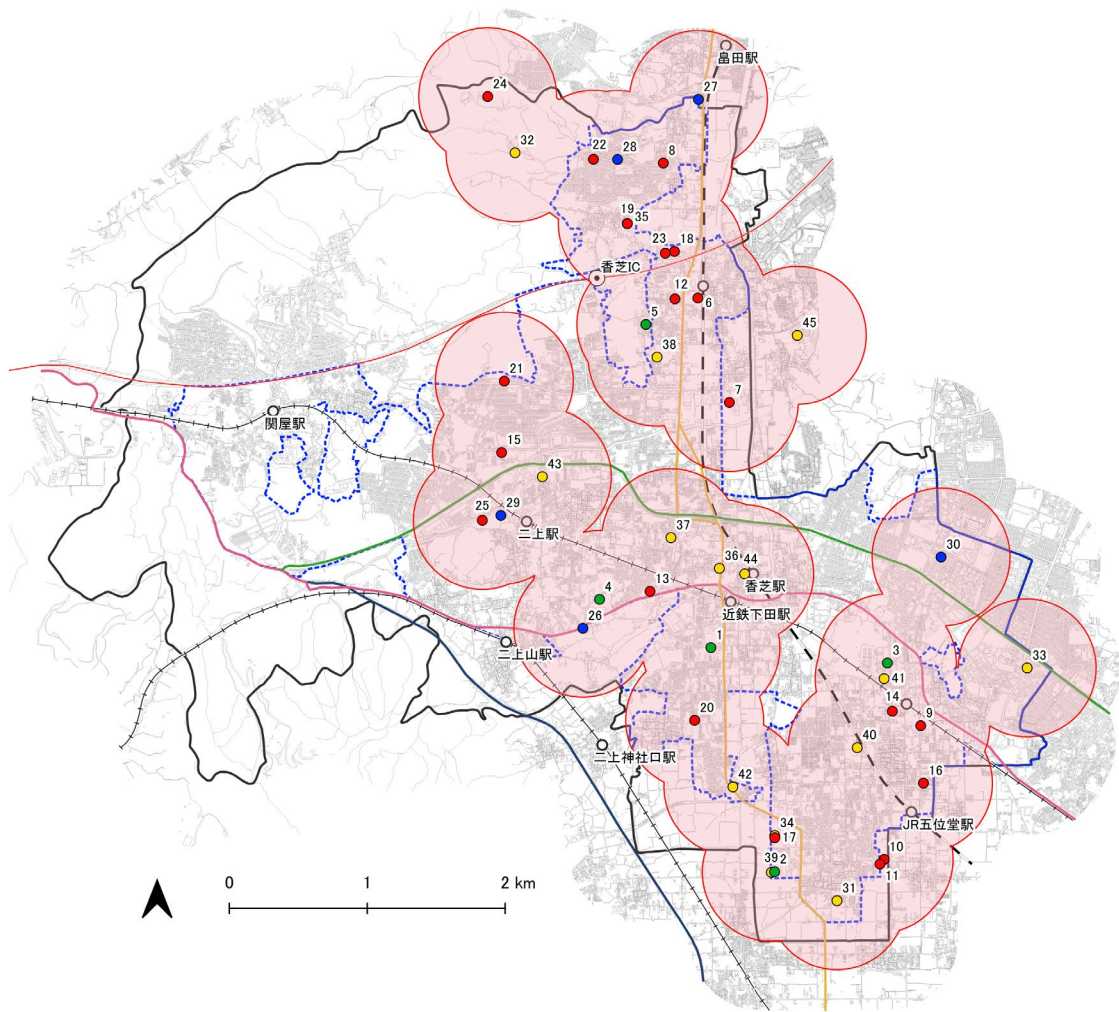


(2) 高齢者福祉機能(社会福祉施設)

市内に高齢者福祉施設は45箇所立地しており、志都美駅北西部や香芝駅・近鉄下田駅周辺、五位堂駅周辺で多く立地しています。

No	施設名	種別
1	やすらぎ公房	訪問
2	ものがたり	訪問
3	ハローケア訪問看護ステーション香芝	訪問
4	訪問看護ステーション真ごころ	訪問
5	はるす・訪問入浴サービス香芝	訪問
6	ひまわりの里	入所
7	エバーライフ香芝	入所
8	ショートステイ和愛	入所
9	さら紗五位堂	入所
10	和里（にこり）香芝	入所
11	和里（にこり）香芝Ⅱ	入所
12	サービス付高齢者向け住宅まほろば	入所
13	メディカルコートふたかみ	入所
14	サービス付き高齢者向け住宅プラスハート・五位堂	入所
15	メディカルコート香芝	入所
16	ホームケアー香芝	入所
17	グループホームかしの木	入所
18	グループホームでのひら	入所
19	社会福祉法人博寿会	入所
20	やすらぎ	入所
21	メディハウスみ・かさ旭ヶ丘	入所
22	ハローサン	入所
23	ケアプランセンター・たなか	入所
24	風鈴山荘	入所
25	医療法人 希（グループホーム）	入所
26	リハビリトゥモロー香芝	通所
27	デイサービス笑音	通所
28	デイサービスほうむ	通所
29	医療法人 希（デイサービス）	通所
30	リハビリデイサービス センターここから真美ヶ丘	通所
31	特別養護老人ホームすばる	多機能
32	大和園白鳳	多機能
33	まみの里／介護支援センター	多機能
34	ケアハウスかしの木	多機能
35	介護老人保健施設・てんとう虫	多機能
36	特別養護老人ホームぬくもり香芝	多機能
37	介護付有料老人ホーム倅寿の丘	多機能
38	大和園くうる	多機能
39	（株）介護やオンリーワン	多機能
40	愛の家グループホーム 香芝	多機能
41	ハッピーカム香芝	多機能
42	合同会社トゥルースハート	多機能
43	ケアプランセンター六花・香芝	多機能
44	介護サービスステーション たいよう	多機能
45	特別養護老人ホーム郁慈苑	多機能

【高齢者福祉機能(社会福祉施設)立地状況】



凡 例					
区域	市域		高齢者福祉機能	入所型	
	市街化区域			通所型	
鉄道	近畿日本鉄道			訪問型	
	JR 西日本			多機能型	
	駅			高齢者福祉機能 500m 圏域	
	IC				
幹線道路	中和幹線				
	西名阪自動車道				
	国道 168 号				
	国道 165 号				
	高田バイパス				

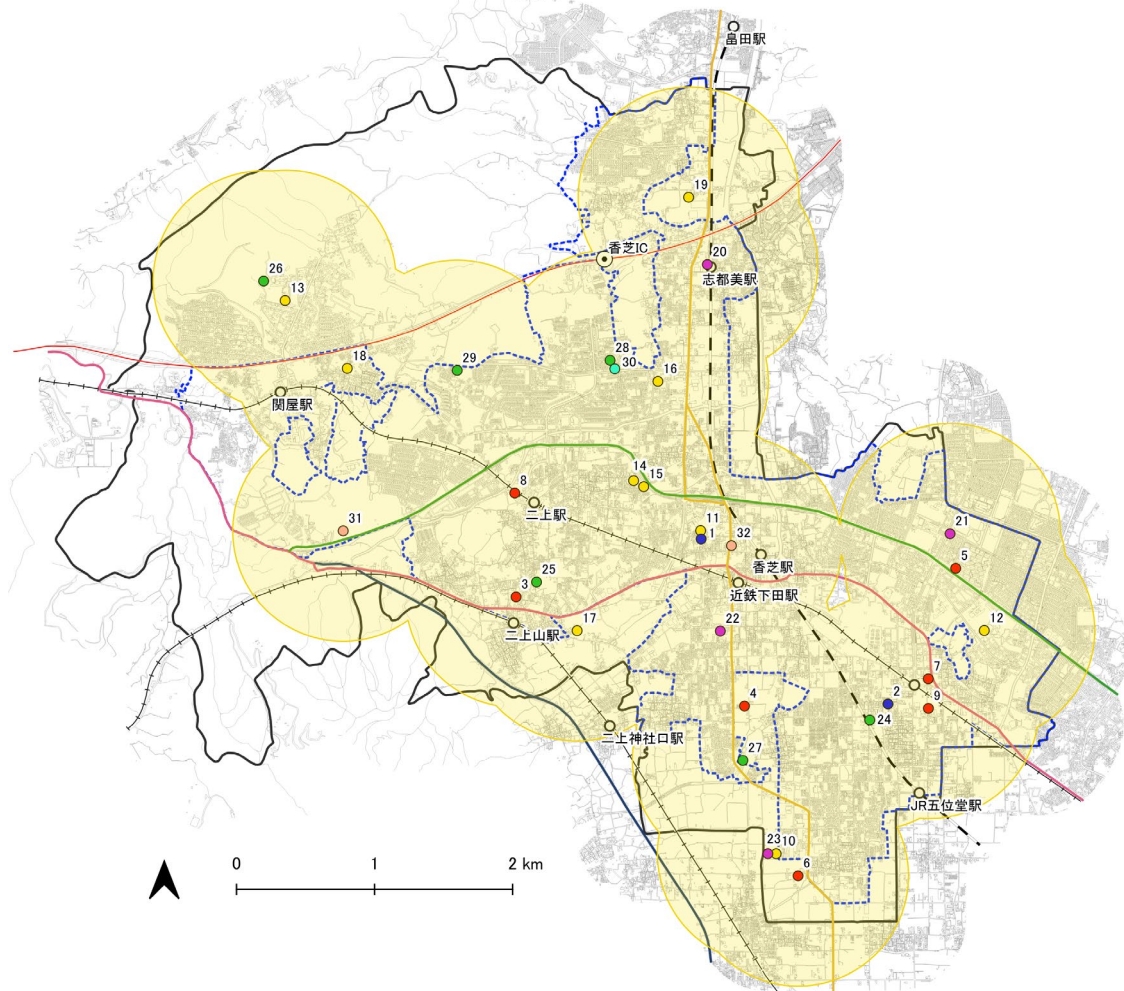
(3) 子育て支援機能

(保育所・認定こども園・小規模保育事業・幼稚園・病児保育施設・企業内保育所)

市内に保育所・認定こども園・小規模保育事業・幼稚園・病児保育施設・企業内保育所は、計 32 箇所立地しています。

No	施設名	種別
1	若葉保育所	保育所
2	五位堂保育所	保育所
3	二上保育所	保育園
4	みつわ保育所	保育園
5	真美ヶ丘保育所	保育園
6	ハルナ保育園（保育園）	保育園
7	ハルナ保育園（五位堂分園）	保育園
8	ハルナ保育園（二上分園）	保育園
9	いろは保育園	保育園
10	認定こども園鎌田幼稚園	認定こども園
11	認定こども園下田幼稚園	認定こども園
12	認定こども園真美ヶ丘東幼稚園	認定こども園
13	あけぼの・幼保学院	認定こども園
14	せいか幼稚園	認定こども園
15	せいか保育園	認定こども園
16	旭ヶ丘せいか保育園	認定こども園
17	ふたかみの森せいか子ども園	認定こども園
18	関屋こども園	認定こども園
19	志都美こども園	認定こども園
20	志都美せいかナーサリー	小規模保育事業
21	アートチャイルドケア奈良真美ヶ丘保育園	小規模保育事業
22	アートチャイルドケア奈良香芝保育園	小規模保育事業
23	アートチャイルドケア奈良鎌田保育園	小規模保育事業
24	五位堂幼稚園	幼稚園
25	二上幼稚園	幼稚園
26	関屋幼稚園	幼稚園
27	三和幼稚園	幼稚園
28	旭ヶ丘幼稚園	幼稚園
29	ハルナ幼稚園	幼稚園
30	病児保育室ぱっぱ	病児保育施設
31	香芝市生喜病院付属すみれ保育園	企業内保育所
32	ぬくもり香芝保育園	企業内保育所

【子育て支援機能立地状況】



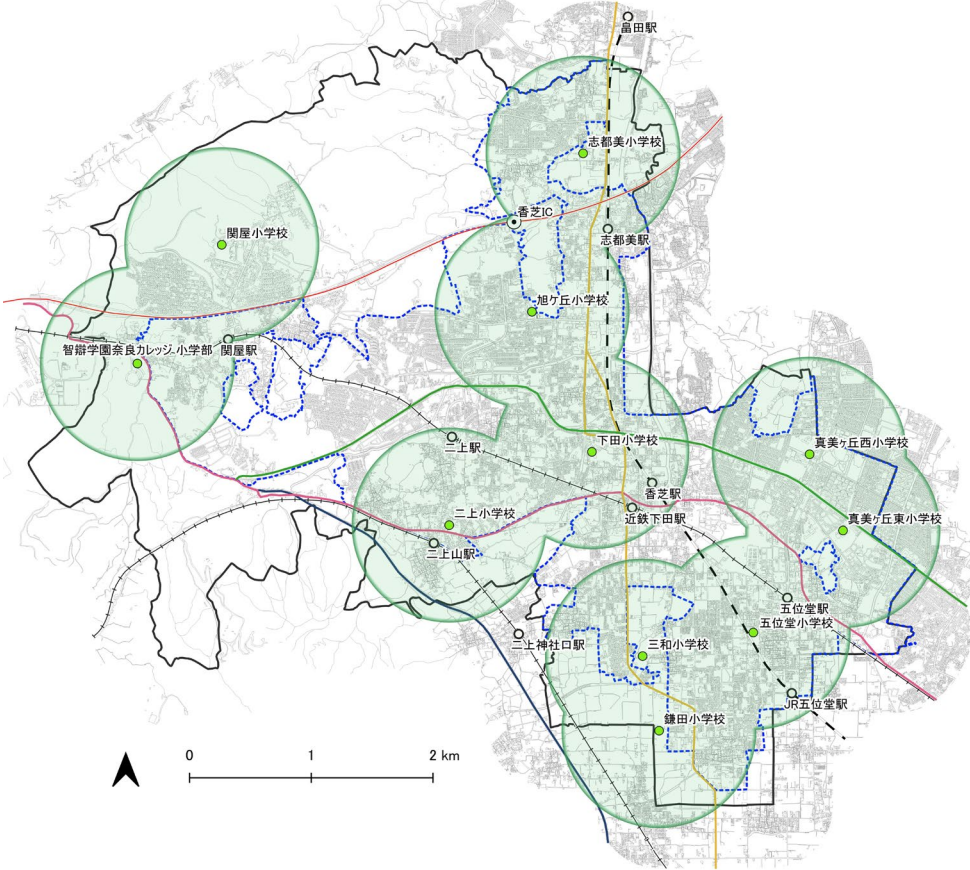
凡 例					
区域	市域		子育て支援機能	保育園	
	市街化区域			保育所	
鉄道	近畿日本鉄道			幼稚園	
	JR 西日本			認定こども園	
	駅			小規模保育事業	
幹線道路	IC			病児保育施設	
	中和幹線			企業内保育事業	
	西名阪自動車道			子育て支援機能 800m 圏域	
	国道 168 号				
	国道 165 号				
	高田バイパス				

(4) 教育機能(学校)

小学校・中学校・高等学校・大学は計 20 箇所立地しており、小学校 11 箇所、中学校 5 箇所、高等学校 3 箇所、大学 1 箇所立地しています。

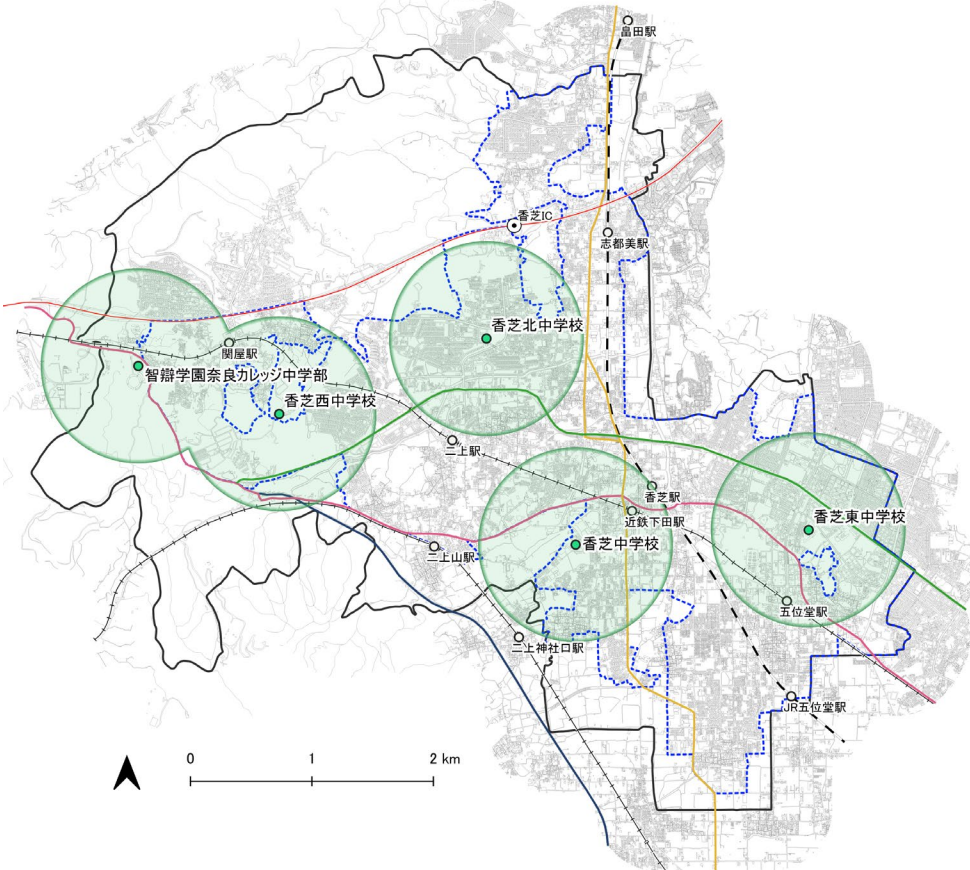
No	施設名	種別
1	関屋小学校	小学校
2	旭ヶ丘小学校	小学校
3	鎌田小学校	小学校
4	真美ヶ丘西小学校	小学校
5	真美ヶ丘東小学校	小学校
6	三和小学校	小学校
7	二上小学校	小学校
8	下田小学校	小学校
9	志都美小学校	小学校
10	五位堂小学校	小学校
11	智辯学園奈良カレッジ小学部	小学校
12	香芝中学校	中学校
13	香芝北中学校	中学校
14	香芝西中学校	中学校
15	香芝東中学校	中学校
16	智辯学園奈良カレッジ中学部	中学校
17	奈良県立香芝高等学校	高等学校
18	金光藤蔭高等学校香芝キャンパス	高等学校
19	智辯学園奈良カレッジ高等部	高等学校
20	畿央大学	大学

【教育機能(小学校)立地状況】



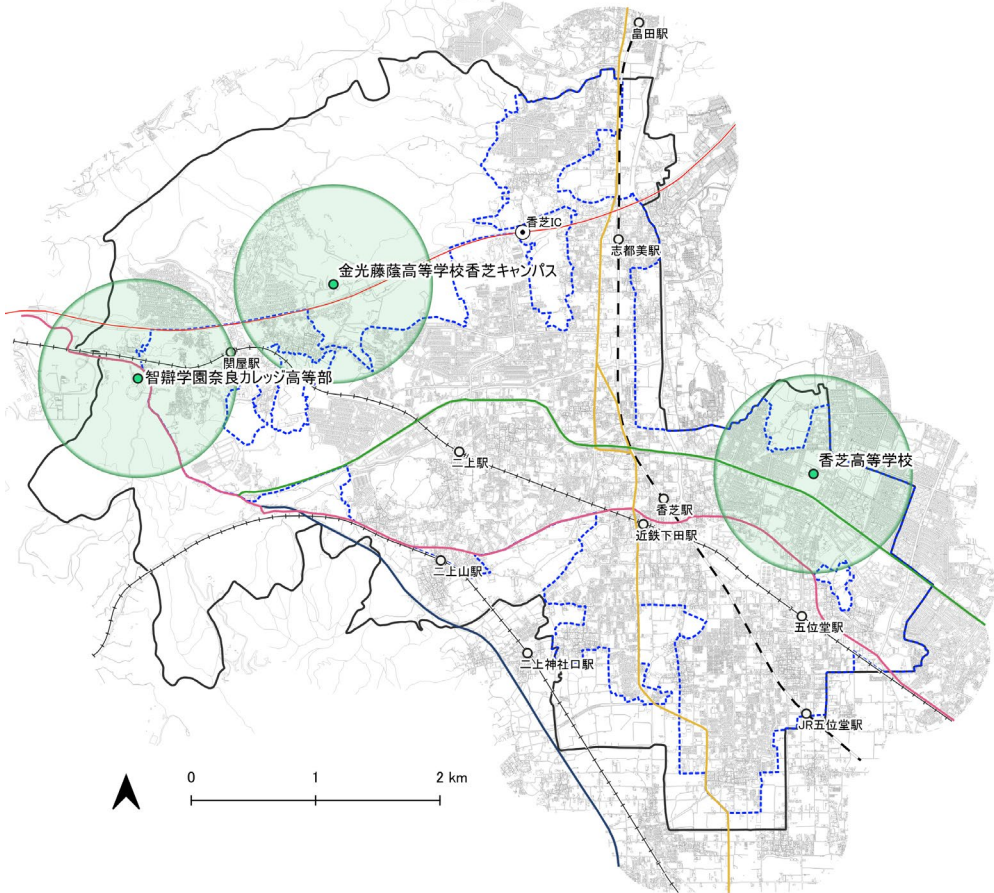
凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR 西日本	
	駅	
幹線道路	IC	
	中和幹線	
	西名阪自動車道	
	国道 168 号	
	国道 165 号	
	高田バイパス	
教育機能	小学校	
	小学校 800m 圏域	

【教育機能(中学校)立地状況】



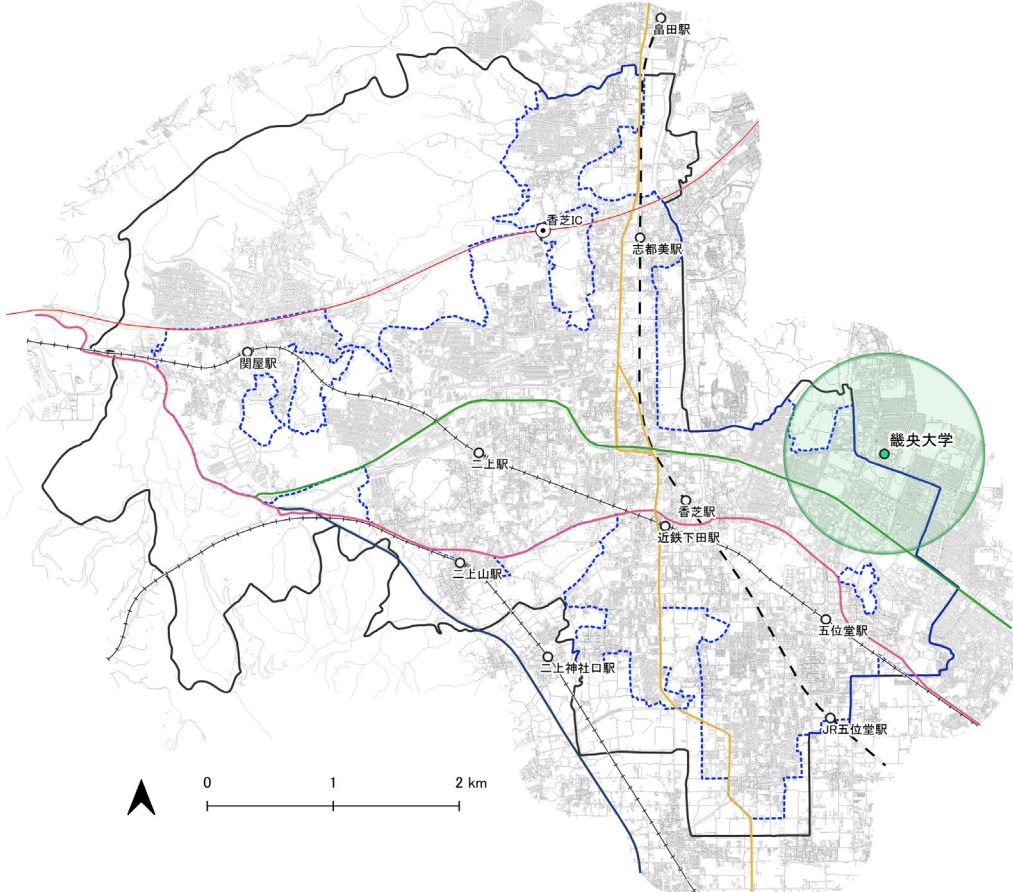
凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR 西日本	
	駅	
幹線道路	IC	
	中和幹線	
	西名阪自動車道	
	国道 168 号	
	国道 165 号	
	高田バイパス	
教育機能	中学校	
	中学校 800m 圏域	

【教育機能(高校)立地状況】



凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR 西日本	
	駅	
幹線道路	IC	
	中和幹線	
	西名阪自動車道	
	国道 168 号	
	国道 165 号	
教育機能	高校	
	高校 800m 圏域	

【教育機能(大学)立地状況】



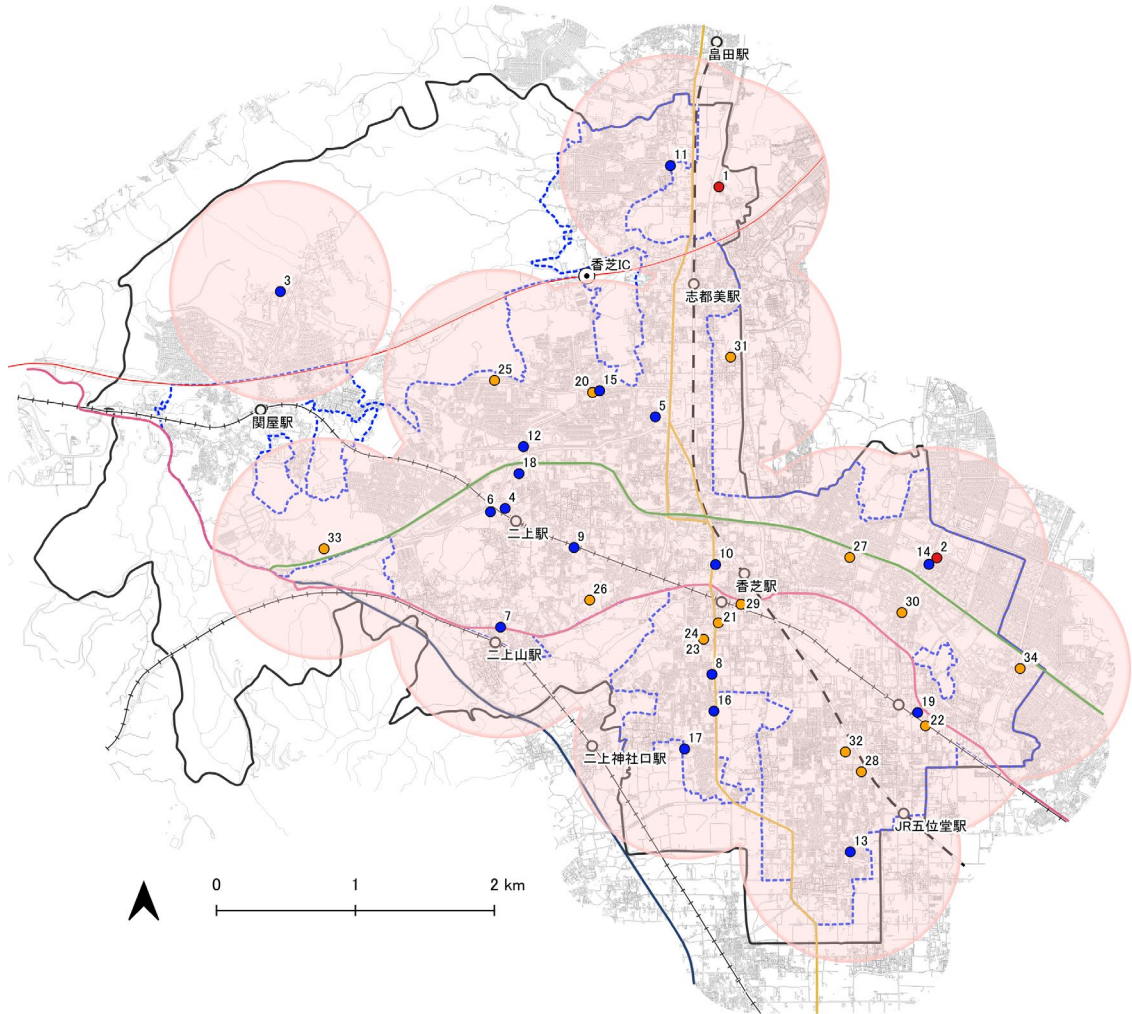
凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR 西日本	
	駅	
幹線道路	IC	
	中和幹線	
	西名阪自動車道	
	国道 168 号	
	国道 165 号	
教育機能	大学	
	大学 800m 圏域	

(5) 医療機能(内科)

市内に医療施設は 34 箇所立地しており、二上駅北部や香芝駅・近鉄下田駅南部で多く立地しています。

No	施設名	種別
1	さかもと小児科	小児科
2	まみ小児科	小児科
3	医療法人弘生会関屋病院	内科
4	加藤クリニック	内科
5	香芝旭ヶ丘病院	内科
6	二上駅前診療所	内科
7	佐々木クリニック	内科
8	ふゆひろクリニック	内科
9	松井内科	内科
10	和田クリニック	内科
11	安田医院	内科
12	西本内科	内科
13	かまだ医院	内科
14	森岡内科消化器科クリニック	内科
15	ひろ整形外科クリニック	内科
16	枅岡診療所	内科
17	松山医院	内科
18	堀川医院	内科
19	池原クリニック	内科
20	かわしま内科・外科・こどもクリニック	内科、小児科
21	医療法人下田診療所	内科、小児科
22	まるはしファミリークリニック	内科、小児科
23	村尾クリニック	内科、小児科
24	香芝村尾クリニック	内科、小児科
25	旭ヶ丘クリニック	内科、小児科
26	かわもとクリニック	内科、小児科
27	片岡医院	内科、小児科
28	澤田医院	内科、小児科
29	みちのクリニック	内科、小児科
30	山本内科医院	内科、小児科
31	牧浦医院	内科、小児科
32	澤井外科内科診療所	内科、小児科
33	香芝生喜病院	内科、小児科
34	さない内科整形外科医院	内科、小児科

【医療機能立地状況】



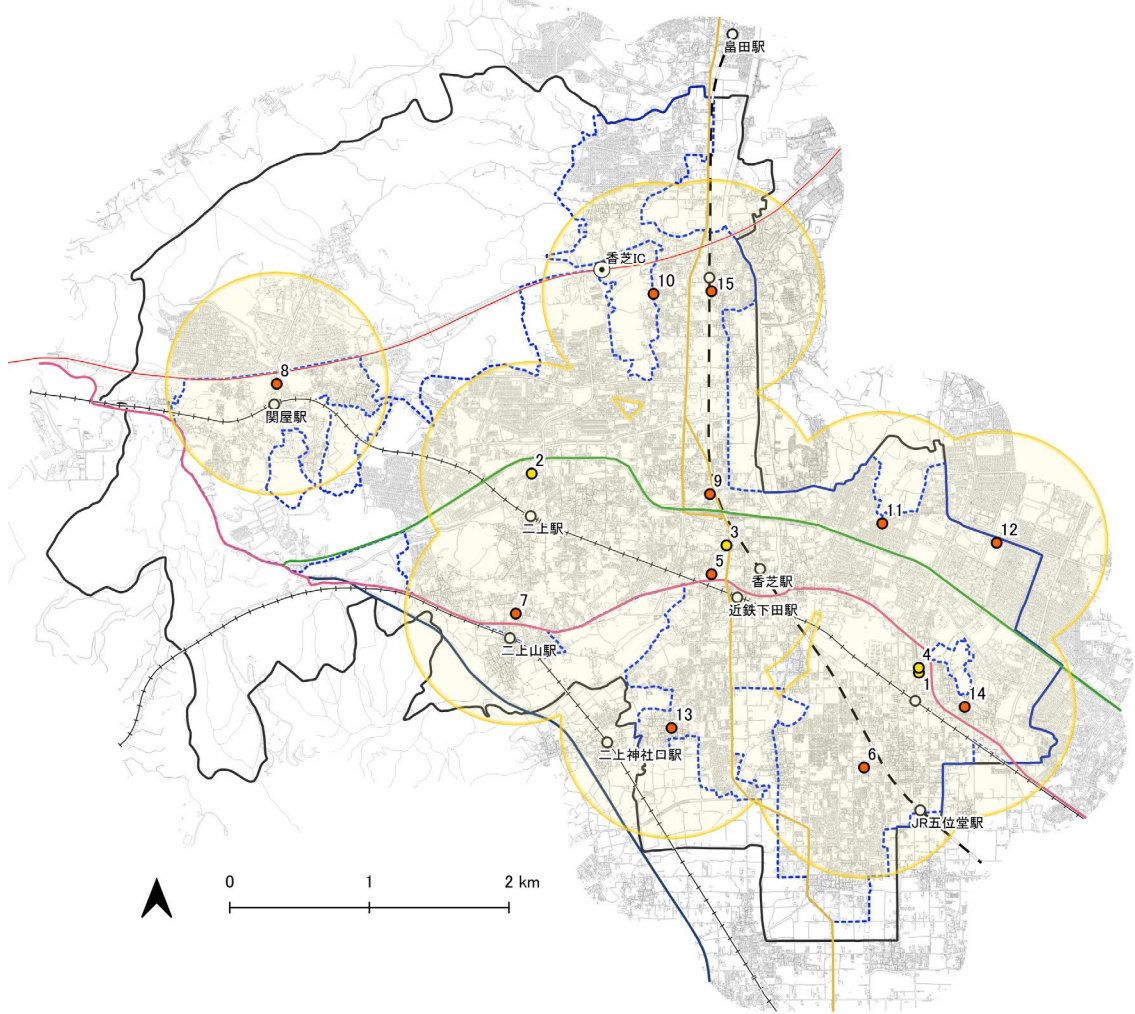
凡 例					
区域	市域		医療機能	小児科	
	市街化区域			内科	
鉄道	近畿日本鉄道			内科・小児科	
	JR 西日本			医療機能 800m 圏域	
	駅				
幹線道路	IC				
	中和幹線				
	西名阪自動車道				
	国道 168 号				
	国道 165 号				
	高田バイパス				

(6) 金融機能(郵便局・銀行)

市内に郵便局が11箇所、銀行が4箇所立地してします。郵便局は広域的に分散して立地しています。銀行は二上駅周辺や香芝駅・近鉄下田駅周辺、五位堂駅周辺に立地しています。

No	施設名	種別
1	りそな銀行香芝支店	銀行
2	南都銀行二上支店	銀行
3	南都銀行香芝支店	銀行
4	南都銀行真美ヶ丘支店	銀行
5	香芝郵便局	郵便局
6	香芝五位堂郵便局	郵便局
7	香芝二上郵便局	郵便局
8	香芝関屋郵便局	郵便局
9	香芝北今市簡易郵便局	郵便局
10	今泉簡易郵便局	郵便局
11	香芝西真美郵便局	郵便局
12	香芝真美ヶ丘郵便局	郵便局
13	磯壁簡易郵便局	郵便局
14	香芝別所郵便局	郵便局
15	香芝上中簡易郵便局	郵便局

【金融機能立地状況】



凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR 西日本	
	駅	
幹線道路	IC	
	中和幹線	
	西名阪自動車道	
	国道 168 号	
	国道 165 号	
	高田バイパス	
金融機能	銀行	
	郵便局	
	金融機関 800m 圏域(銀行)	

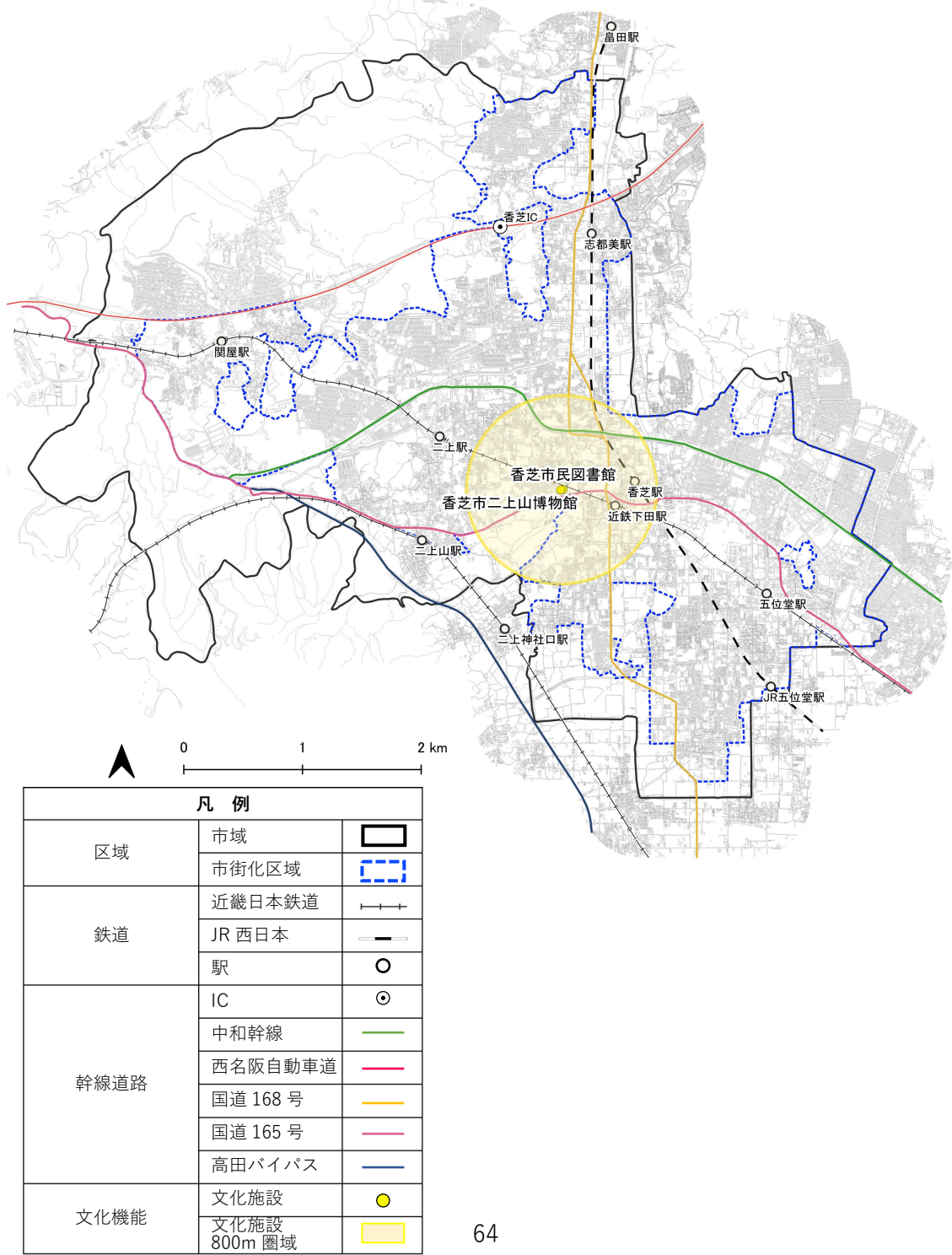
(7) 文化機能・スポーツ機能

①文化機能

市内に図書館が1箇所、香芝駅・近鉄下田駅西部に立地しています。

No	施設名	種別
1	香芝市民図書館	図書館
2	香芝市二上山博物館	博物館 美術館

【文化機能立地状況】

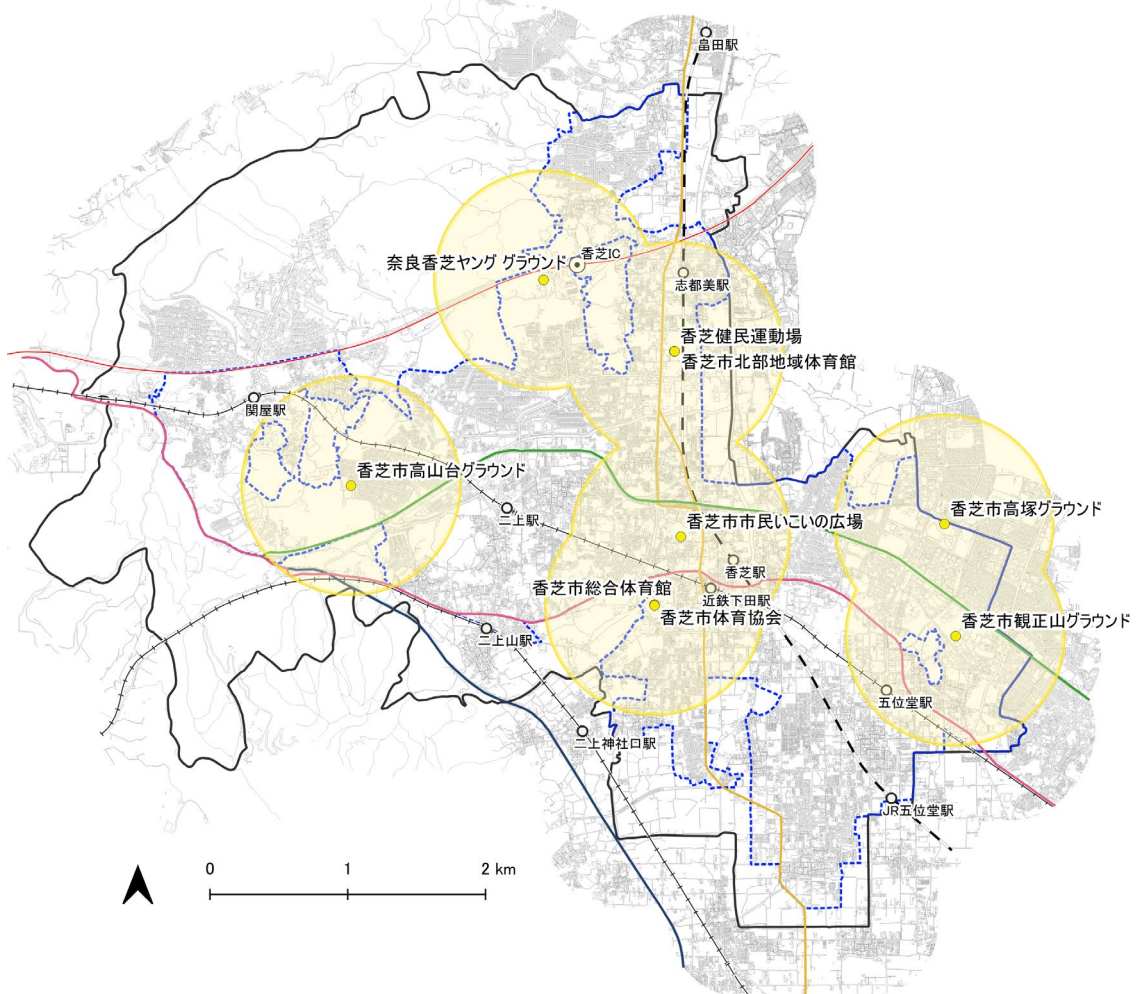


②スポーツ機能

市内に体育館・競技場は計 9 箇所立地しています。体育館は香芝駅・近鉄下田駅西部と志都美駅南部に 2 箇所、競技場は 7 箇所立地しています。

No	施設名	種別
1	香芝健民運動場	競技場
2	香芝市体育協会	競技場
3	香芝市観正山グラウンド	競技場
4	香芝市高山台グラウンド	競技場
5	香芝市高塚グラウンド	競技場
6	奈良香芝ヤンググラウンド	競技場
7	香芝市市民いこいの広場	競技場
8	香芝市総合体育館	体育館
9	香芝市北部地域体育館	体育館

【スポーツ機能立地状況】



凡 例		
区域	市域	
	市街化区域	
鉄道	近畿日本鉄道	
	JR 西日本	
	駅	
幹線道路	IC	
	中和幹線	
	西名阪自動車道	
	国道 168 号	
	国道 165 号	
	高田バイパス	
スポーツ機能	スポーツ機能	
	スポーツ機能 800m 圏域	

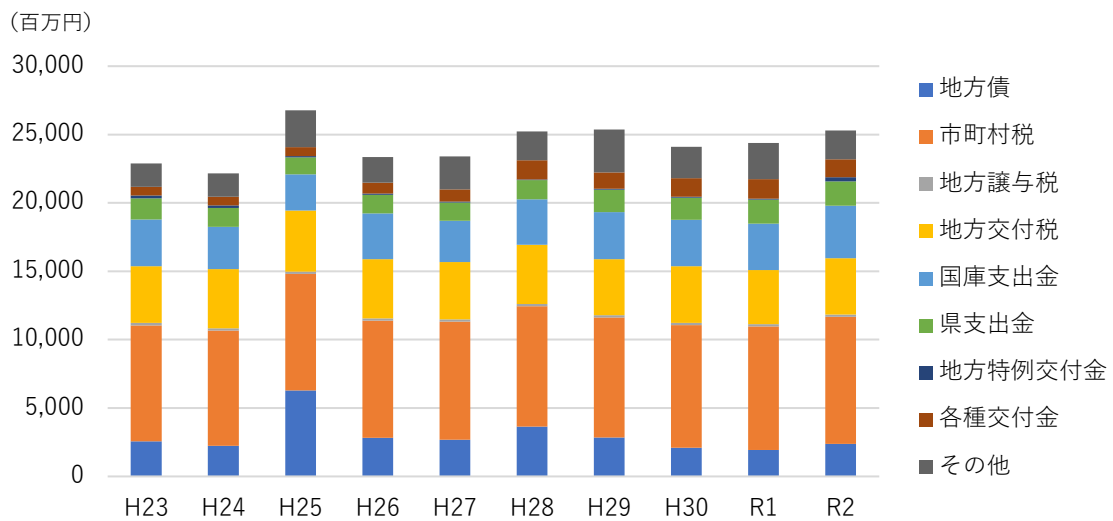
9. 財政

(1) 歳入・歳出決算額の推移

歳入・歳出の決算額は、ともに微増の傾向にありますが、大きな変化はありません。

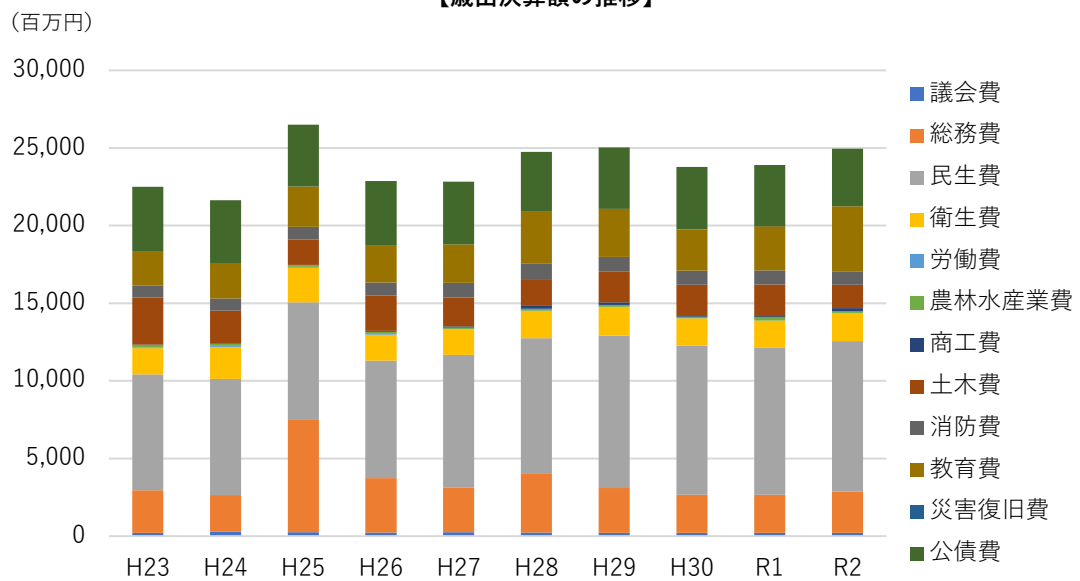
平成 25 年(2013 年)については、歳入の地方債、歳出の総務費が例年に比べ、増加しています。

【歳入決算額の推移】



出典：平成 23 年～令和 2 年奈良県統計書

【歳出決算額の推移】



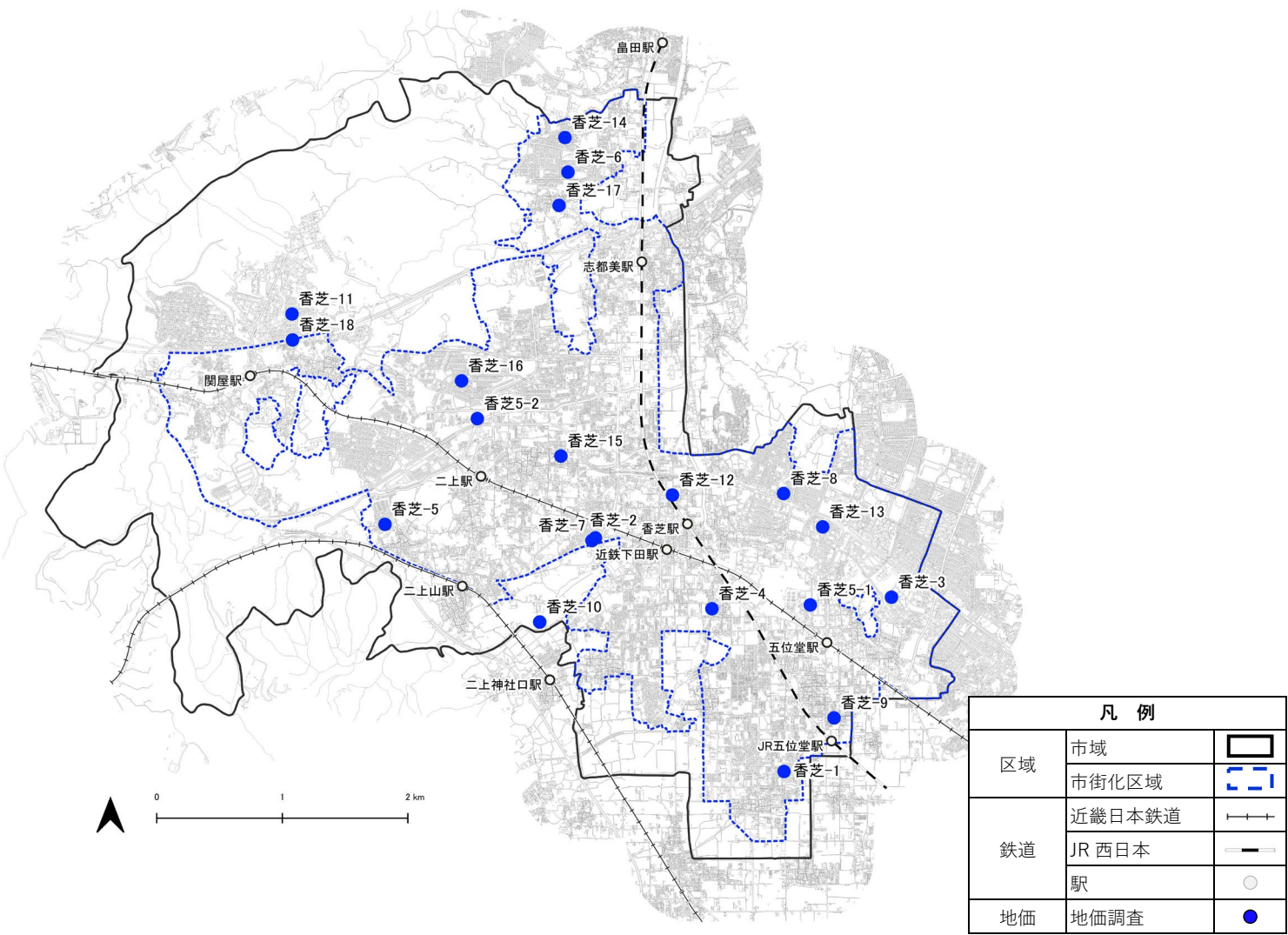
出典：平成 23 年～令和 2 年奈良県統計書

10. 地価動向

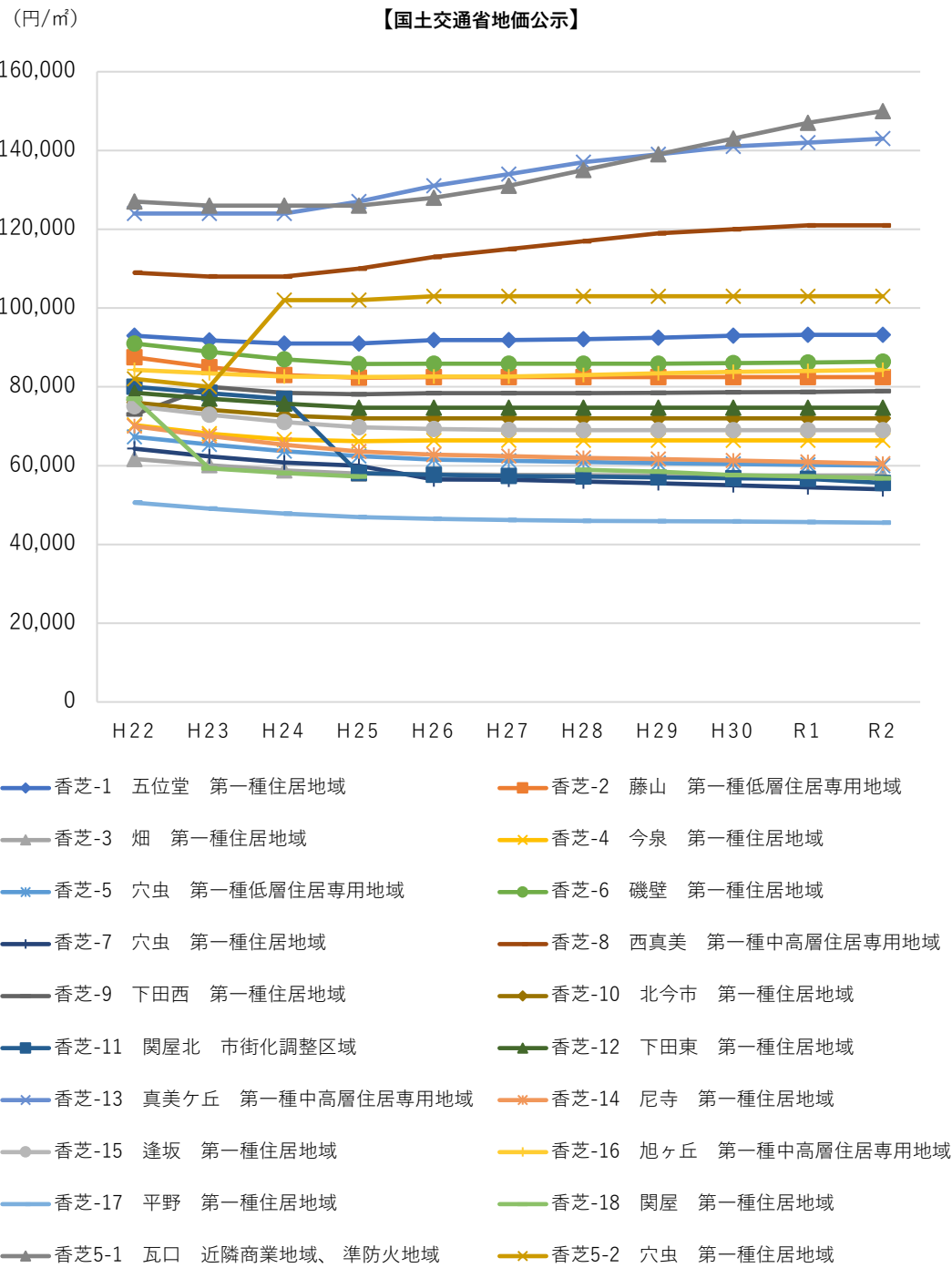
(1) 国土交通省地価公示

国土交通省地価公示では「香芝-13」「香芝5-1」の地価は上昇傾向にありますが、他の地点では、近年概ね横ばいの傾向にあります。

【国土交通省地価公示位置図】



出典：平成 22 年～令和 2 年国土交通省地価公示



11. 都市構造分析

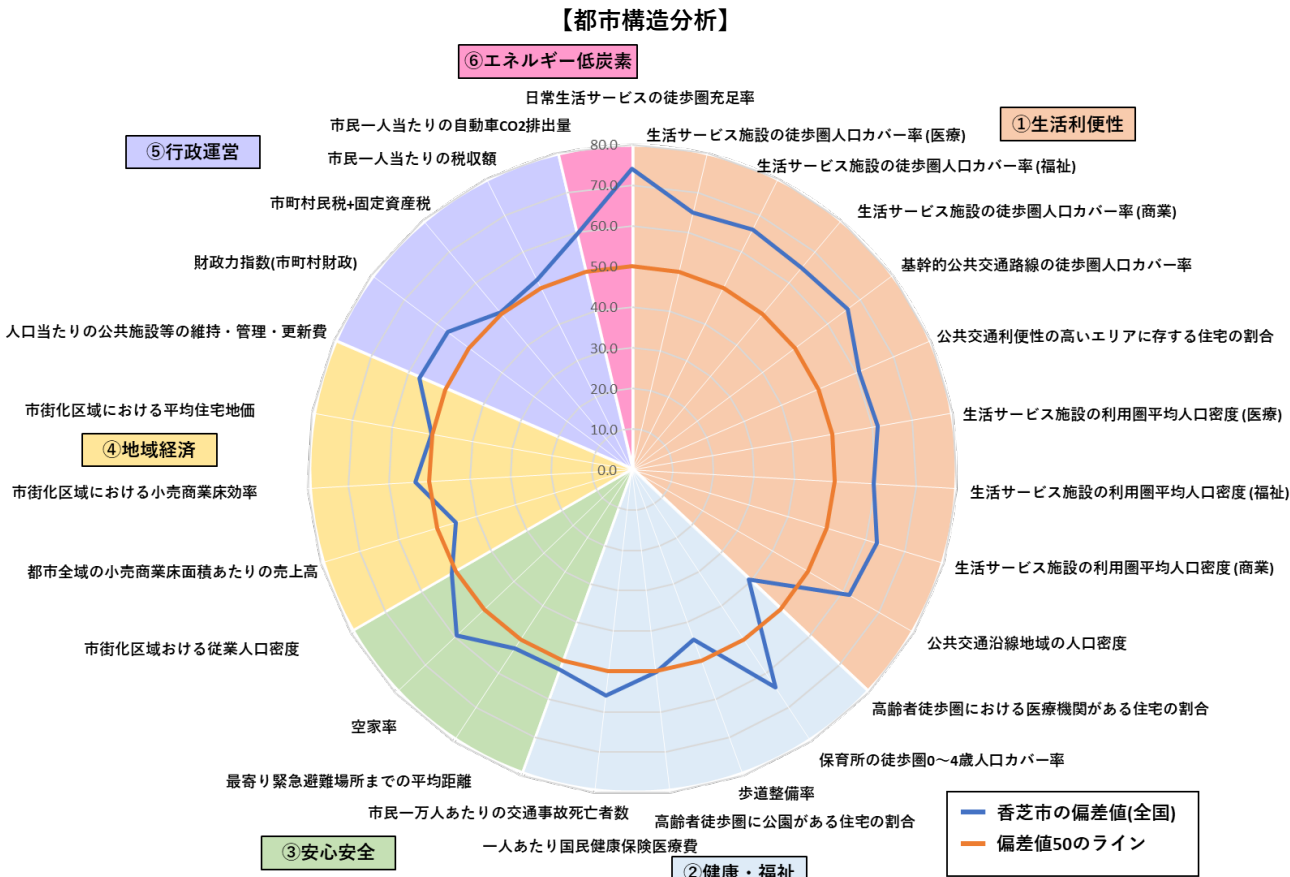
調査項目は「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」を参考に、生活利便性、健康・福祉、安全・安心、地域経済、行政運営、エネルギー低炭素の6つの観点から、現況及び将来人口推計に基づく都市構造分析を実施します。

香芝市は全国の都市と比較した結果、日常生活サービスの徒歩圏充足率が全国平均を大きく上回っていました。全国平均を下回っている項目としては、高齢者徒歩圏における医療機関がある住宅の割合や歩道整備率、都市全域の小売商業床面積あたりの売上高が挙げられます。

分野	指標項目		データ	偏差値
①生活利便性	1	日常生活サービスの徒歩圏充足率	62.0	74.0
	2	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率(医療)	97.2	64.9
	3	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率(福祉)	86.8	66.1
	4	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率(商業)	79.1	64.8
	5	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	74.8	66.1
	6	公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合	73.9	60.9
	7	生活サービス施設の利用圏平均人口密度(医療)	36.7	61.3
	8	生活サービス施設の利用圏平均人口密度(福祉)	35.1	59.6
	9	生活サービス施設の利用圏平均人口密度(商業)	47.1	62.9
	10	公共交通沿線地域の人口密度	44.2	61.6
②健康・福祉	11	高齢者徒歩圏における医療機関がある住宅の割合	36.2	39.3
	12	保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率	87.3	64.1
	13	歩道整備率	43.9	44.4
	14	高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合	54.6	50.1
	15	一人あたり国民健康保険医療費	352.9	55.9
③安心・安全	16	市民一人あたりの交通事故死者数	0.1	52.4
	17	最寄り緊急避難場所までの平均距離	592.4	52.6
	18	空家率	3.5	59.5
④地域経済	19	市街化区域における従業人口密度	10.9	51.3
	20	都市全域の小売商業床面積あたりの売上高	78.9	45.3
	21	市街化区域における小売商業床効率	62.8	53.5
	22	市街化区域における平均住宅地価	76805.9	50.1
⑤行政運営	23	人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費	300.9	56.9
	24	財政力指数(市町村財政)	0.7	56.6
	25	市町村民税+固定資産税	8572501.0	50.4
	26	市民一人当たりの税収額	107.9	52.2
⑥エネルギー低炭素	27	市民一人当たりの自動車CO2排出量	0.5	59.5

出典：平成30年国土交通省「都市モニタリングシート」

※上記の表より、偏差値65以上をオレンジ、偏差値50以下を青で示す



①生活利便性

- ・香芝市における日常生活サービスの徒歩圏充足率は、全国平均を大きく上回っている。
- ・生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率(福祉)、基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率はともに、全国平均を上回っている。

②健康・福祉

- ・高齢者徒歩圏における医療機関がある住宅の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・香芝市の歩道整備率は全国平均を下回っている。
- ・保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率は全国平均を大きく上回っている。

③安心安全

- ・香芝市の空家率は、全国平均を大きく下回っている。

④地域経済

- ・都市全域の小売商業床面積あたりの売上は、全国平均を下回っている。
- ・都市機能を誘導する区域における小売商業床効率は、全国平均を上回っている。

⑤行政運営

- ・人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費は、全国平均を下回っている。
- ・香芝市の財政力指数(市町村財政)は全国平均を上回っている。

⑥エネルギー低炭素

- ・香芝市における市民一人当たりの自動車CO2排出量は、全国平均を下回っている。